



図162 丟て場区域 出土遺物 16



図163 捨て場区域 出土遺物 17

0 10cm



図164 丟て場区域 出土遺物 18

0 5cm 10cm



図165 丢場区域 出土遺物 19



図166 丢て場区域 出土遺物20

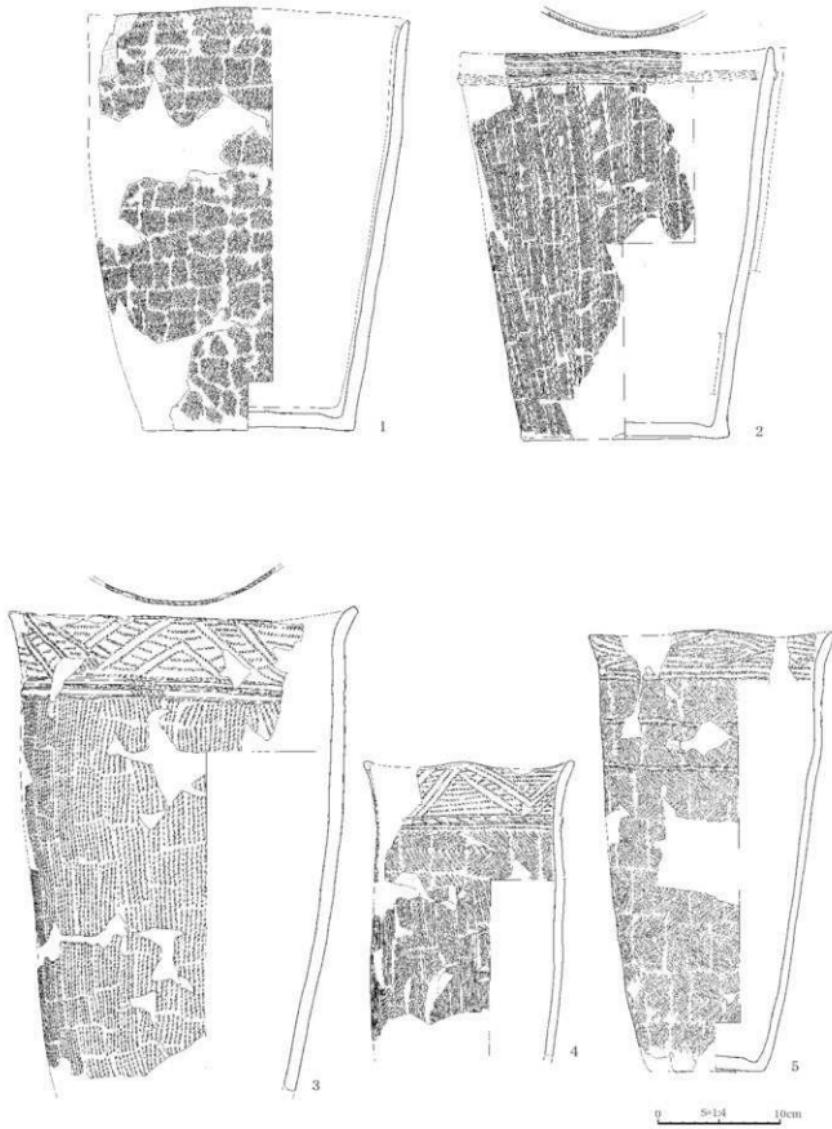


図167 丟場区域 出土遺物21



図168 捨て場区域 出土遺物22

0 5:14 10cm

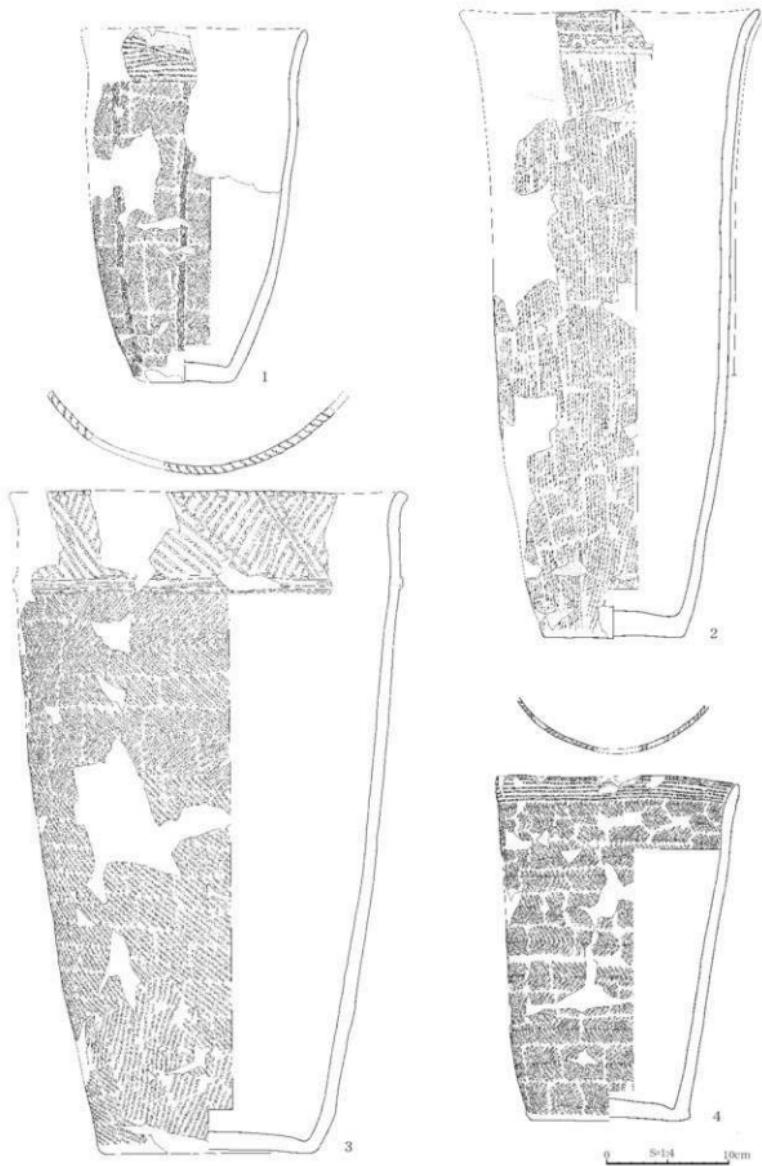


図169 捨て場区域 出土遺物23

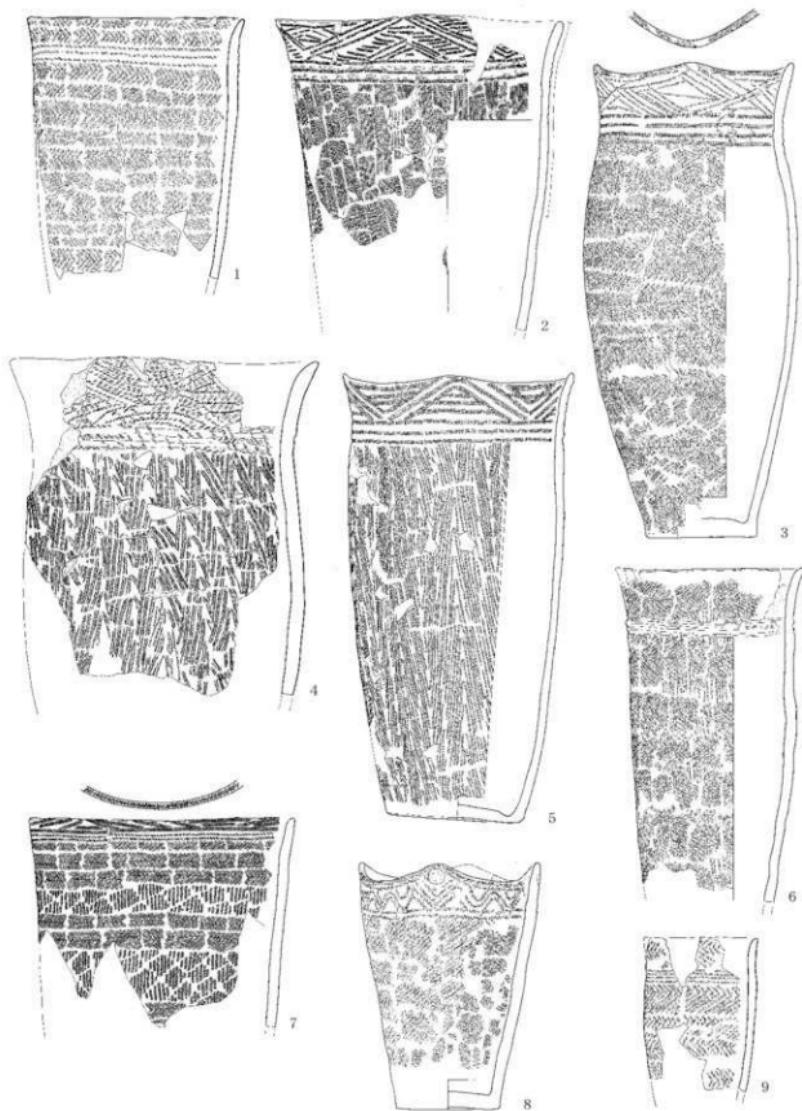


図170 丟て場区域 出土遺物24

0 S=1:4 10cm



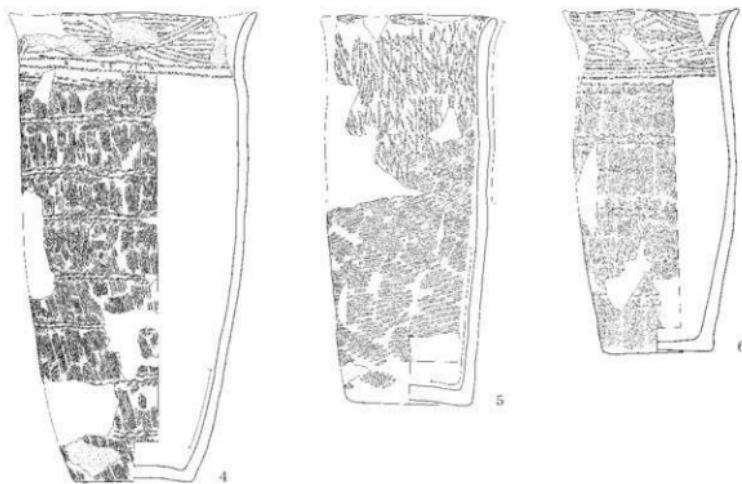
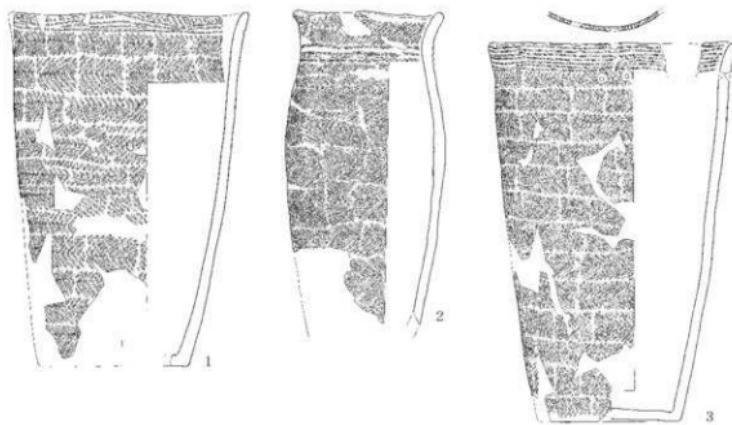
図171 丟て場区域 出土遺物25

0 S=1:4 10cm



図172 捨て場区域 出土遺物26

0 S=1:4 10cm



0 S-14 10cm

図173 捨て場区域 出土遺物27



図174 丟て場区域 出土遺物28

0 S=1:4 10cm



図175 捨て場区域 出土遺物29

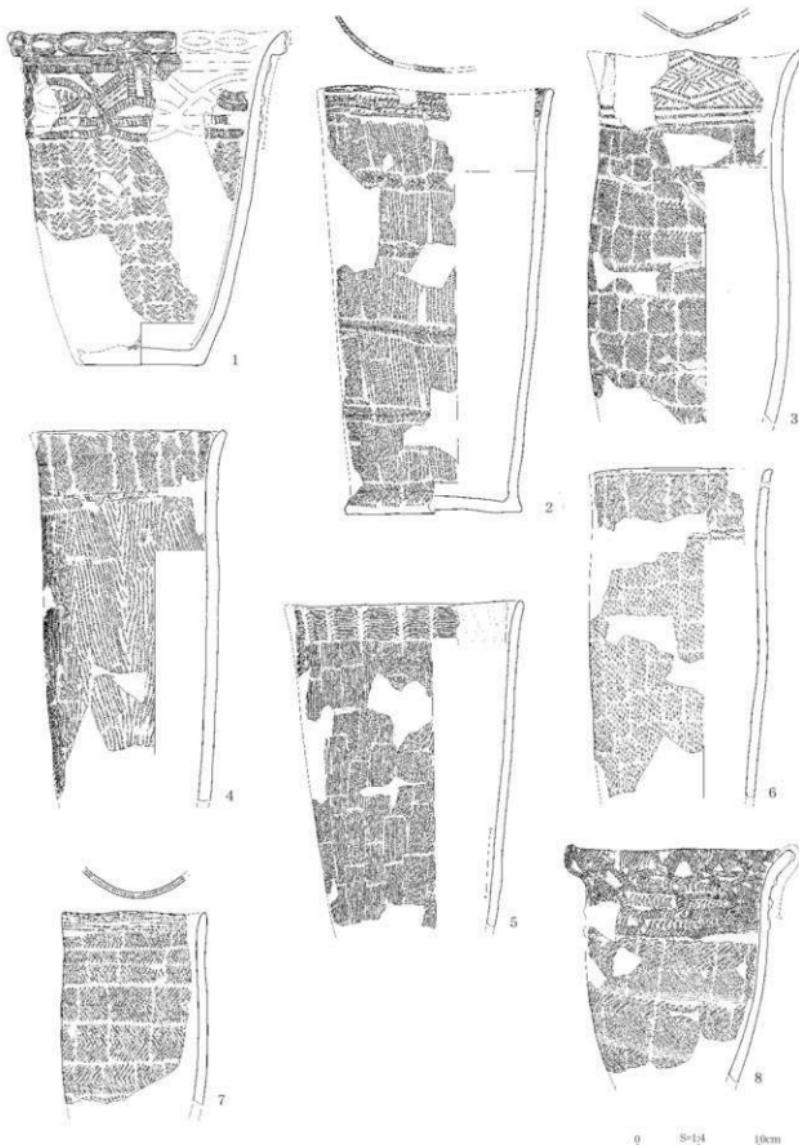


図176 捨て場区域 出土遺物30

0 S=1:4 10cm

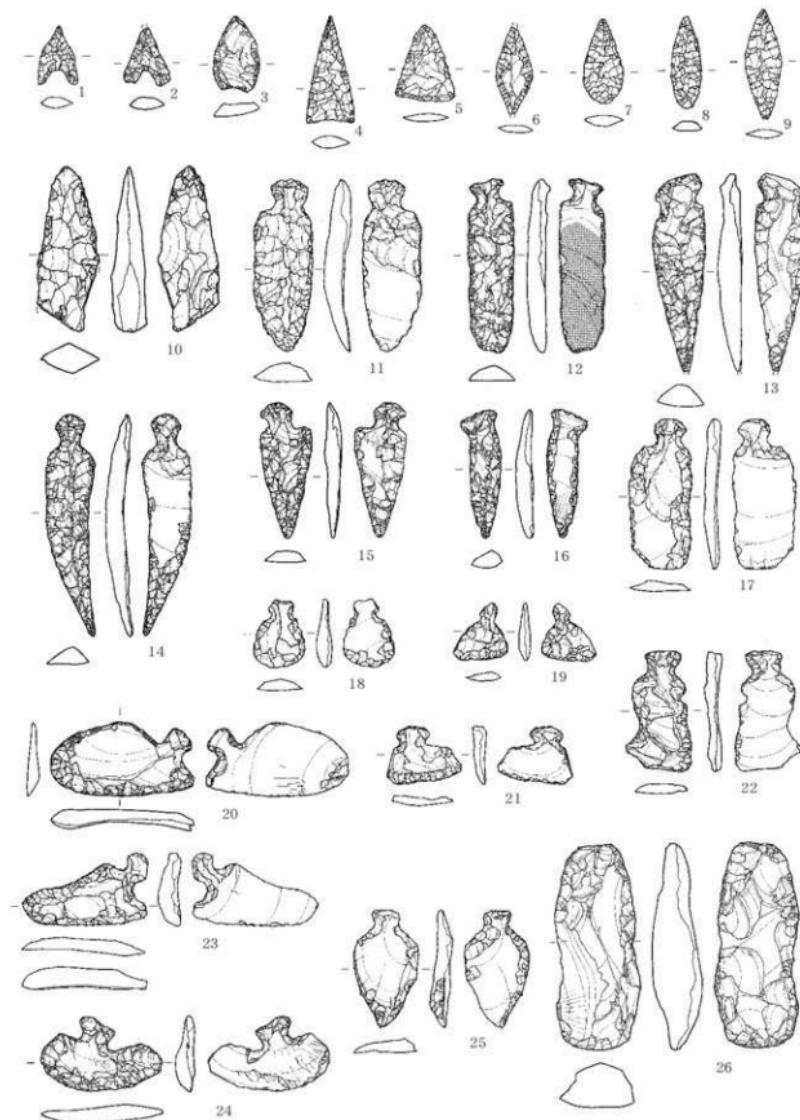


図177 捨て場区域 出土遺物31

0 S=1:2 5cm

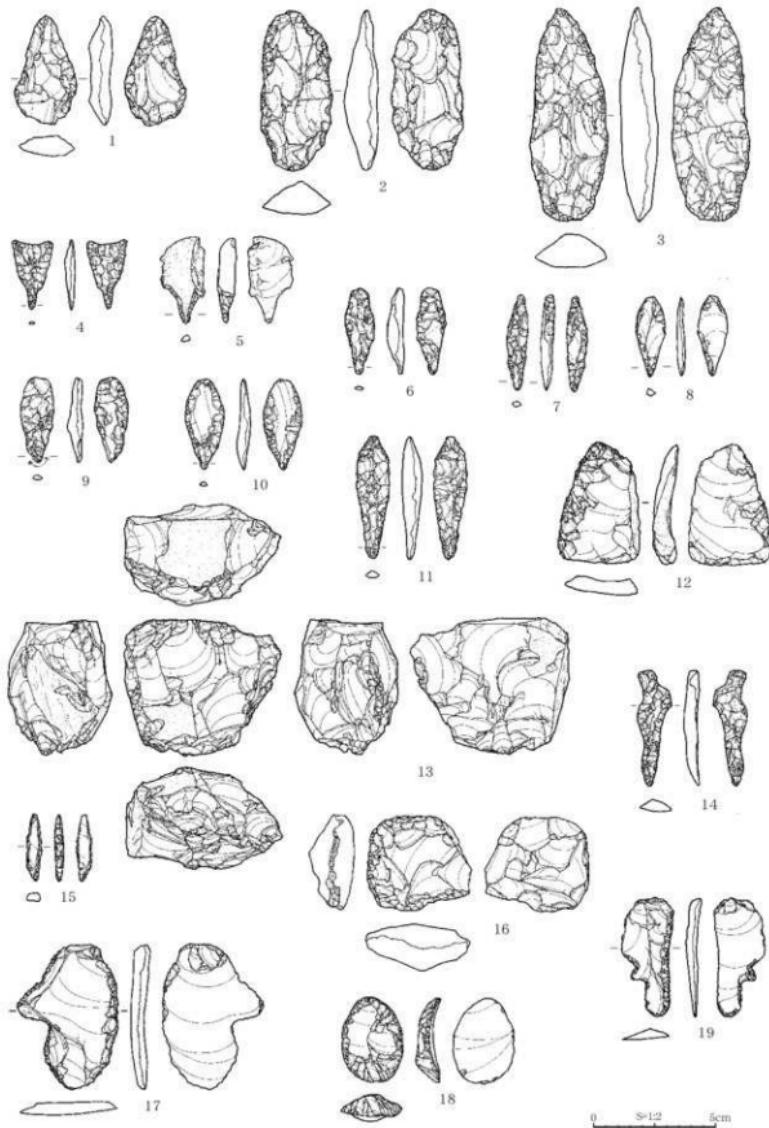


図178 捨て場区域 出土遺物32

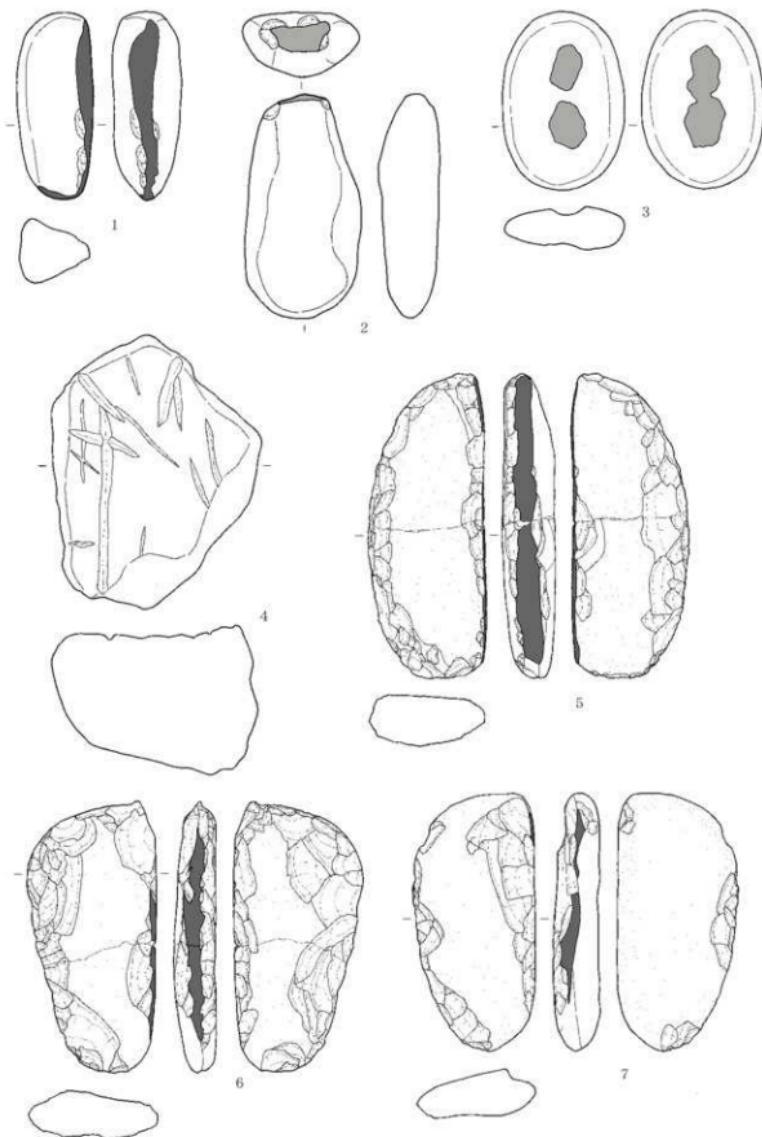


図179 捨て場区域 出土遺物33

0 S-13 10cm

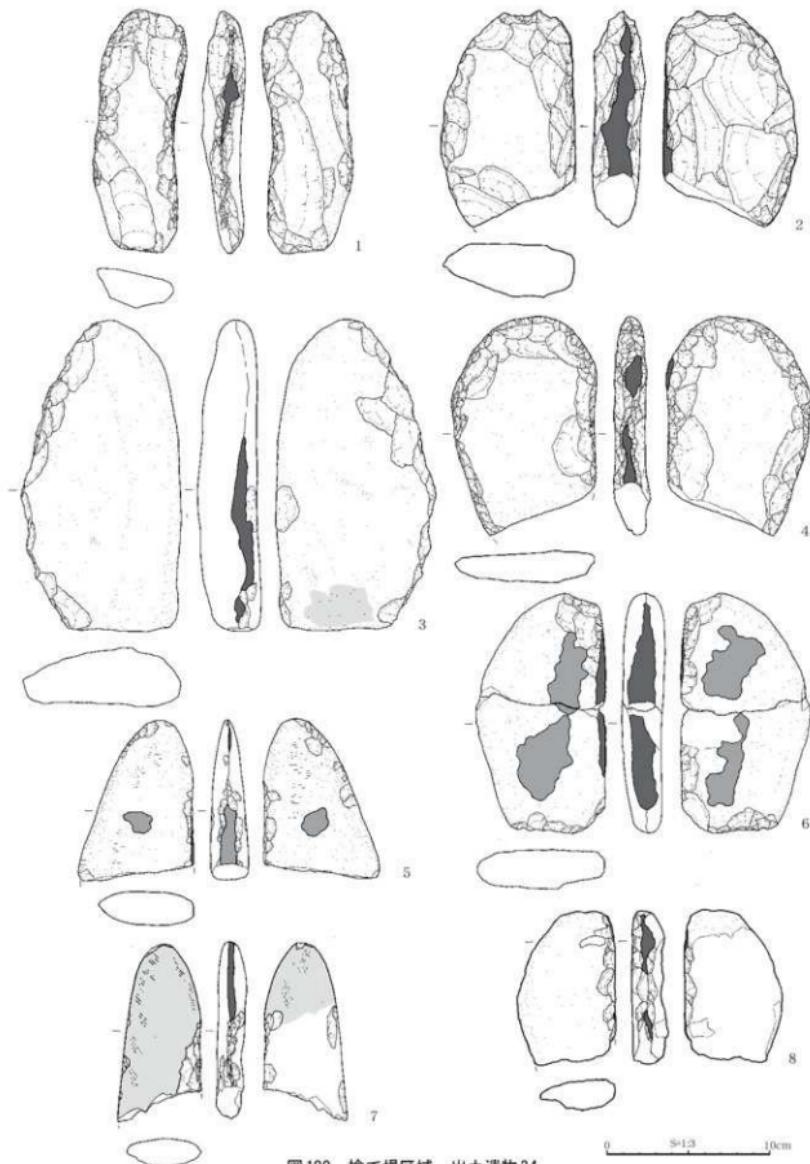


図180 丢て場区域 出土遺物34

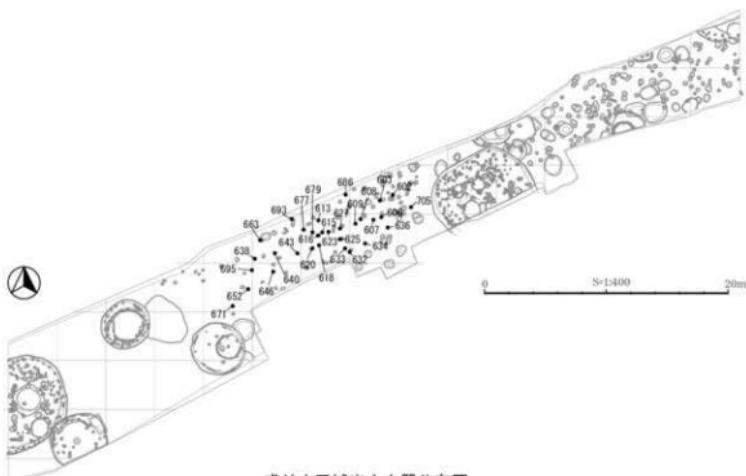
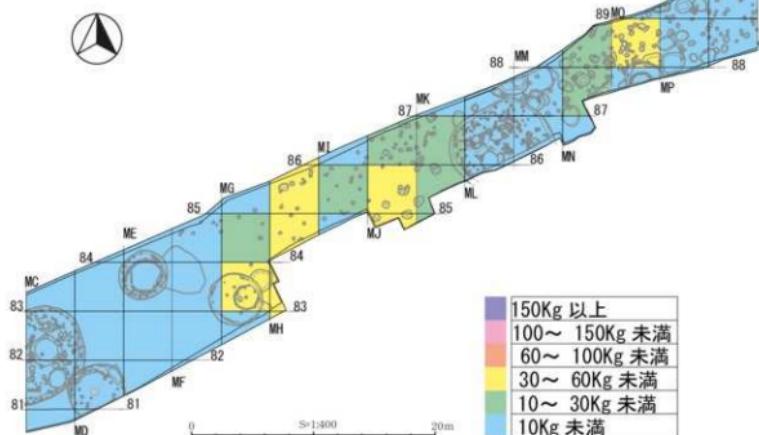
0 S-1.3 10cm

第5節 盛り土区域の出土遺物

調査区の中央部から西側にみられる盛り土は、住居跡などの遺構を構築する際に掘った土と一緒に出土した遺物が堆積し、盛り土が作られていると考えられる。主に円筒下層d式～円筒上層a式土器を中心として出土しており、前期末葉から中期初頭に形成されたと思われる。

出土した土器の総重量はおよそ600kgである。

盛り土区域土器重量分布図



盛り土区域出土土器分布図

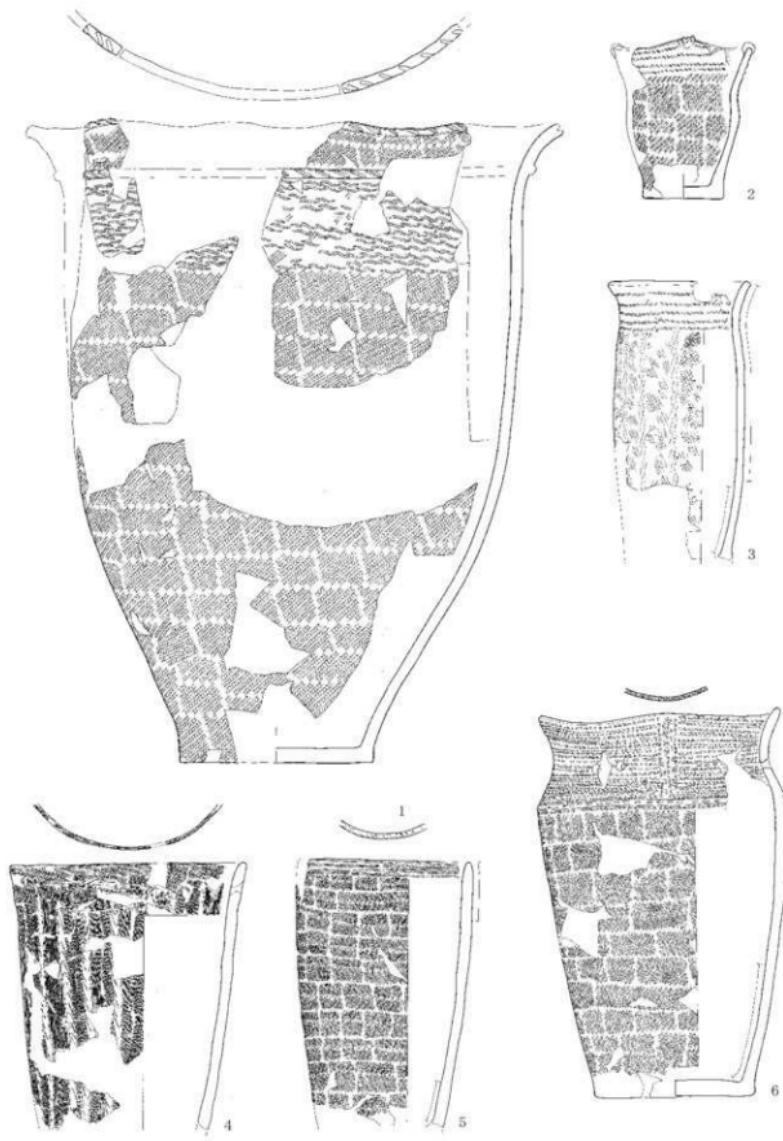


図181 盛り土区域 出土遺物1



図182 盛り土区域 出土遺物2

0 10cm
Scale 1:4

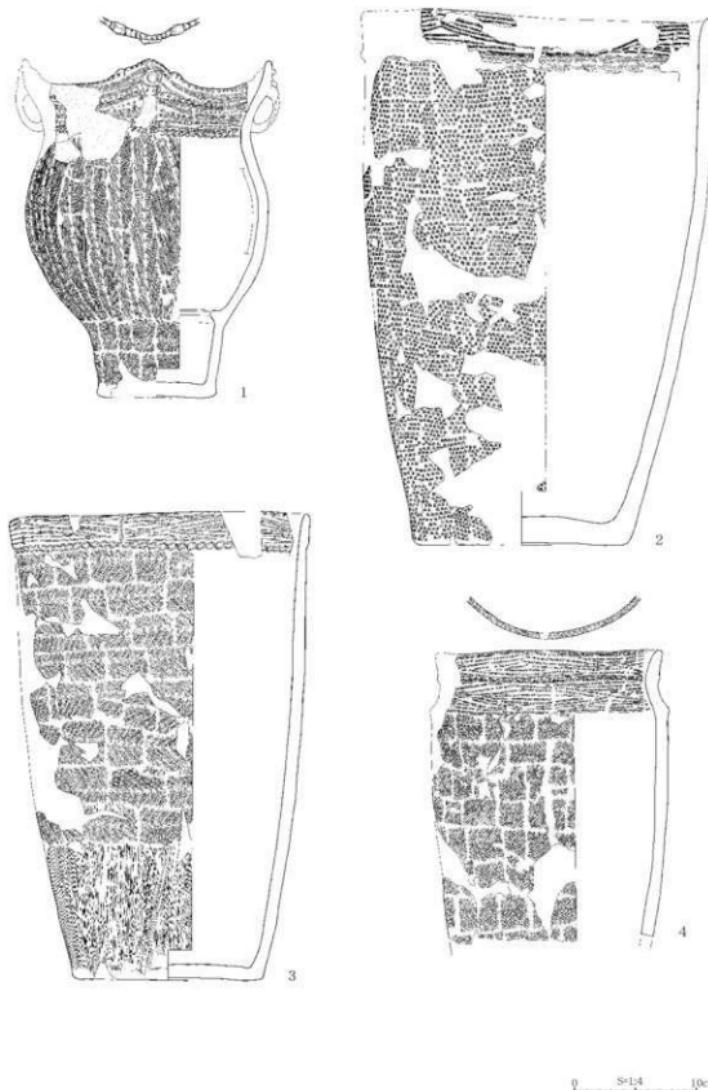


図183 盛り土区域 出土遺物

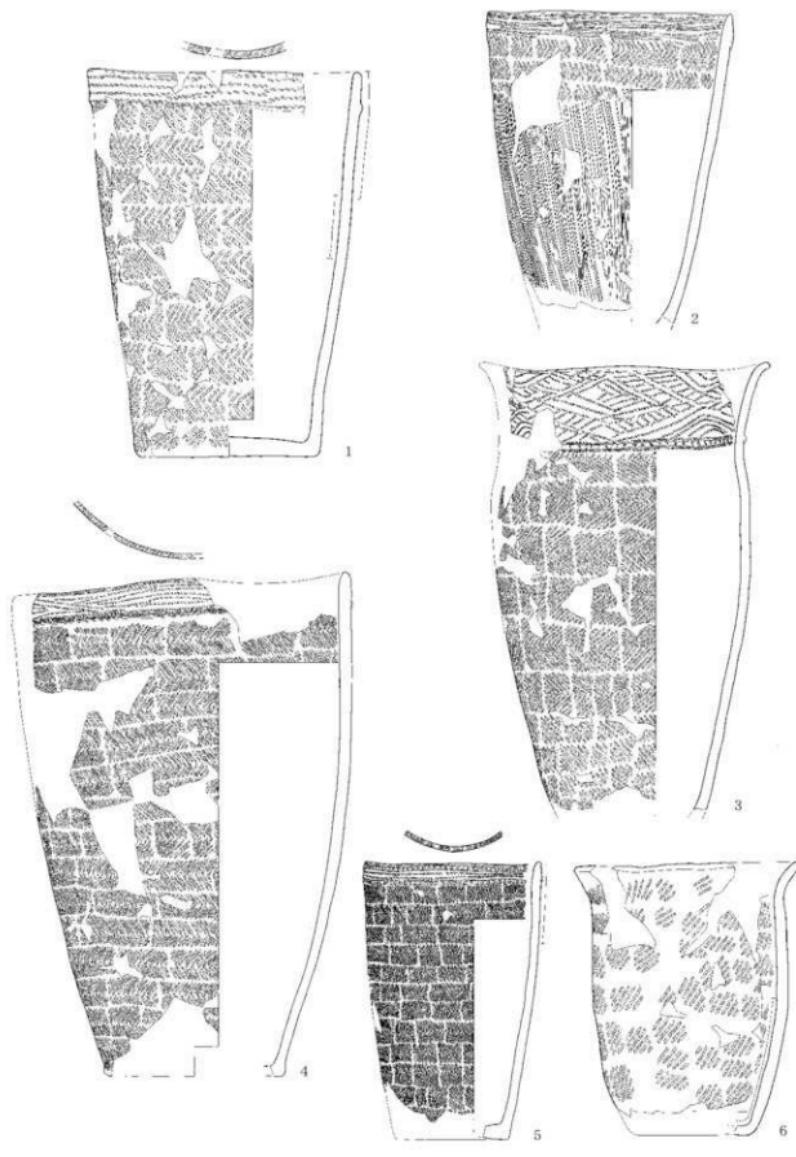


図184 盛り土区域 出土遺物4

0 S-1:4 10cm

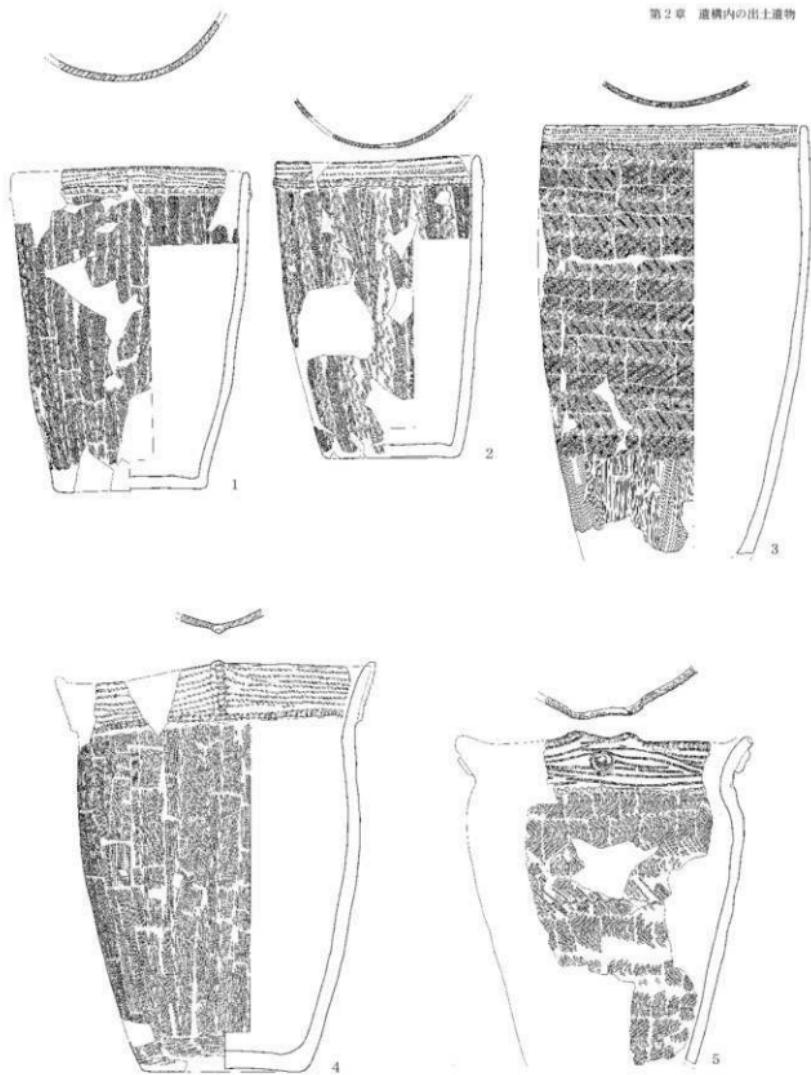


図185 盛り土区域 出土遺物

0 5:14 10cm



図186 盛り土区域 出土遺物6



図187 盛り土区域 出土遺物7

0 S=1/4 10cm



図188 盛り土区域 出土遺物8

0 S=1:4 10cm

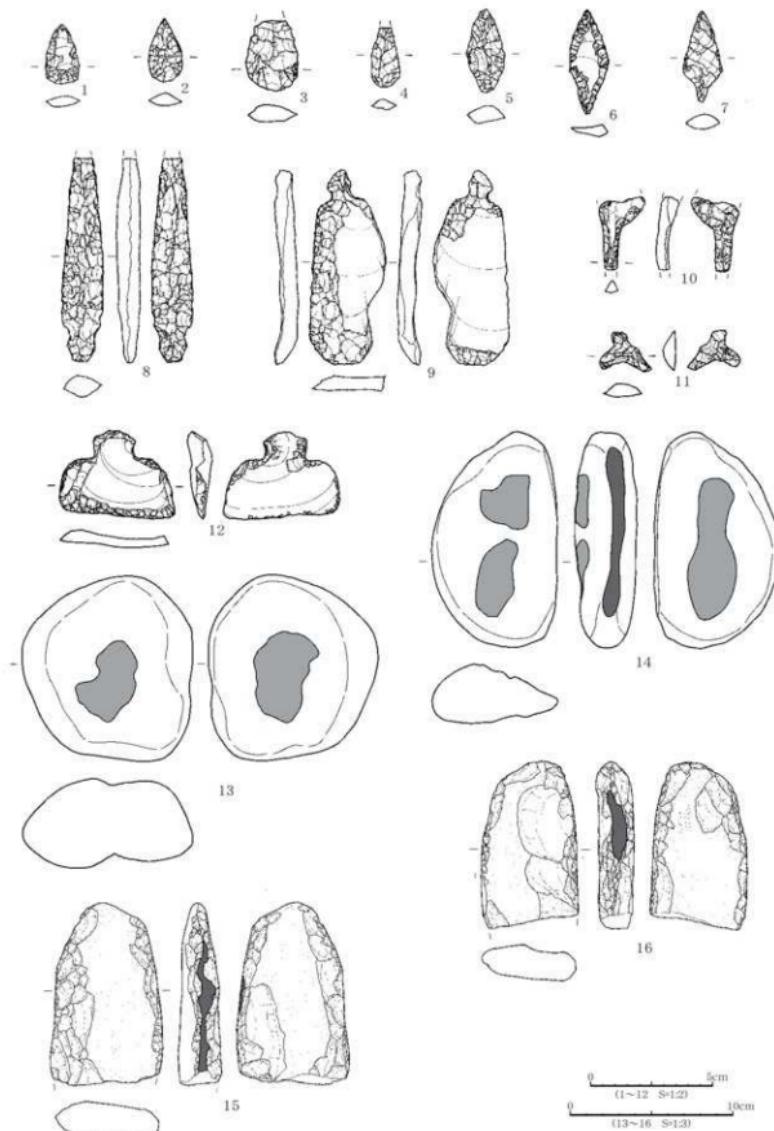


図189 盛り土区域 出土遺物9

第3章 遺構外の出土遺物

第1節 土器

発掘調査で出土した縄文土器は段ボール箱で約615箱分、総重量約5,300kgである。

縄文土器は、下記のとおり分類した。残存率が1/4以下の土器は、推定口径を記載していない。

詳細な分類は避け、出土した各土器形式について特徴の概略を記載する。

第I群 縄文早期の土器

図194-3は、貝殻条痕文が施文されるもので、胸部破片であるが器形は底部が窄まる尖底になるとと思われる。

第II群 縄文前期の土器

1類 円筒下層a式に比定される土器

第27号竪穴住居跡の図84-3・4、第27号土坑の図124-6、第31号土坑の図126-1のように、その多くは口唇部に刺突や指頃圧痕がみられ、口縁部が結節回転文、胸部が斜縄文が施文される。また、遺構外の図194-4は、口唇部と口縁部に貝殻の腹縁による刺突が施されている。

2類 円筒下層b式に比定される土器

第26号竪穴住居跡の図76-3、図77-6のように、口縁部は結節回転文、頸部は1~2条の隆帯に刺突や原体側圧がみられ、胸部は単軸絡状体第1類や斜縄文が施文される。また、図157-2や図175-5のように口縁部や胸部に単軸絡条体第6類を施文するものを数例みられる。

3類 円筒下層c式に比定される土器

第24号竪穴住居跡に多くみられるもので、口縁部の文様帶の幅が広く、原体側圧による鋸歯状や山形あるいは菱形などがみられる。中には第30号竪穴住居跡の図87-1・3や第32号竪穴住居跡の図92-6のように弧状に原体側圧を施すものもみられる。頸部は原体側圧が多く、微隆帯に刻目や刺突なども少数だが存在する。胸部の文様は結束第1種や単軸絡状体第1類などが一般的にみられる。また、図88-4のように胸部文様がの上半と下半で原体が異なるものもみられる。

4類 円筒下層d1式に比定される土器

第24号竪穴住居跡の図54-1~3、図55-3、図56-1~3のように、口縁部の文様帶の幅は狭く、口唇部に原体側圧や斜縄文などがみられる。頸部は微隆帶に原体側圧や結節回転文のほか、単軸絡条体第1類の側圧などがあり、胸部は単軸絡状帶第1A類や結節回転文などが多く施文される。

また、第13号竪穴住居跡の図30-1、図31-3のように2対の透かし孔がみられるもの多い。

5類 円筒下層d2式に比定される土器

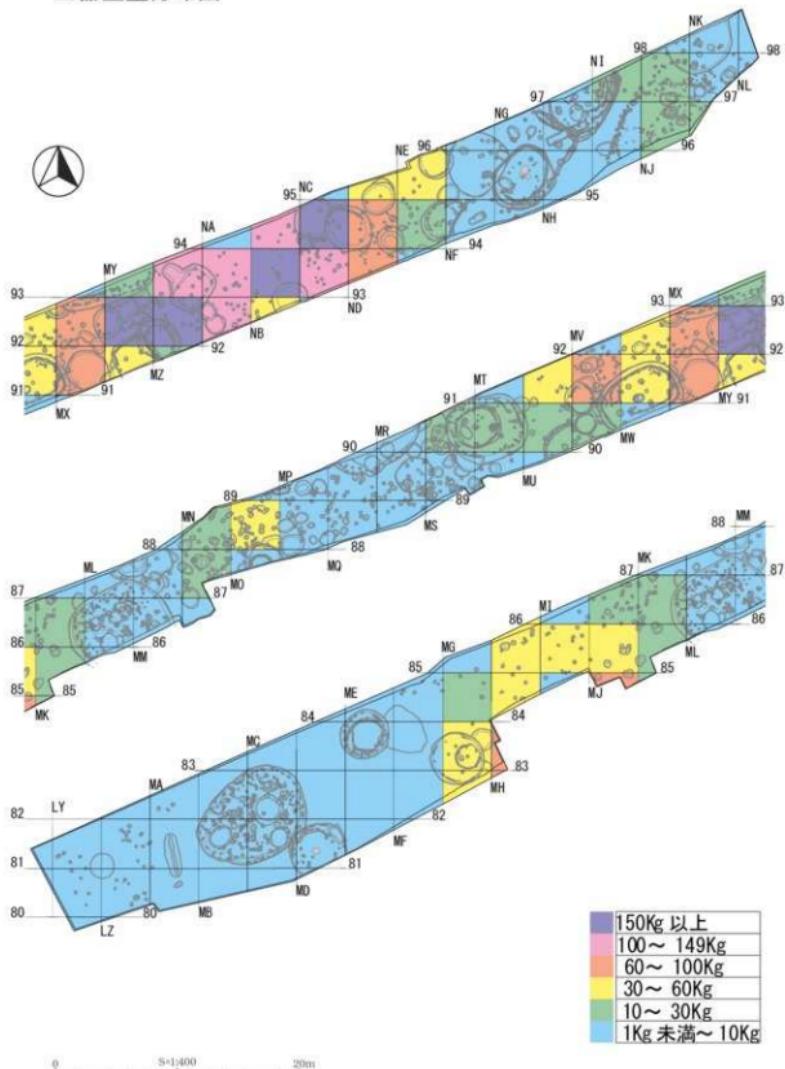
第13号竪穴住居跡の図32-2、第24号竪穴住居跡の図66-3、第43号竪穴住居跡の図107-3、図183-1のように頸部がくびれて外反するもや図32-23や図67-2のようにくびれて窄まる器形がみられる。口縁部には粘土の貼り付けがみられ、刺突や原体側圧などが施されている。胸部文様は単軸絡条体第1A類や結束第1種が多くみられる。

6類 大木2~6式に相当する土器

第III類 縄文時代中期の土器

1類 円筒上層a式に比定される土器

土器重量分布図



第11号竪穴住居跡の図5-1・3、図6-5、図7-2のように口縁部が折り返し気味に段がつくものや頸部から外反するものが多くみられる。一般に波状口縁が多くみられ、口縁部に粘土紙を貼付けて鋸歯状の原体側圧が施したり、第22号土坑の図122-1のように円形の粘土を貼付けているものがある。胸部には一般的に斜繩文や結束第1種などを施文しているが、図6-3、図7-1、図8-5、図9-6などは縦位の結節回転文がみられるものである。また、第40号竪穴住居跡の図101-1や図122-7のように胸部文様が条線文(条痕)のもの数例みられる。

2類 円筒上層b式に比定される土器

(大木7式に相当する土器も含む)

3類 円筒上層c式に比定される土器

4類 円筒上層d式に比定される土器

5類 円筒上層e式に比定される土器

(大木8~9に相当する土器も含む)

6類 櫻林式・最花式に比定される土器

7類 大木10式に併行する土器

第IV群 繩文時代後期の土器 (今回の調査では出土していない)

第V群 繩文時代晩期の土器 (今回の調査では出土していない)

無文土器

第26号竪穴住居跡の確認面から1点と遺構外から6点出土している。

図194-2は底部が一部欠損しているが、三足土器の可能性があるものである。内外面の調整は丁寧にみがかれており、その器形などから前期後半と考えられる。第26号竪穴住居跡の図81-7は頸部に隆帯がみられるが、施文などされていない。図194-1はやや厚い器厚で、図81-7のように隆帯もみられず、上下に走る成形痕が確認でき、いずれも円筒下層b~c式と思われる。図194-5は厚ぼったい椀形、図194-7も器厚の厚い湯飲み形、図194-7・8の口縁部に黒変部分が確認される。図81-8は、図81-7と同一の第26号竪穴住居跡から出土おり、一見、無文土器の様にみえるが、部分的に、繩文の施文がみられる。なんらかの理由で、成形時に器表面の乾燥が進み施文ができない状態であったか、あるいは、当初から施文しない土器を製作したのかも知れない。その他に小型土器の中には無文ものも多くみられる。

台付土器

図193-4・5は、施文から円筒下層d式、第24号竪穴住居跡の図69-7は底部にやや高い高台が付くもので、第24号竪穴住居跡の覆土から図68-5と図193-6は、高台部分のみの出土であるが、本遺跡の出土例からみれば、台付土器は円筒下層c~d式頃に出現する土器の形態と考えられる。

赤色顔料付着土器

遺構外から出土した図197-20は、やや厚ぼったい椀形で、内部に赤色顔料と思われる赤変部分が確認できる。外面の一部に繩文が施文されている。

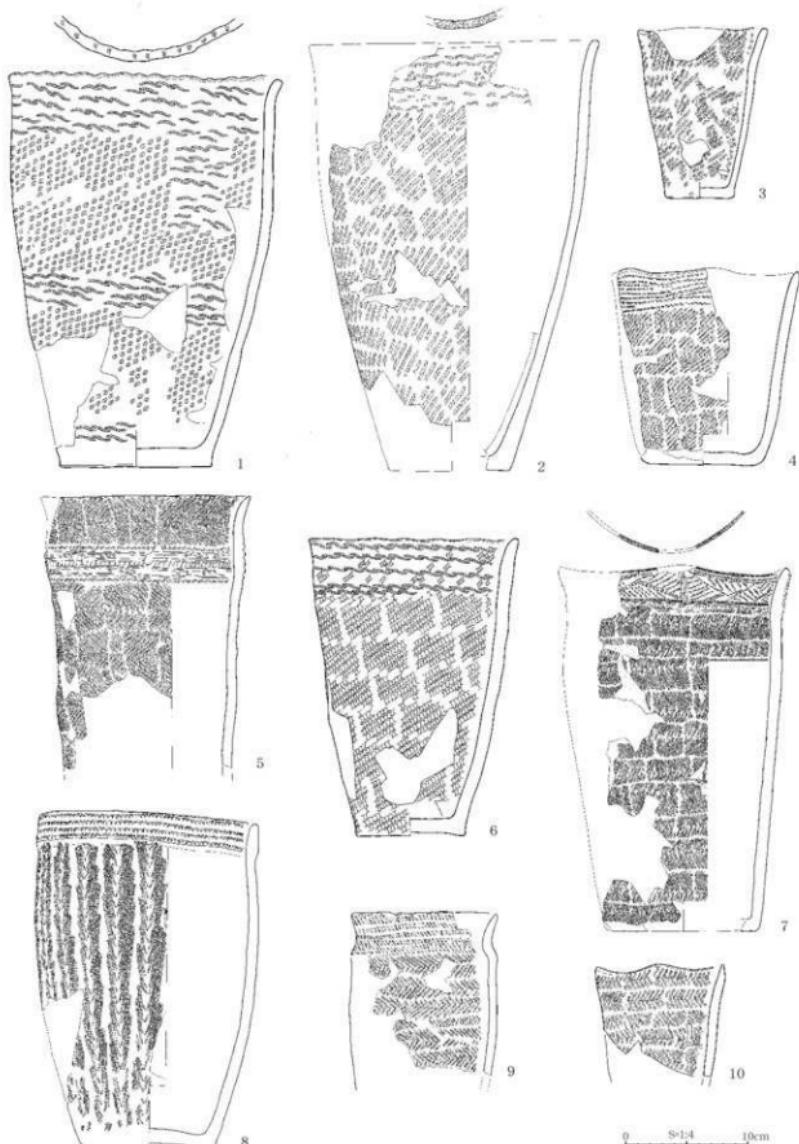


図190 遺構外出土遺物1



図191 遺構外出土遺物2

0 5cm 10cm



図192 遺構外出土遺物3

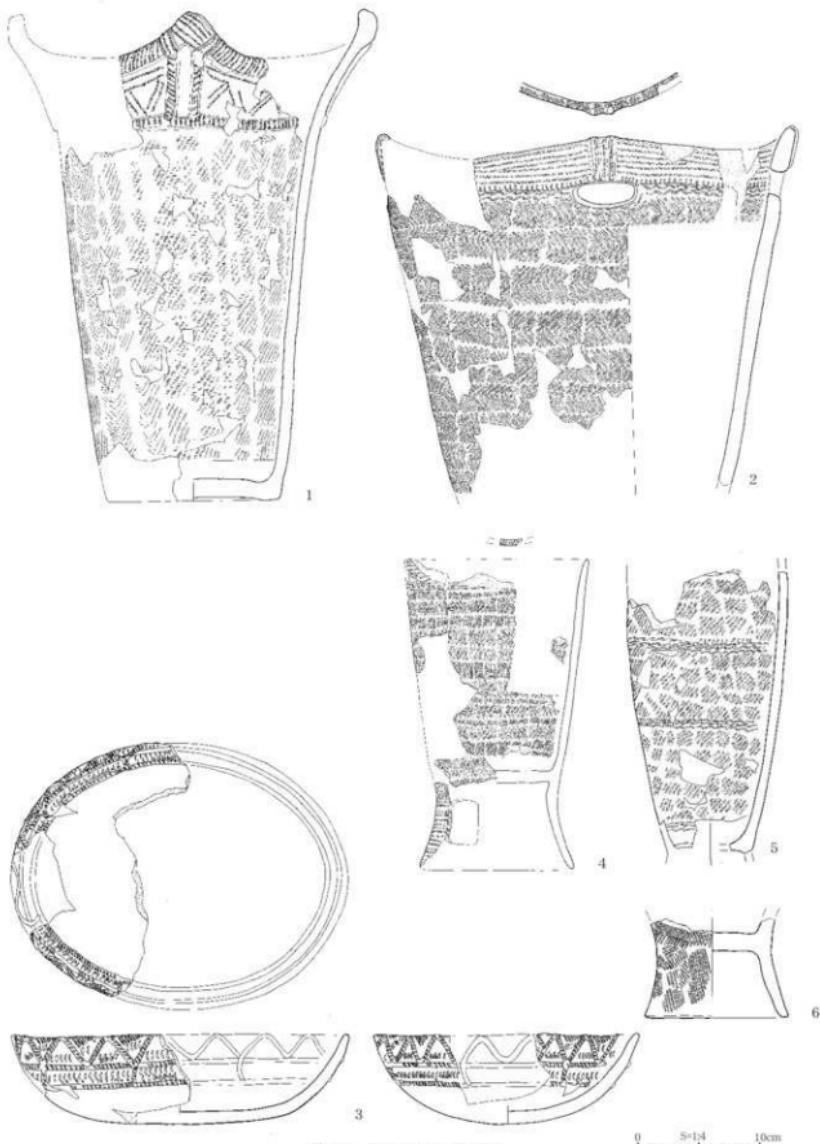


図193 遺構外出土遺物4

0 S=1:4 10cm

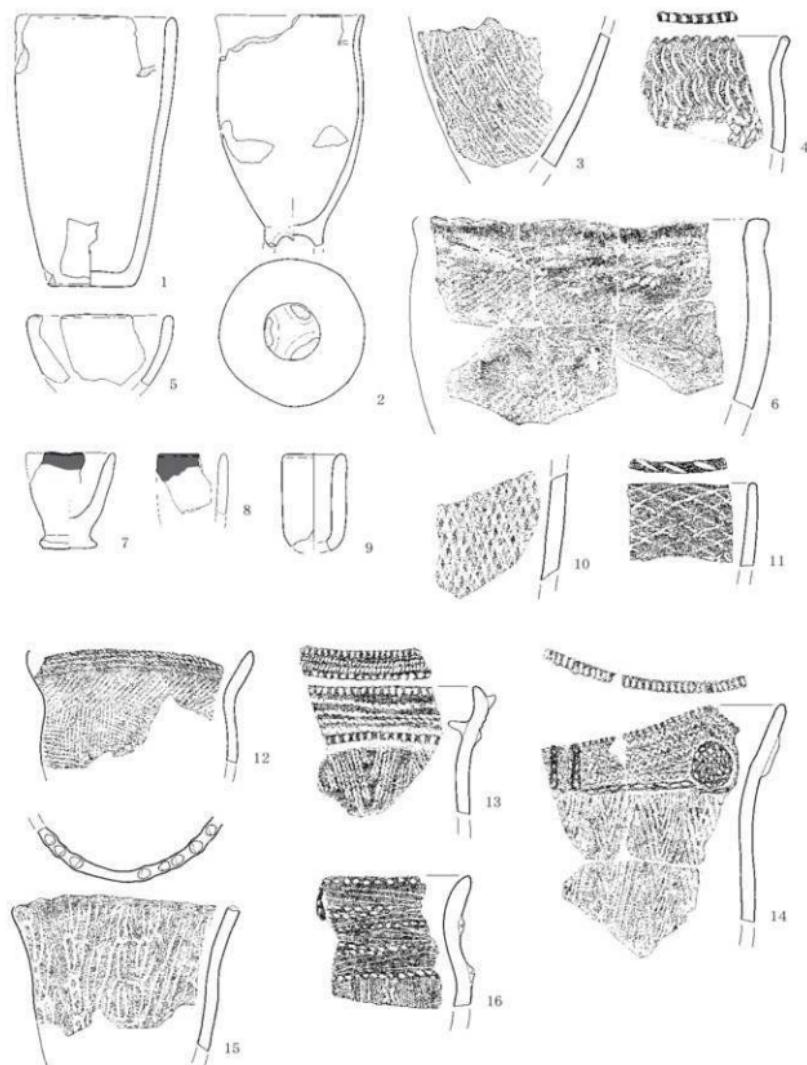


図194 遺構外出土遺物5

0 10cm
(3-4-6-10-16 S=1:3)
0 10cm
(1-2-5-7-9 S=1:4)

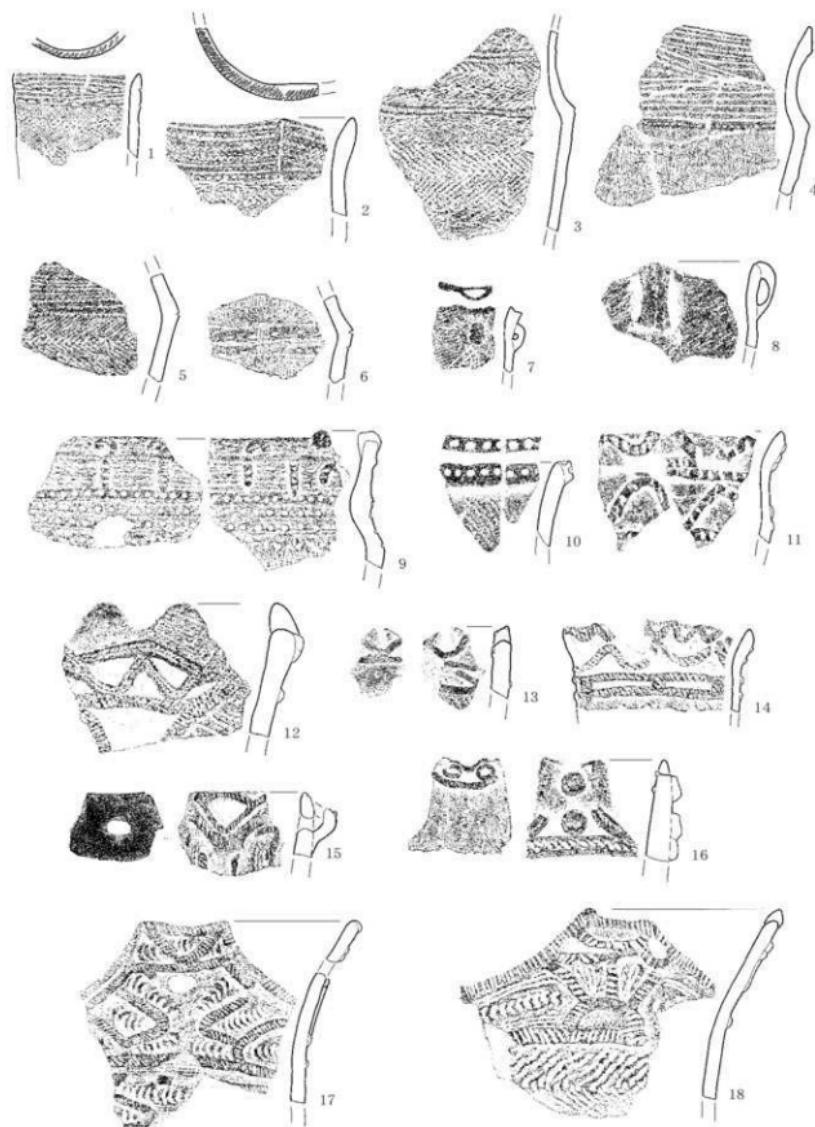


図195 遺構外出土遺物6

0 S-13 10cm

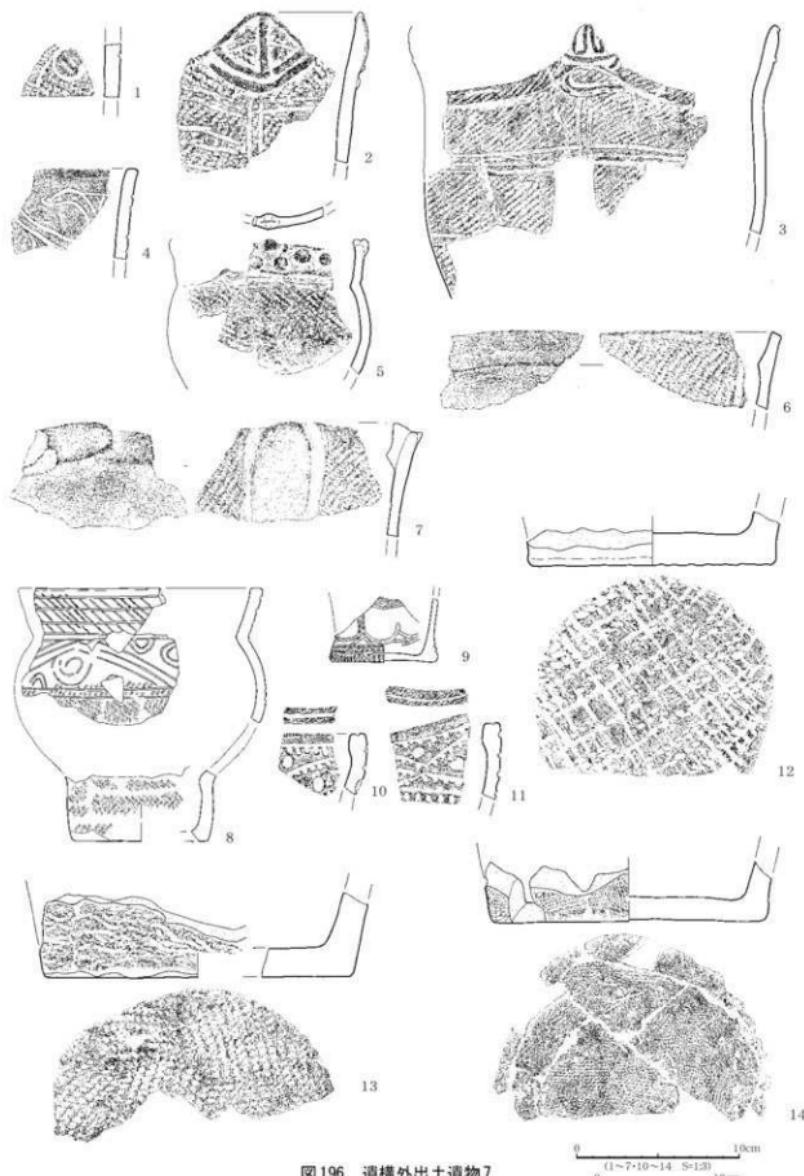


図196 遺構外出土遺物7

0 10cm
 (1~7・10~14 S=1:10) 10cm
 0 (8~9 S=1:10)

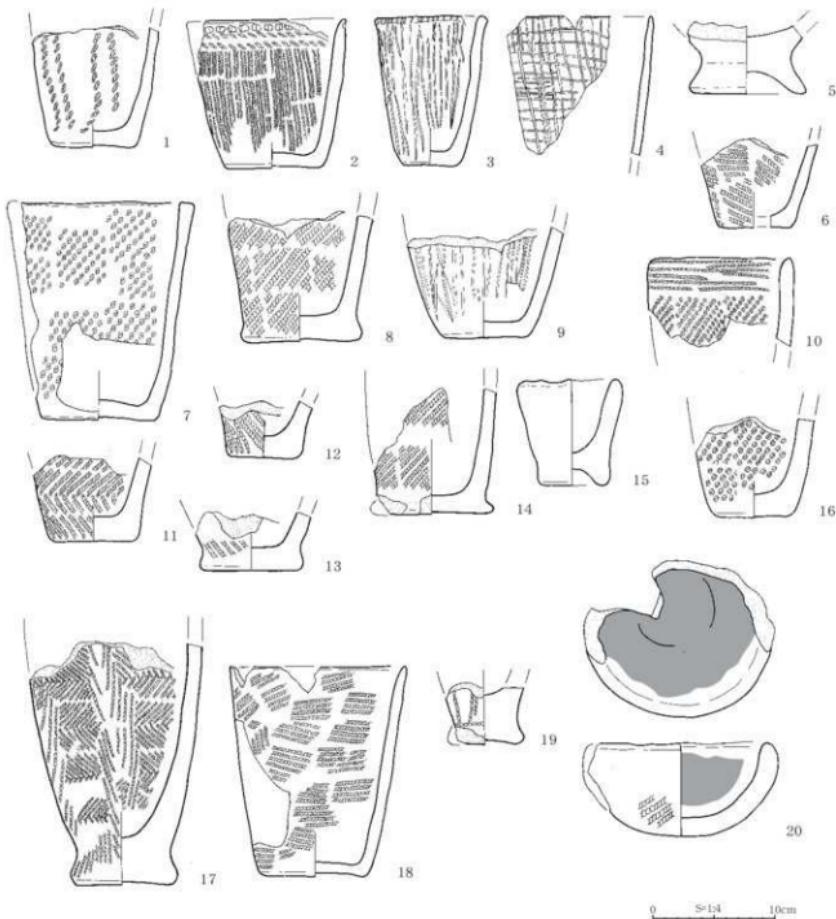


図197 小型土器

内部に仕切りをもつ土器（図198－4・5）

仕切りをもつ土器は、2点出土し、どちらも調査区中央の捨て場区域からである。

4は、ND-9-5のⅢ層下位から出土し、口唇部に円形刺突がみられ、口縁部から底部まで結束第1種の回転文が施文されている。内部は丁寧にミガキ調整が施されている。

5は、NA-9-2のⅢ層下位から出土し、頸部に隆帯を持ち、口縁部が結束第1種、隆帯に単軸絡条体第1類、胴部上半が斜繩文、胴部下半は単軸絡条体第1類の回転文が施文され、内面はミガキ調整がされている。

いずれも横断面が楕円形になるように製作された土器で、内部が仕切り板で二分されている。側面の内面と仕切りは同じように丁寧なミガキ調整が施され、側面と仕切り板の胎土、纖維の混入の度合い、色調なども大きな違いは認められない。ただし、土器の内面は、黒変の度合いが左右微妙に違っているのが注目される。

製作技法として考えられるのは、最初から底部を8の字形や楕円形につくりながら仕切を積み上げていく方法と、未完成（未乾燥）の土器を2個を用い合わせて仕切り土器とする方法が考えられる。

西張平遺跡から出土した2点の土器を底部や仕切の壊れ具合から見る限り、2個体を接合して成形された可能性が高いと推察できる。

用途については、土器ということを前提とすると煮沸や貯蔵以外の用途については不明であり、出土点数からみても実用的というより特殊なものと思える。

器形と施文からいずれも円筒下層b～c式土器と考えられる。

内部に仕切りを持つ土器の名称は、様々であるが、ゴッソー遺跡や大日向遺跡出土の土器は、1個体の土器を用いて仕切りを付けているが、尾上山(3)遺跡や矢倉遺跡では、2個体を合わせることで仕切りとしている。それから考えると、双子土器と呼ぶのが正しいのかも知れない。

内部に仕切りをもつ土器の出土している遺跡（番号は図198・199の仕切り付土器集成の図版と一致）

- 1 青森県弘前市尾上山(3)遺跡（青森県教育委員会：1991）前期 ミニチュア土器
- 2 青森県青森市三内丸山(2)遺跡（青森市教育委員会：1993）中期？ ミニチュア双口土器
- 3 岩手県洋野町（旧種市町）ゴッソー遺跡（岩手県文化振興事業団：2001）前期
- 6 青森県七戸町矢倉遺跡（七戸町教育委員会：2002）前期
- 7 岩手県輕米町大日向II遺跡（岩手県文化振興事業団：1998）前期
- 8 福島県新地町三貫地貝塚（福島県立博物：1988）後期
- 9 富山県朝日町境A遺跡（富山県教育委員会：1991）後期 双口台付土器
- 10 秋田県北秋田市（旧森吉町）日廻岱B遺跡（秋田県教育委員会：2005）後期
- 青森県青森市三内丸山(2)遺跡（未報告資料）中期 北盛り土（三丸展示室：実測図なし）

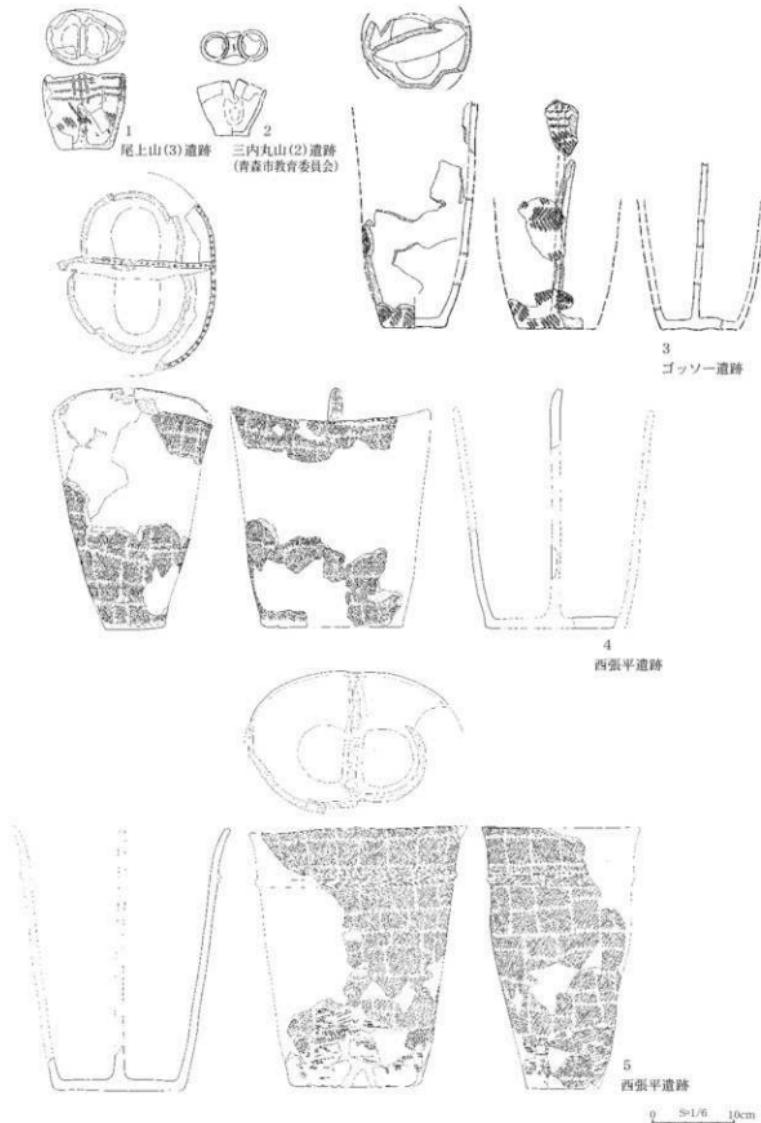


図198 仕切り付土器集成1

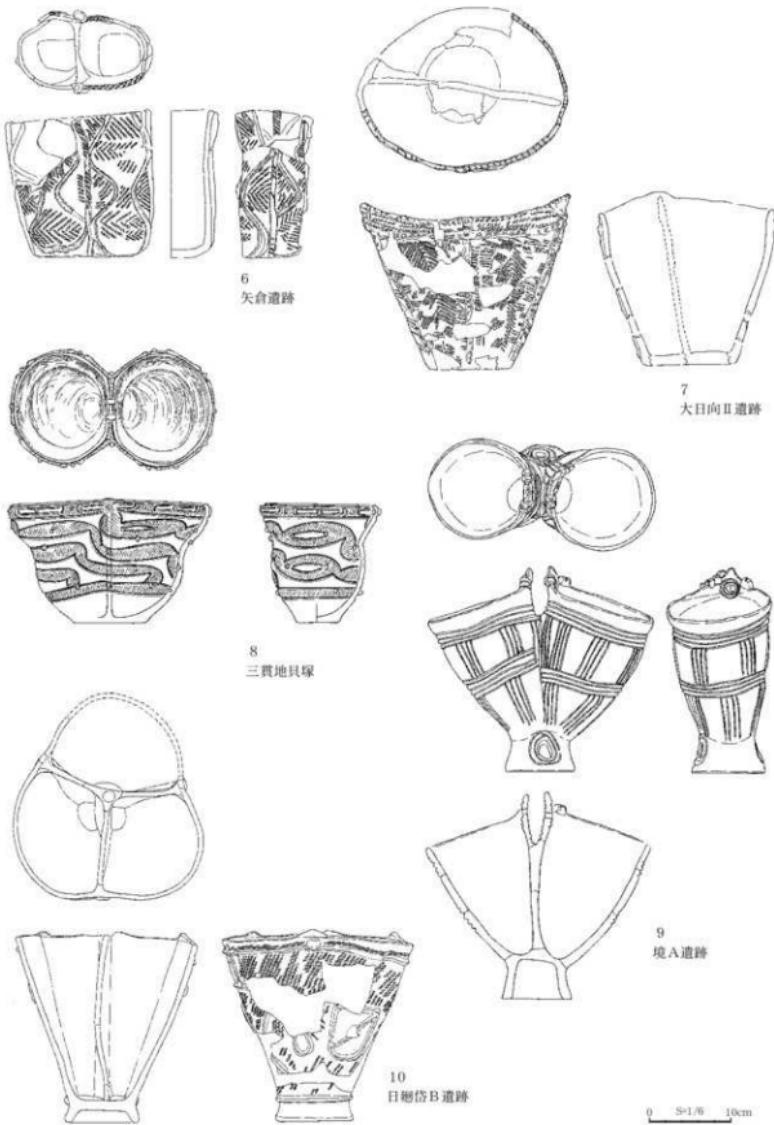


図199 仕切り付土器集成2

第2節 石器

出土した石器は、段ボール箱で約115箱、剥片石器の総数は2,225点（遺構内635点、遺構外1590点）で、礫石器の総数は828点（遺構内306点、遺構外522点）である。

剥片石器と礫石器に分け、器種、形態、使用痕の状態によって細分した。

第1群 剥片石器

1類 石鏃

遺構内から130点、遺構外から298点の計428点出土している。基部形態には以下のものがある。石鏃は、遺構内の覆土から一緒に出土した土器型式に比定すると、前期中葉から後葉には尖基、円基鏃が多く、前期後葉から中期前葉にかけて有茎凸基鏃が増加する傾向にある。

A種 無茎

1 四基 挟りの深いものと浅いものがある。

2 平基

B種 有茎

1 四基

2 凸基

C種 円基

D種 尖基

2類 石槍

遺構内から10点、遺構外から10点の計20点出土している。基部の形態には以下の2種類が認められる。

A種 円基

B種 基部につまみ様の挟りがあるもの。

3類 石匙

遺構内から46点、遺構外から191点の計237点出土している。大きく以下の2種類に分けられる。石匙は遺構内からの出土量が少ないせいもあるが、縦型と横型で石鏃のような種類による遺構ごとの出土量の偏りはみられない。遺構外からの出土が多いのも傾向の一つである。

A種 縦型

B種 横型

4類 石籠

遺構内から19点、遺構外から25点の計44点出土している。形態で以下の3種類に分けられる。

A種 楕円形

B種 摻形

C種 上方から下方へ広がるもの

5類 石錐

遺構内から23点、遺構外から36点の計59点出土している。大きく以下の2種類に分けられる。

A種 つまみ部を有するもの

B種 つまみ部が無く棒状のもの

6類 楔形石器

平面形態が方形で、打点が対に複数存在し、打点付近に階段状に剥離がみられるものである。遺構内から27点、遺構外から30点の計57点出土している。

7類 異形石器

用途が不確定な石器である。遺構外からのみ2点出土している。

8類 不定形石器

二次調整のある剥片で、上記以外の剥片石器である。遺構内から379点、遺構外から991点の計1370点出土している。

9類 微小剥離のある剥片

8類で観察される二次調整とは異なる微細な剥離が連続して見られる剥片である。遺構内から543点、遺構外から1215点の1758点出土している。

10類 剥片・石核

調整加工、微小剥離が観察されない剥片を剥片とし、剥片石器を製作するための素材を取った後の剥片を石核とした。

第II群 碓石器

11類 磨製石斧

遺構内から17点、遺構外から38点の計55点出土している。

12類 敵磨器類

遺構内から236点、遺構外から392点の計628点出土している。使用痕と形態から以下の5種類に分けられる。敵磨器類に使用された石材は安山岩が最多である。

A種 磨り

B種 敵き・凹み

C種 磨り、敵き・凹みの複合

D種 半円状扁平打製石器（抉入扁平磨製石器を含む）

E種 北海道式石冠

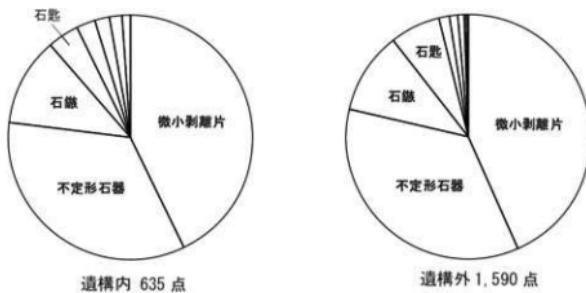
北海道式石冠は遺構外から7点出土している。なお、敵きと凹みは厳密には区別されず、敵きが強く施された状態が凹み痕として確認できるものと判断している。

13類 石皿・台石類

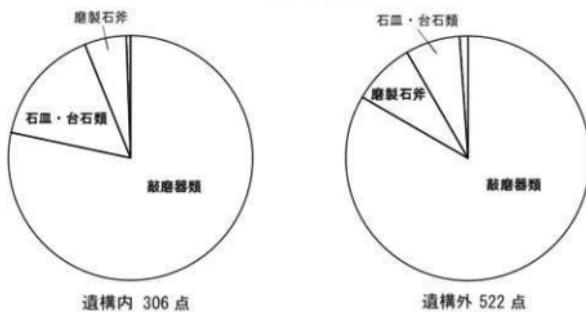
遺構内から47点、遺構外から34点の計81点出土している。

14類 砥石

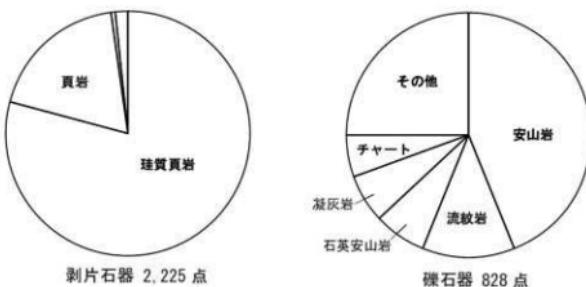
遺構内から1点、遺構外から5点出土している。図201-8は有溝砥石で断面V字状の溝が2本みられる。石材はデイサイトである。



剥片石器器種組成



砾石器器種組成



石材組成

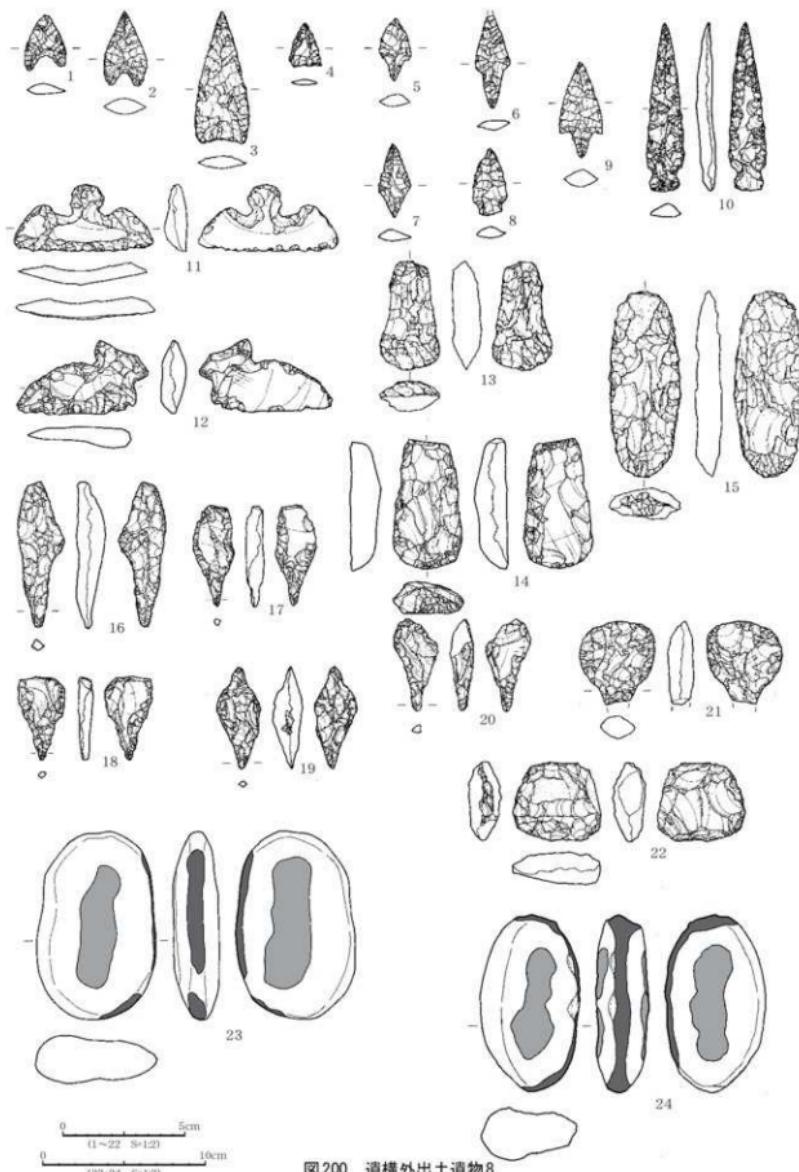


図200 遺構外出土遺物8

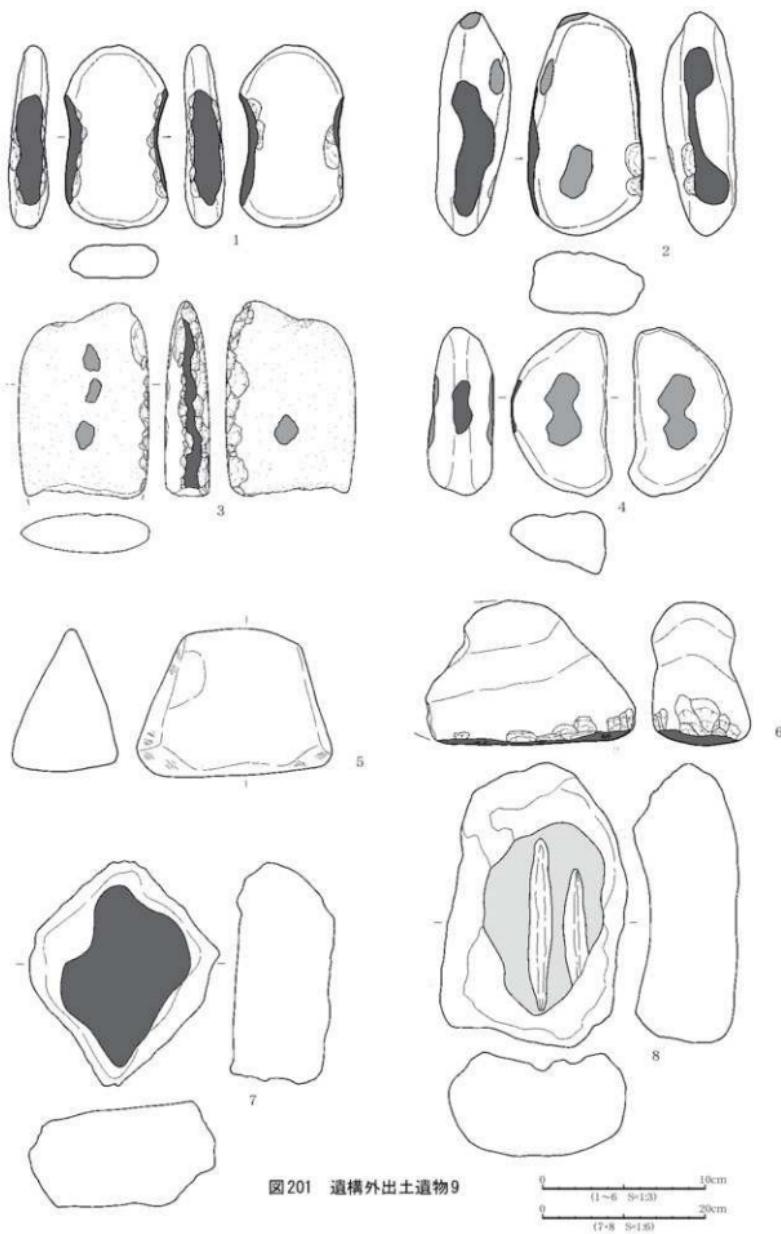


図201 遺構外出土遺物9

10cm
(1~6 5~13)
20cm
(7~8 5~18)

第3節 土製品

縄文時代の土製品が59点出土している。ほとんどが胎土に海綿骨針を多少なりとも含んでいるのが確認でき、海生粘土を用いて製作していると思われる。

1 土偶（図202－1～8）

土偶は遺構内から5点、遺構外から3点出土している。いずれも板状土偶の破片と考えられ、調整技法から分類する。

I類 沈線と刺突によるもの（円筒下層d式期？）

3・4・7・8は、いずれも胸部破片で、縦位の沈線や刻目、刺突などによって施文されており、4・7・8は粘土の貼り付けにより胸やへそを表現している。

II類 湧巻き状に側面圧痕するもの（円筒上層a式期）

1はその形状から土偶の脚部と思われ、かなり大型のものである。2の部位は不明。5は顔面をモチーフに窪んだ部分が目、側圧と刻目によって眉を表現していると思われる。

III類 無文のもの（円筒上層a式期？）

6は腕部と思われるが、無文のため表裏の区別はつかない。

2 円盤状土製品（図203・図204）

円盤状土製品は遺構内22点、遺構外15点の計37点出土している。いずれも土器片の周縁を円形に整形したもので、形態はほぼ円形である。側縁の加工は一部、あるいは全周を研磨調整しているものが22点、打ち欠きのみで整形しているものが15点である。再利用していると思われる土器は、円筒下層a式から円筒上層a式までの土器片で、29のみ大木式土器を再利用している。

大きさは直径が最小2.0cm、最大7.6cm、平均は4.0cmで、約6割が3.0～5.0cmの間に集中する。重量は、最小2.8g、最大71.4g、平均は20.5gで、約6割が10～30gの間に集中する傾向がみられる。

出土した円盤状土製品を孔の状態によって以下の通り分類してみる。

I類 ほぼ中央に貫通孔がみられるもの（図203－1～6）

6点が該当し、すべて胸部破片再利用である。2～6は遺物のはば中心に8mm前後の貫通孔がみられる。1は完形ではないため断定は出来ないが、恐らく同様のものと考えられる。また、両面穿孔の痕跡が顕著にみられる。2には貫通孔の上部に貫通していない孔があるが、これは土器の補修孔と考えられる。

II類 穿孔途中と思われるもの（図203－7～9）

3点が該当し、すべて胸部破片再利用である。遺物の中心に0.3～0.6mmの穿孔痕が表裏両面に確認できる。

III類 貫通孔などの加工がみられないもの（図203－10～26、図204－27～37）

28点が該当し、25点が胸部破片、2点が底部破片、1点が口縁部破片再利用である。

3 その他の土製品（図205－1～14）

その他の土製品は、遺構内2点、遺構外12点の計14点が出土している。

1はミニチュア土器で、外面をナデによる調整がおこなわれ、施文はみられない。内面は、一部黒変しているのが確認できる。2はおはじき状の土製品で、表面に刻線がみられ、その形状から円盤状土製品と非常に類似しているが、土器片を再利用したものではないため、別扱いとした。3、4は鐸

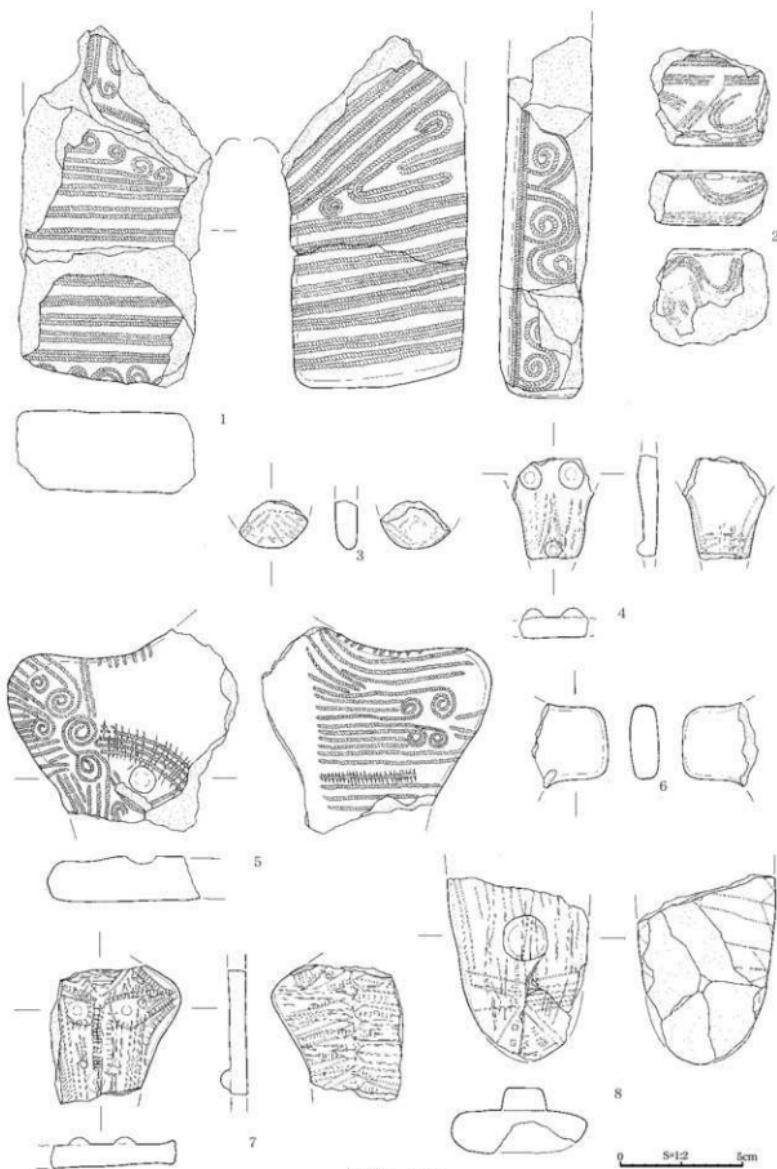


図202 土偶

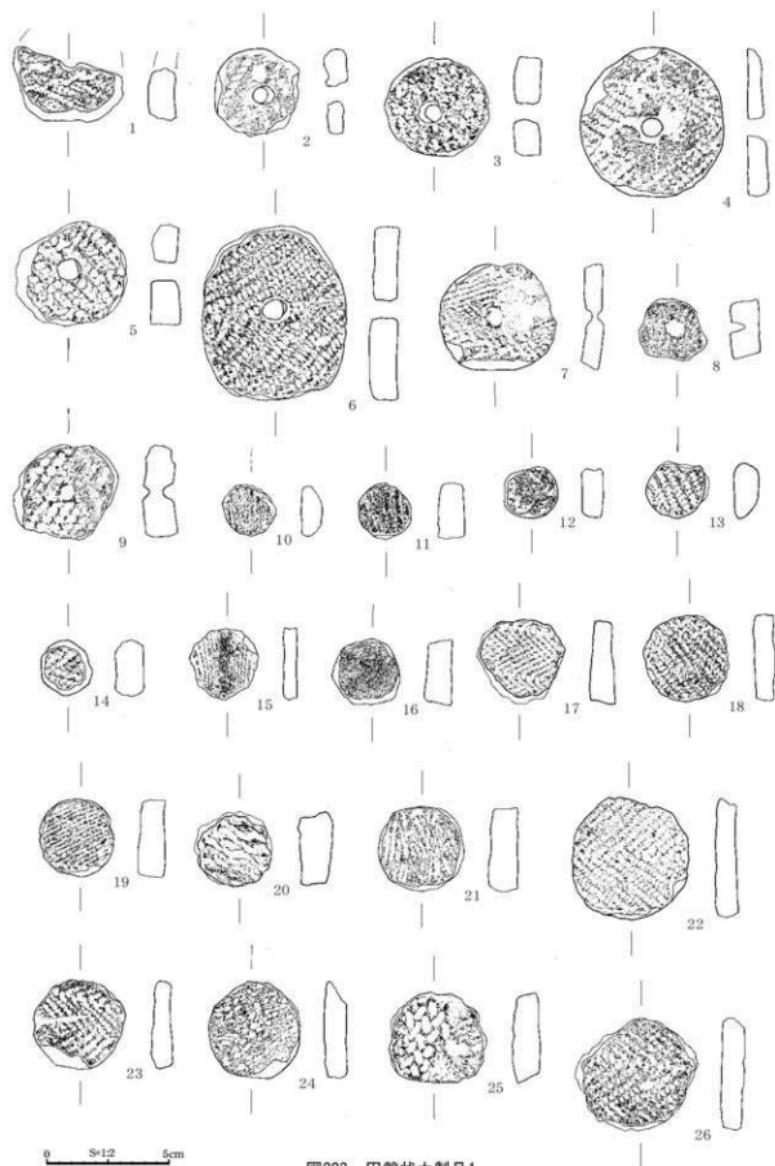


図203 円盤状土製品1

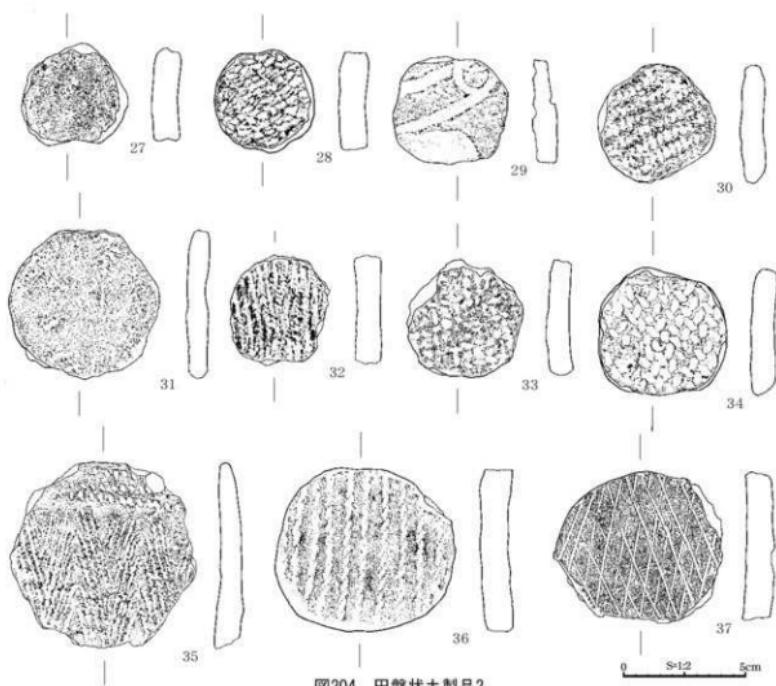


図204 円盤状土製品2

型土製品と思われる。3は側面に焼成前の貫通孔がみられる。4は上部に貫通孔がみられ、砲弾状に膨らむ器形である。5はその形態から腕輪状土製品で、表面に刺突痕がほぼ等間隔で並び、焼成は不良である。6は耳栓と思われ、形状は鼓状、中央部分が少しきびれています。7はスタンプ状土製品と考えられるもので、柄の部分が欠損している。底面はなめらかで施文などはされていない。8は筒状の不明土製品で、残存状態から中央が空洞状の筒形と推定される。9はリング状の土製品で、刺突や施文が見当たらないこと、調整が難なことから、装飾品の可能性は低い。12は不明土製品である。上下部が平坦で、台や重石として使われていた可能性が考えられる。10、11、13、14はいずれも焼成粘土塊と思われ、11の裏面には竹管による圧痕が確認でき、13は裏面に指頭圧痕のような窪みがみられる。

(秋元 莉絵)

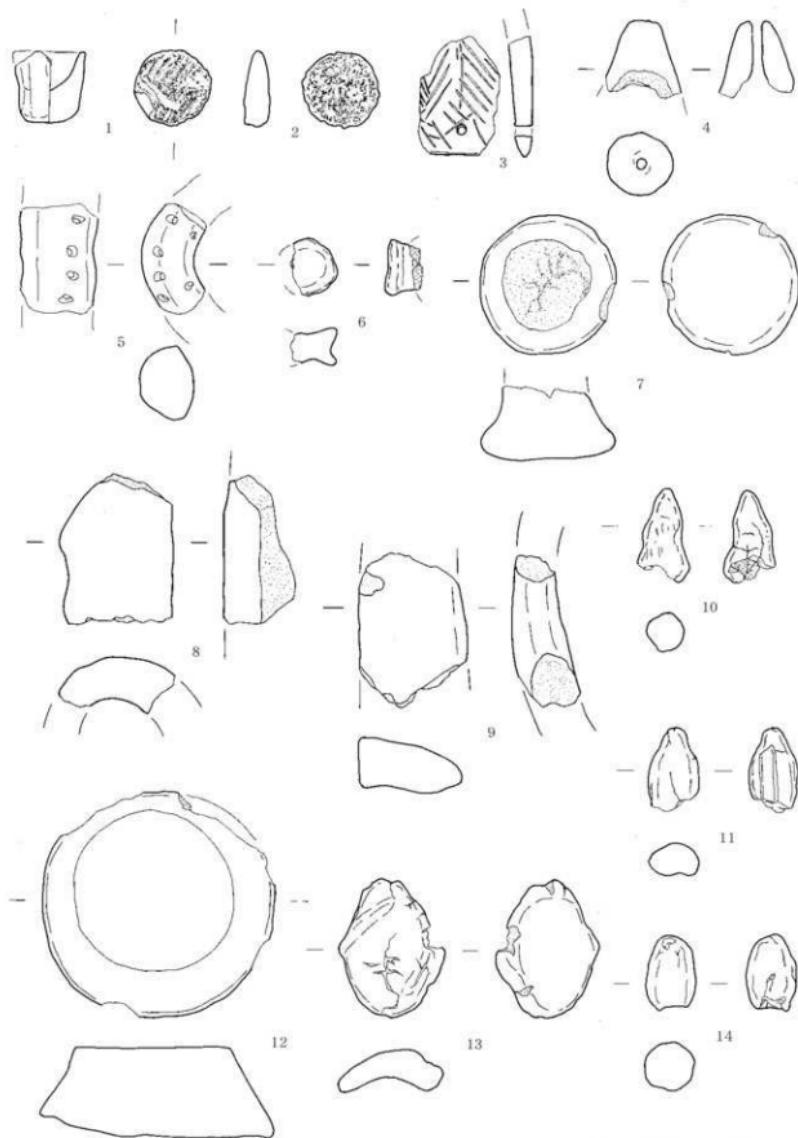


図205 土製品

0 5cm

第4節 石製品

縄文時代の石製品が309点出土している。以下器種ごとに記述する。

1 石製垂飾品（耳飾り他）

石製耳飾りは、遺構外から2点出土している。いずれも環状で、外側中央を巡るように1本の溝がつくられるものである。図206-1のはうが図206-2よりも一回り大きい。いずれも凝灰岩製である。

2 石棒

石棒は、遺構内5点、遺構外5点の計10点である。すべて両端が欠損しているため頭部加工の有無などは不明である。断面形が円形のものと扁平なものに分けられる。図示した3点はすべて断面形が扁平で、図206-15は三角形状、図206-14と図206-16は楕円形状である。図206-15は三角柱状の石の側縁に敲打がみられる。石質は3点とも安山岩である。他に流紋岩、デイサイト、粗粒玄武岩製のものがある。

3 軽石製品

軽石、軽石製品は257点確認され、以下の4種類に分類される。

A類 石冠状の頭部を有するもの（4点 遺構内2点 遺構外2点）

B類 孔のあけられるもの（9点 遺構内6点 遺構外3点）

C類 平滑面を有するもの（50点 遺構内17点 遺構外33点）

D類 上記以外のもの（194点 遺構内98点 遺構外96点）

A類は、すべて上部に環状に抉りを入れ、石冠状の頭部をつくりだし、底面を平滑にしている。図207-4は他に比べ頭部が小さい。いずれも頭部は中心ではなく偏った部分につくられる。

B類は、ほとんどが円盤状に成形してあり、孔が貫通しているものと貫通していないものがある。孔は中央に施されるものが多い。図207-7は中央に貫通孔があるが、その脇に表裏2か所ずつ計4か所の貫通していない孔が認められる。図207-12、図207-5はいずれも両側から孔を穿っているが、貫通していない。図207-12は他の製品に比べ大型である。図207-6は円盤状に整形し、片面に未貫通孔が施される。図207-13は半円状で全体を平たく加工してあり、片側に貫通していない孔が認められる。

C類は、平滑面を有するものである。ほとんどのものが1面の平滑面を有する。

D類は、上記以外のもので、擦るまたは擦られて整形されるなどの加工が施されているものや、未加工のものが含まれる。図209-3は楕円形の鉢形に整形している。図209-5はボーリングのビンのような形状に整形しているものである。図208-21のように数面の滑面が確認されるものもある。

4 凝灰岩質石製品

凝灰岩質石製品は凝灰岩や泥岩質の石に加工を施したものである。器面に擦痕の認められるものが多いが、石質が軟らかいため当時の整形痕・使用痕ではない可能性もある。

図212-1は径6cm、深さ1cmの円形の凹みがつくりだされる。図212-2は欠損しているが、形

態から岩版の可能性がある。図212-12は四角く板状に整形したものに未貫通孔が施されている。図213-14は、先の尖った道具で周囲から放射状に円形に整形をしたものである。図213-1は側縁部に打ち欠いた痕跡がみられる。図212-4の中央にある孔は人為的なものではなく欠損部である。図212-10は円く凹ませた部分がみられる。

5 その他の石製品

他の石製品として、石の一部や全体を研磨したもの、抉りのみられるもの、穿孔のなされるものなどがある。図206-9、図206-7、図206-6は、灰白色のチャートに研磨が施される。図206-9は幅1.5cm弱の浅い溝を研磨によってつくり出している。図206-5は、おそらく釣針のような形態の珪質頁岩全体を研磨しており、表面は滑らかで光沢がある。図206-4は流紋岩製で片面が研磨され擦痕が残る。図206-3は砂岩製で、全体が研磨されており、溝状に凹ませたり、抉りが施されている。図206-10は、梢円形の安山岩の全体が研磨され、非常に滑らかになっている。図206-13は、扁平な安山岩の表面に擦痕が施され、擦痕は直線的な辺の際部分と反対側の側面に多く見られる。

図206-11は、アルコーズ砂岩の両端を打ち欠いて梢円形に整形しているものである。

図206-12は半月形の薄い粘板岩の1か所に径3mm程度の未貫通孔が施される。

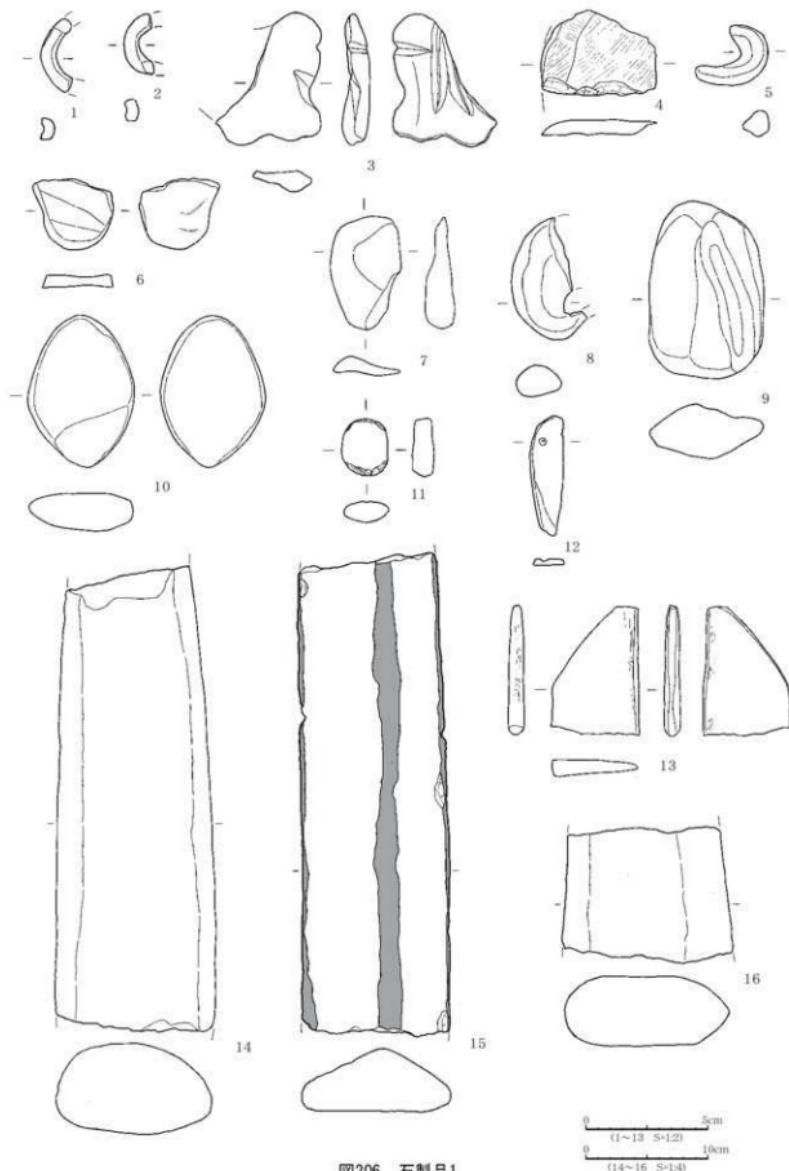


図206 石製品1

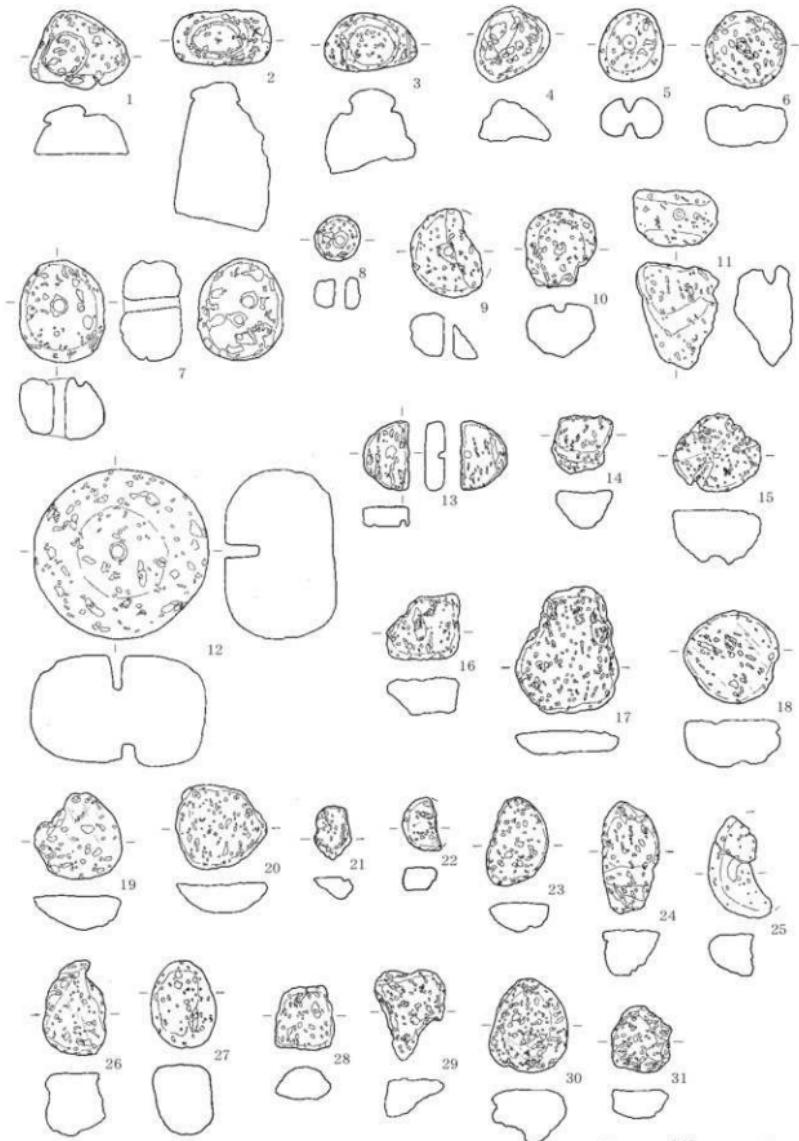


図207 石製品2

0 S=1:3 10cm

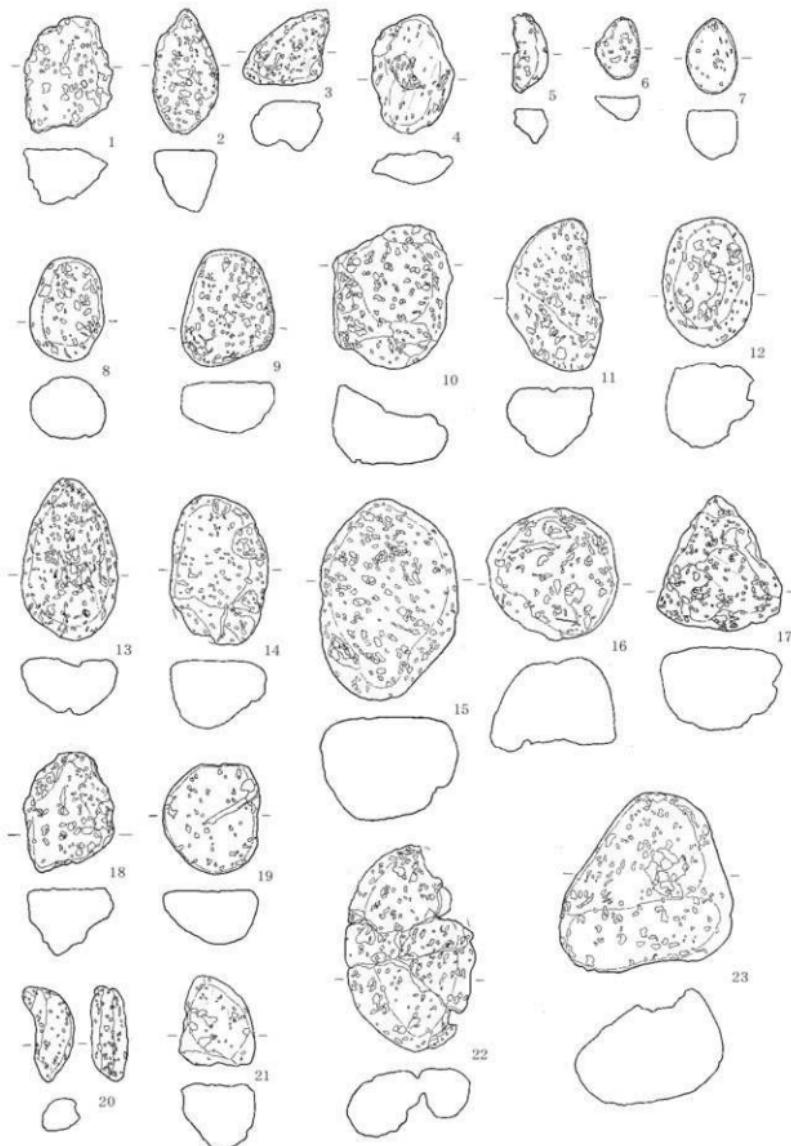


図208 石製品3

0 S-13 10cm

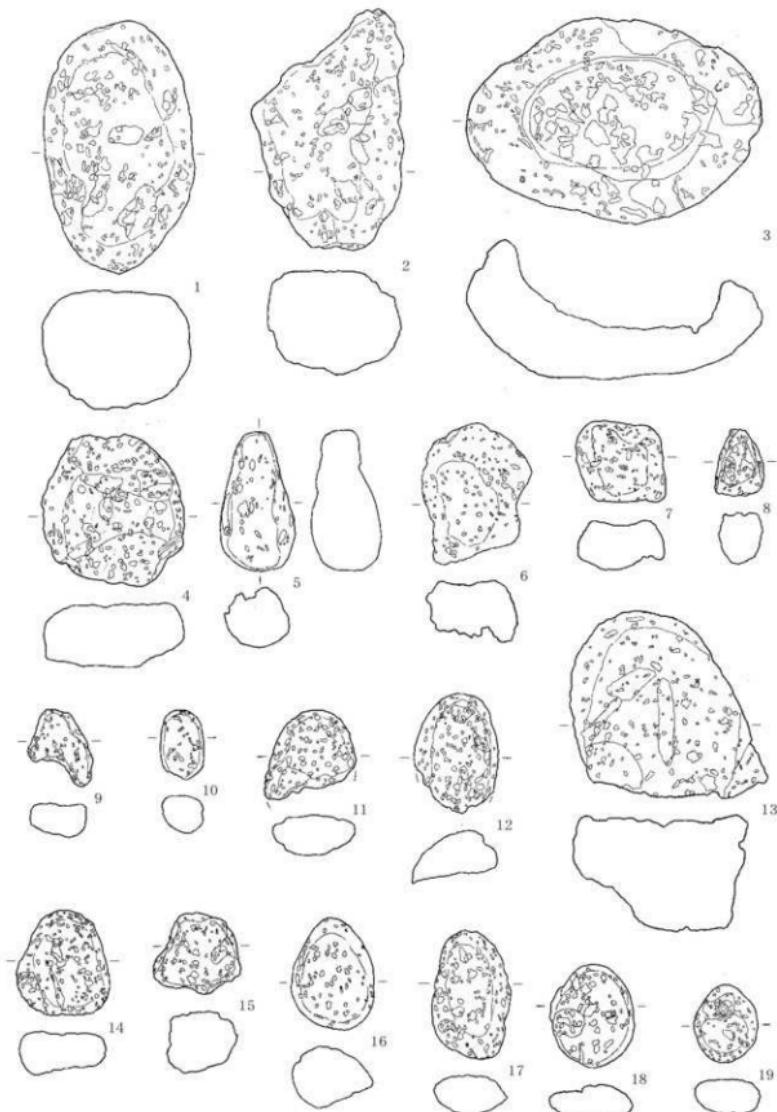


図209 石製品4

0 S:1:2 10cm

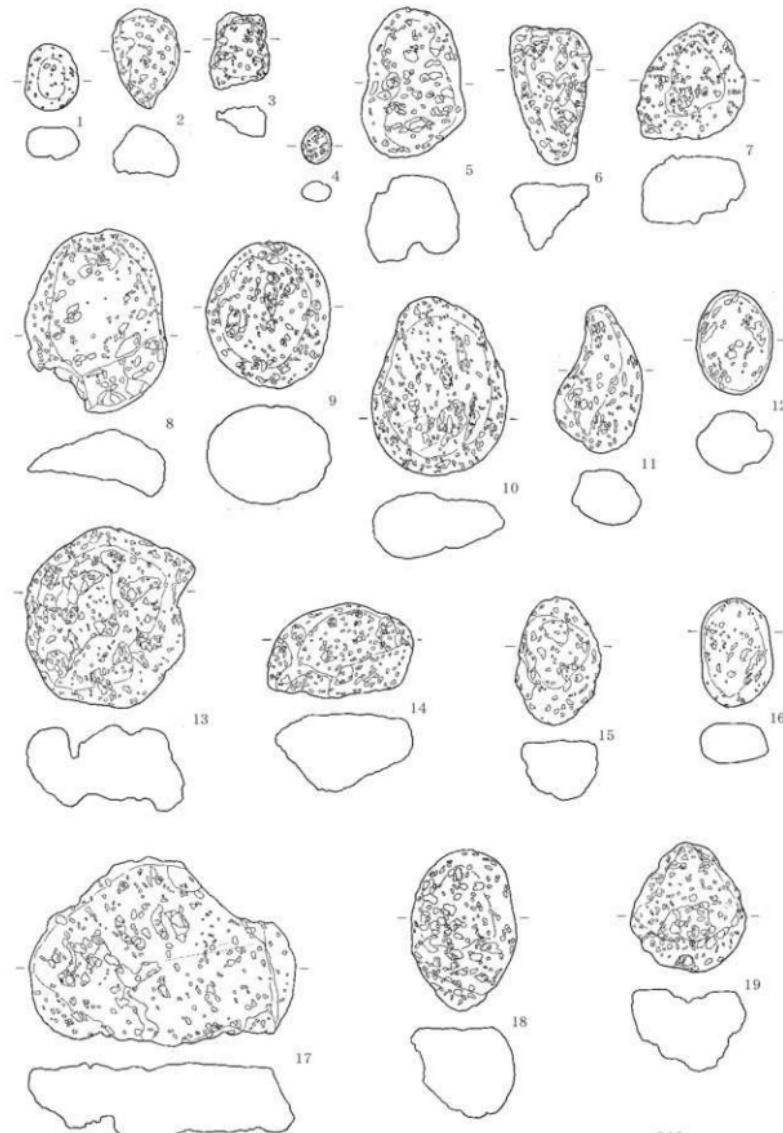


図210 石製品5

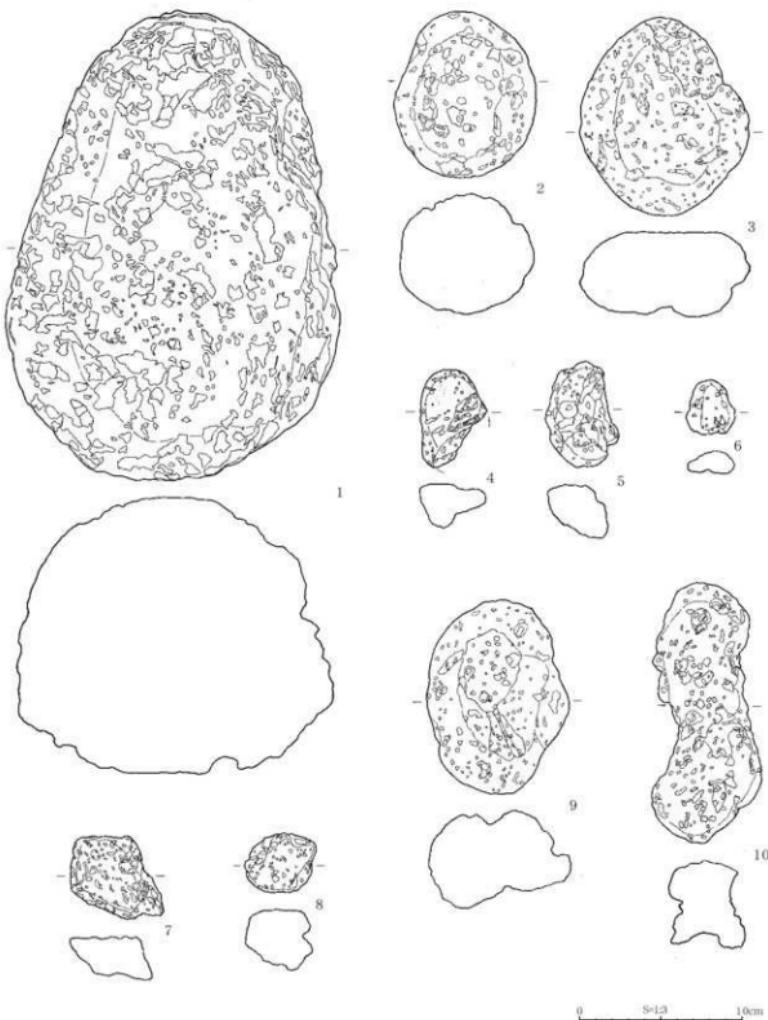


図211 石製品6

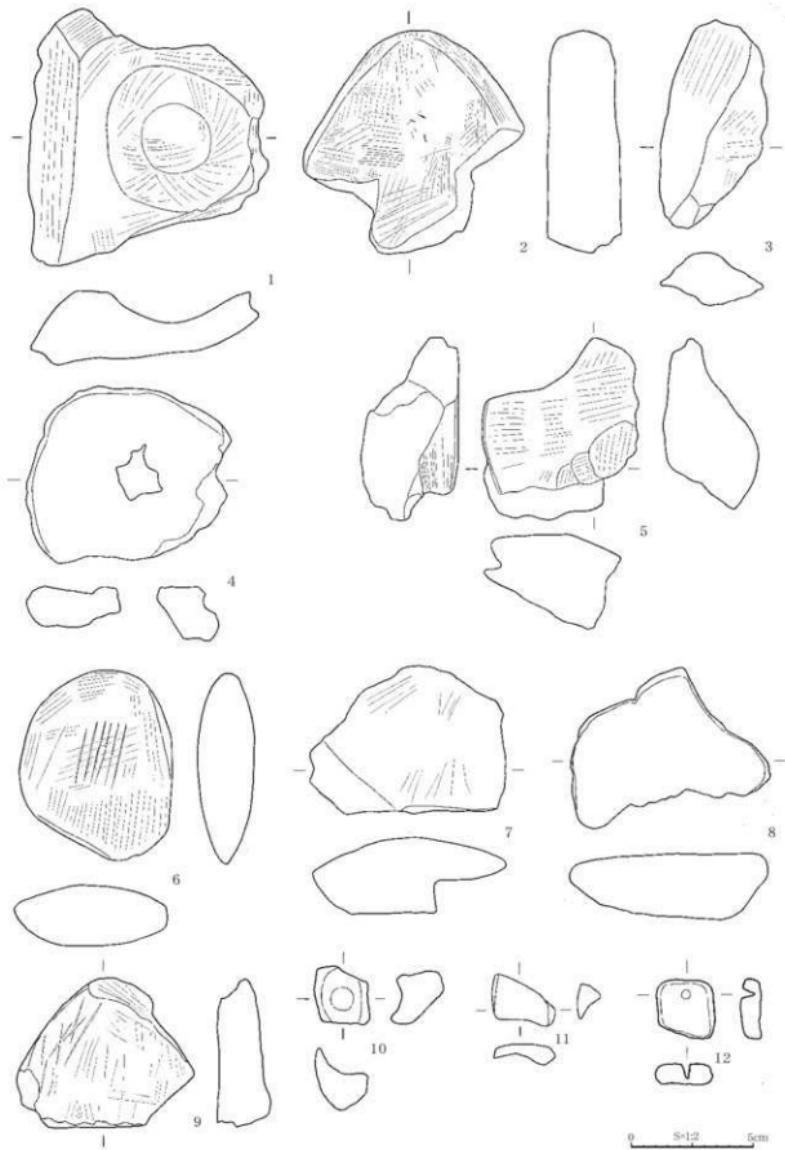


図212 石製品7

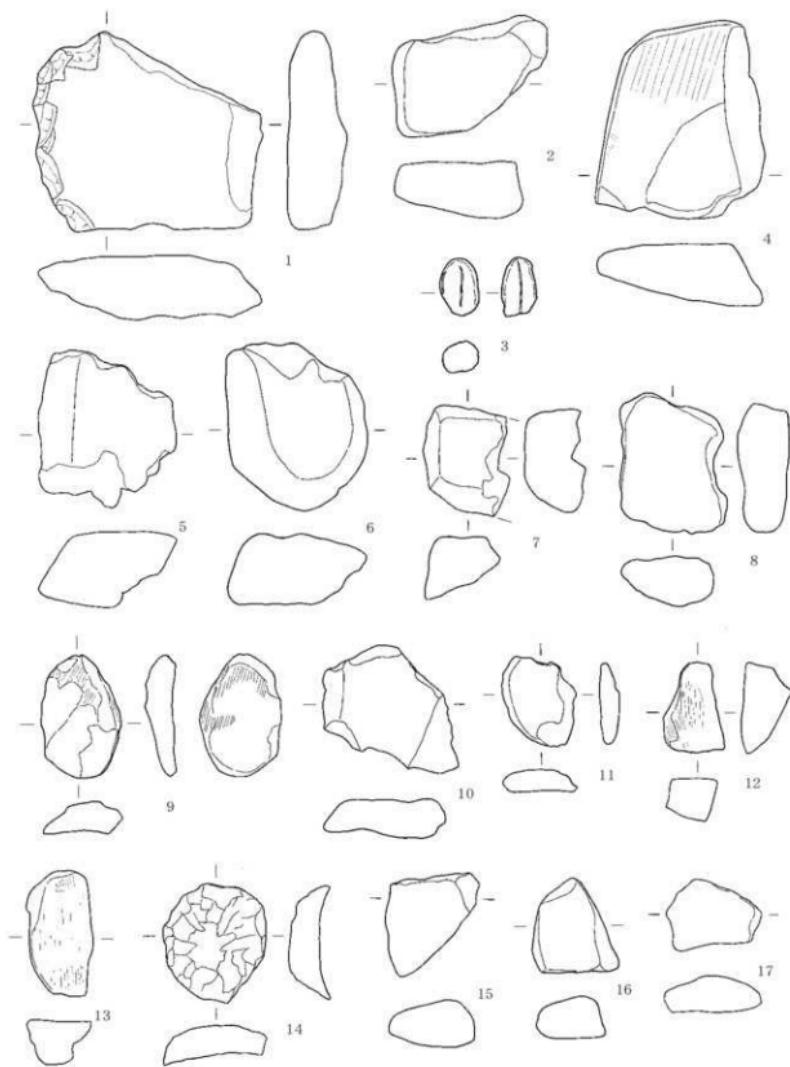


図213 石製品8

0 5cm 10cm

第4章 理化学的検証

第1節 放射線炭素年代測定結果

1 西張平遺跡 放射線炭素年代測定

(株) 地球科学研究所

放射性炭素年代測定の依頼を受けまし・試料について、別表の結果を得まし・のでご報告申し上げます。

報告内容の説明

未補正14C年代 (y BP) : (同位体分別未補正) 14D 年代 “measured radiocarbon age”
試料の $^{14}\text{D} / ^{12}\text{D}$ 比から、単純に現在(AD1950年)から何年前(BP)かを計算し・年代。

14D年代 (y BP) : (同位体分別補正) 14D 年代 “conventional radiocarbon age”
試料の炭素安定同位体比 ($^{13}\text{D} / ^{12}\text{D}$) を測定して試料の炭素の同位体分別を知り
 $^{14}\text{D} / ^{12}\text{D}$ の測定値に補正値を加え・上で、算出し・年代。
試料の $\delta^{13}\text{D}$ 値を-25(%)に基準化することによって得られる年代値である。
(Stuiver, M. and Polach, H.A.(1977) Discussion: Reporting of ^{14}C data. Radiocarbon, 19 を参照のこと)
歴年代を得る際にはこの年代値をもいる。

$\delta^{13}\text{D}$ (permil) : 試料の測定 $^{14}\text{D} / ^{12}\text{D}$ 比を補正する・めの $^{13}\text{D} / ^{12}\text{D}$ 比。
この安定同位体比は、下式のように標準物質 (* °C) の同位体比からの千分偏差(‰)
で表現する。

$$\delta^{13}\text{D} (\text{‰}) = \frac{(^{13}\text{D} / ^{12}\text{D})[\text{試料}] - (^{13}\text{D} / ^{12}\text{D})[\text{標準}]}{(^{13}\text{D} / ^{12}\text{D})[\text{標準}]} \times 1000$$

ここで、 $^{13}\text{D} / ^{12}\text{D}$ [標準] = 0.0112372 である。

歴年代 : 過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}D 濃度の変動に対する補正により、歴年代を
算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の ^{14}D の測定、サンゴの U-Th 年代と
14C 年代の比較により、補正曲線を作成し、歴年代を算出する。最新のデータベース(
“INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration” Stuiver et al., 1998, Radiocarbon 40 (3))
により約 19000 °C までの換算が可能となる。*

*但し、10000yBP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。

“The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol. 40, No. 3, 1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talamo and Vogel, Radiocarbon, Vol. 35, No. 2, pg 317-322, 1993: A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a “best fit” compilation of modeled data and, although an improvement on the accuracy of the radiocarbon date, should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results.”

測定方法などに関するデータ

測定方法 AMS : 加速器質量分析

Radiometric : 液体シンチレーションカウンタによる β -線計数法

処理・調製・その他 : 試料の前処理、調製などの情報

前処理 acid-alkali-acid : 酸 - アルカリ - 酸洗浄
acid washes : 酸洗浄
acid etch : 酸によるエッチング
none : 未処理

調製・その他

Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理
Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出
Cellulose Extraction : 木材のセルローズ抽出

Extended Counting : Radiometric による測定の際、測定時間を延長する

分析機関 BETA ANALYTIC INC.

4985 SW 74 Court, Miami, FL, U.S.A. 33155

C14年代測定結果

試料デ・タ	未補正14C年代(y BP) (measured radiocarbon age)	$\delta^{13}\text{C}(\text{permil})$	14C年代(y BP) (Conventional radiocarbon age)
Beta- 186374	4810 ± 60	-25.4	4800 ± 60
試料名 (24022) NISHIHARI-01			
測定方法、期間	AMS-Standard		
試料種、前処理など	charred material	acid/alkali/acid	
Beta- 199693	4510 ± 40	-25.2	4510 ± 40
試料名 (26560) NISHIHARI-02			
測定方法、期間	AMS-Standard		
試料種、前処理など	charred material	acid/alkali/acid	
Beta- 199694	4650 ± 40	-25.4	4640 ± 40
試料名 (26561) NISHIHARI-03			
測定方法、期間	AMS-Standard		
試料種、前処理など	charred material	acid/alkali/acid	
Beta- 199695	4560 ± 40	-24.2	4570 ± 40
試料名 (26562) NISHIHARI-04			
測定方法、期間	AMS-Standard		
試料種、前処理など	charred material	acid/alkali/acid	

年代値はRCYBP(1950 A.D.を1年とする)で表記。'ダ'・'ファ'・'ス'・'スタ'・'ダ'・'ド'は国際的な慣例としてNBS Oxalic AcidのC14濃度の***を使用し、半滅期は'ビ'・'の5568年を使用した。エリ'は'シグ'・(68%確率)である。

試料名	試料番号	出土地点	試料の種類	重量	備考
Beta-186374	24022 NISHIHARI-01	A区トレンチ01 IIIb層	炭化物	0.2g	標高139.0m
Beta-199693	26560 NISHIHARI-02	SI-16埋設炉② 埋設炉覆土	炭化種子	0.4g	標高143.8m
Beta-199694	26561 NISHIHARI-03	SI-24 覆土	炭化種子	0.3g	標高144.9m
Beta-199695	26562 NISHIHARI-04	SK-28 床面	炭化材	2.5g	標高143.8m

CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS(Variables: C13/C12=−25.4 ‰, $\Delta^{14}\text{C}$ =−1)

Laboratory number: Beta-186374

Conventional radiocarbon age: 4890±60 BP

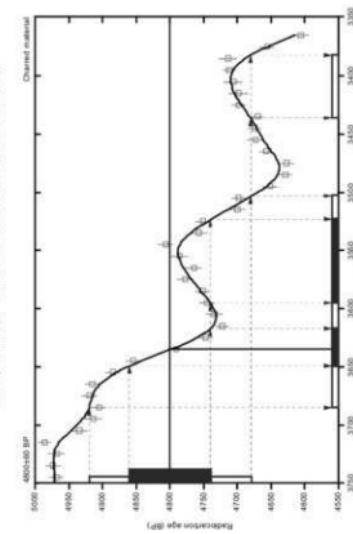
2 Sigma calibrated results: Cal BC 3680 to 3540 (Cal BP 2640 to 4460) and
(95% probability) Cal BC 3440 to 3380 (Cal BP 2360 to 5330)

Intercept data

Intercept of radiocarbon age

with calibration curve:
1 Sigma calibrated results: Cal BC 3650 to 3620 (Cal BP 5600 to 5370) and
(68% probability) Cal BC 3600 to 3520 (Cal BP 5340 to 5470)

Intercept data

References:
Beta Analytic Radiocarbon Dating LaboratoryEditorial Comment:
Schoeller, M., van der Plicht, H., 1996. Radiocarbon 38(3), p103-104
INTCAL Radiocarbon Age Calibration
Schoeller, M., et al., 1996. Radiocarbon 38(3), p1043-1043
Methodology
A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates
Tunney, A. S., Vergari, J. C., 1991. Radiocarbon 33(2), p175-177

Beta Analytic Inc.

#180 S.E. 7th Court, Miami, Florida 33133 • Tel: (305) 667-5167 • Fax: (305) 667-0944 • E-Mail: beta@betaonline.com**CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS**(Variables: C13/C12=−25.4 ‰, $\Delta^{14}\text{C}$ =−1)

Laboratory number: Beta-196623

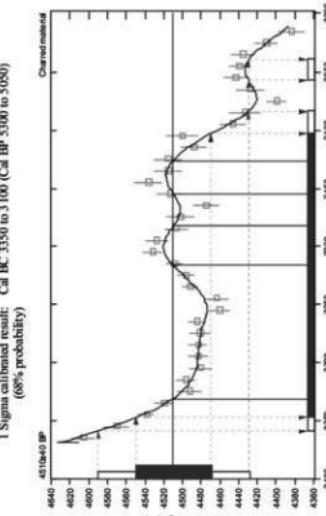
Conventional radiocarbon age: 4516±40 BP

2 Sigma calibrated results: Cal BC 3360 to 3680 (Cal BP 5310 to 5030) and
(95% probability) Cal BC 3060 to 3460 (Cal BP 5010 to 4990)

Intercept data

Intercept of radiocarbon age
with calibration curve:1 Sigma calibrated results:
Cal BC 3350 to 3500 (Cal BP 5300 to 5050)

Intercept data

1 Sigma calibrated result:
(68% probability)
Cal BC 3350 to 3100 (Cal BP 5300 to 5050)References:
Beta Analytic Radiocarbon Dating LaboratoryEditorial Comment:
Schoeller, M., van der Plicht, H., 1996. Radiocarbon 38(3), p103-104
INTCAL Radiocarbon Age Calibration
Schoeller, M., et al., 1996. Radiocarbon 38(3), p1043-1043
Methodology
A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates
Tunney, A. S., Vergari, J. C., 1991. Radiocarbon 33(2), p175-177**Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory**#180 S.E. 7th Court, Miami, Florida 33133 • Tel: (305) 667-5167 • Fax: (305) 667-0944 • E-Mail: beta@betaonline.com

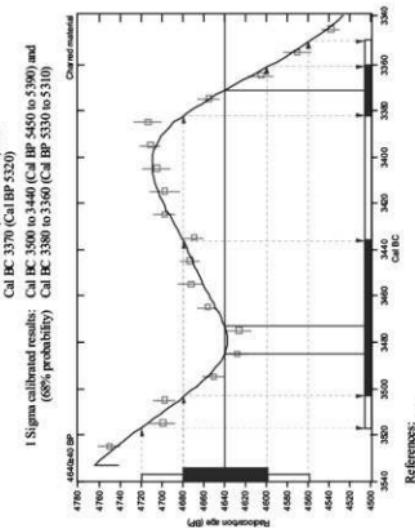
CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS(Variables: C13/C2=25.4/(b. mm⁻¹)

Laboratory number: Beta-199694

Conventional radiocarbon age: 4640±40 BP

2 Sigma calibrated result: Cal BC 3520 to 3580 (Cal BP 5470 to 5300)
(95% probability)

Intercept data with calibration curve:

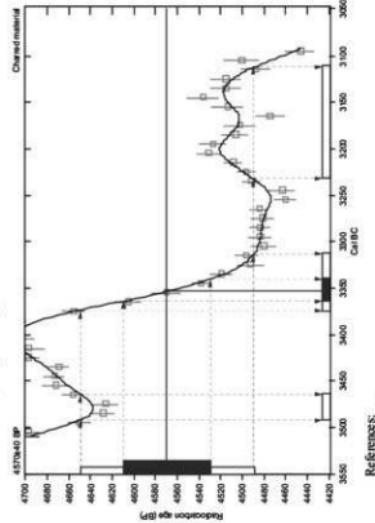
Cal BC 3480 (Cal BP 5440) and
Cal BC 3470 (Cal BP 5420)
Cal BC 3500 to 3440 (Cal BP 5450 to 5390) and
Cal BC 3380 to 3360 (Cal BP 5330 to 5310)**CALIBRATION OF RADIOCARBON AGE TO CALENDAR YEARS**(Variables: C13/C2=25.4/(b. mm⁻¹)

Laboratory number: Beta-199695

Conventional radiocarbon age: 4570±40 BP

2 Sigma calibrated results: Cal BC 4490 to 3460 (Cal BP 5440 to 5410) and
Cal BC 3570 to 3310 (Cal BP 5320 to 5260) and
Cal BC 3230 to 3110 (Cal BP 5180 to 5060)

Intercept data

Intercept of radiocarbon age with calibration curve: Cal BC 3350 (Cal BP 5300)
1 Sigma calibrated result: Cal BC 3360 to 3340 (Cal BP 5310 to 5290)
(68% probability)**Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory**

4995 S.W. 7th Court, Miami, Florida 33133 • Tel: (305) 667-5300 • Fax: (305) 667-0944 • E-Mail: info@beta-analytic.com

Beta Analytic Radiocarbon Dating Laboratory

4995 S.W. 7th Court, Miami, Florida 33133 • Tel: (305) 667-5300 • Fax: (305) 667-0944 • E-Mail: info@beta-analytic.com

2 西張平遺跡 放射線炭素年代測定

株式会社 加速器分析研究所

1) 前処理の工程は次のとおりである。

1. メス、ピンセットを用いて適量を採取した。この際、付着していた土をできるだけ除去した。
炭化物については、内部より採取した。
 2. 1Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。
 3. 0.001~1Nの酸化ナトリウム水溶液を用いて数時間処理した。その後、超純水で中性になるまで希釈した。
 4. 1Nの塩酸を用いて、80℃で数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈した。なお、酸・アルカリ処理後の希釈の際には遠心分離法を用いた。
 5. 試料を80℃で乾燥させた。
 6. 試料を1gの酸化銅と共に、外径9mm、長さ30cmの石英管に入れ、真空下で封じ切った。
 7. 6を500℃30分、850℃2時間で加熱し、試料中の炭素を二酸化炭素にした。
 8. 真空ライン中で冷媒を用いて、二酸化炭素を精製した。
 9. 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイトにした。
得られたグラファイトを、内径1mmのアルミニウム製の容器にハンドプレス機で詰め、ターダゲットとした。
- 2) 測定機器は、134試料装填可能なイオン源が設置された、3MV小型タンデム加速器をベースとした14C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用した。
- AMS測定時には、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とパッケージラウンド試料の測定も行なう。また、測定では加速器により測定中同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いてδ¹³Cを算出する。
- 3) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用しています。
 - 4) BP年代値は、1950年からさかのぼること何年前かを表しています。
 - 5) 付記した誤差は、次のように算出しています。
複数回(通常は4回)の測定値についてχ²検定を行い、通常報告する誤差は測定値の統計誤差から求めた値を用い、測定値が1つの母集団とみなせない場合には標準誤差を用いています。
 - 6) δ¹³Cの値は、通常は質量分析計を用いて測定しますが、AMS測定の場合に同時に測定されるδ¹³Cの値を用いることもあります。
 - δ¹³C補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載しておきます。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰: バーミル)で表したものです。

$$\delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{As} - ^{14}\text{Ar}) / ^{14}\text{Ar}] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [(^{13}\text{As} - ^{13}\text{Ar}_{\text{PDB}}) / ^{13}\text{Ar}_{\text{PDB}}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、 ^{14}As ：試料炭素の ^{14}C 濃度： $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_S$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_S$

^{14}Ar ：標準現代炭素の ^{14}C 濃度： $(^{14}\text{C}/^{12}\text{C})_R$ または $(^{14}\text{C}/^{13}\text{C})_R$

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の ^{13}C 濃度 $(^{13}\text{A} = ^{13}\text{C}/^{12}\text{C})$ を測定し、PDB (白亜紀のペレムナイト (矢石) 類の化石) の値を基準として、それからのずれを計算します。

但し、IAA では加速器により測定中に同時に $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ も測定していますので、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもあります。この場合には表中に〔加速器〕と注記します。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0\text{‰}$ であるとしたときの ^{14}C 濃度 ($^{14}\text{A}_N$) に換算した上で計算した値です。(1) 式の ^{14}C 濃度を、 $\delta^{13}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算します。

$$^{14}\text{A}_N = ^{14}\text{As} \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000))^2 \quad (^{14}\text{As} \text{として } ^{14}\text{C}/^{12}\text{C} \text{を使用するとき})$$

または

$$= ^{14}\text{As} \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000)) \quad (^{14}\text{As} \text{として } ^{14}\text{C}/^{13}\text{C} \text{を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_N - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \text{‰}$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行なった年代値は実際の年代との差が大きくなります。多くの場合、同位体補正をしない $\delta^{13}\text{C}$ に相当する BP 年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致します。

^{14}C 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC (percent Modern Carbon) がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のようになります。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC} / 100 - 1) \times 1000 \text{‰}$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C} / 10 + 100 \text{ (%)}$$

国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいは pMC により、放射性炭素年代 (Conventional Radiocarbon Age; yrBP) が次のように計算されます。

$$T = -8033 \times \ln[(\Delta^{14}\text{C} / 1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln(\text{pMC} / 100)$$

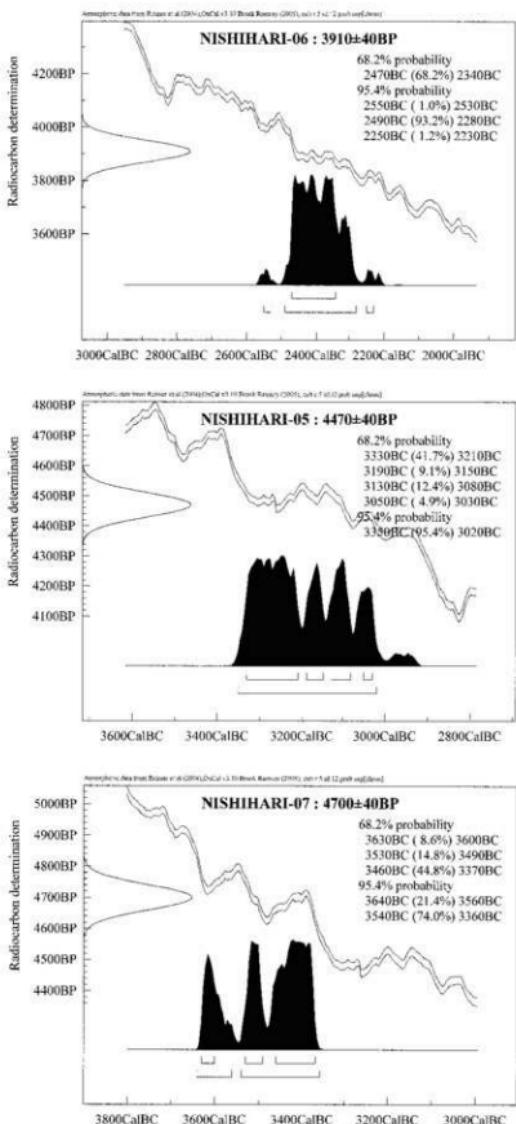
7) 曆年較正は OxCal Ver3.10 を用いています。

IAA

IAA Code No.	試 料	BP 年代および炭素の同位体比
IAAA-51677 #1099-1	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 91 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-06	Libby Age(yrBP) : 3,910± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$, (加速器) = -22.43± 0.94 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -385.6± 2.9 $p\text{MC}(\%)$ = 61.44± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -382.4± 2.7 $p\text{MC}(\%)$ = 61.76± 0.27 Age (yrBP) : 3,870± 40
IAAA-51678 #1099-2	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 92 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-05	Libby Age(yrBP) : 4,470± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$, (加速器) = -30.41± 0.92 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -427.1± 2.9 $p\text{MC}(\%)$ = 57.29± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -433.5± 2.7 $p\text{MC}(\%)$ = 56.65± 0.27 Age (yrBP) : 4,560± 40
IAAA-51679 #1099-3	試料採取場所：青森市五戸町 倉石又重字西張平 93 試料形態：炭化物 試料名(番号)：NISHIHARI-07	Libby Age(yrBP) : 4,700± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$, (加速器) = -26.99± 0.94 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -443.0± 2.8 $p\text{MC}(\%)$ = 55.70± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -445.3± 2.5 $p\text{MC}(\%)$ = 55.47± 0.25 Age (yrBP) : 4,730± 40

試料名	試料番号	出土地点	試料の種類	補正年代	重量	備考
IAAA-51677	NISHIHARI-06	SI-18石窯炉2 覆土	炭化物	3910±40BP	0.4g	標高143.4m
IAAA-51678	NISHIHARI-05	SI-11Pit12 9層	炭化物	4470±40BP	1.1g	標高141.6m
IAAA-51679	NISHIHARI-07	SI-40石窯炉 炉内部	炭化物	4700±40BP	0.1g	標高141.5m

【参考値：暦年補正 Radiocarbon determination】



第2節 西張平遺跡出土人骨

国際医療福祉大学リハビリテーション学部 奈良貴史

2004年青森県五戸町西張平遺跡の発掘調査により縄文時代と思われる人骨が2体検出されたが、これはその人類学的調査報告である。

SI-31人骨

出土状態

人骨の遺存状況は悪く、頭骨と長管骨の輪郭がわかる程度であるが、四肢骨の左右は識別できない状態なので、正確な埋葬方法は不明である。確認できる限りでは、頭位方向は東で、顔面を北に向けた横臥の伸展葬と思われる。

遺存状態

人骨は極めて脆く、糊状を呈していたので、人骨と思われる範囲を土ごと取り上げ、研究室で乾燥させたのち、土を除去しながら脆弱な部分にはセメダインCをアセトンで溶いたもので強固にした。その結果、頭骨の右半分の一部がかろうじて形状をとどめていた。四肢骨においては碎片化が著しく、部位の同定できたものは腓骨の骨幹部の破片だけである。また、一緒に取り上げた骨には種の同定にいたらなかったが獣骨も含まれていた。

年齢

右下顎の第三大臼歯が既に萌出終了していることから18歳以上の個体である(写真1-1)。さらに第三大臼歯の咬頭が消失する程度に咬耗が進行しているので、壮年期後半から熟年程度と思われる。

性別

破片が小さいため断定はできないが、腓骨の骨幹部が頑強なことから男性的である。

形態学的特徴・その他

右側頭骨外耳道後壁に直径3mmほどの外耳骨腫が認められる(写真1-2)。その程度は百々(1972)のTraceに片山(1988)のSmallに相当すると思われる。外耳道骨腫は貝塚から出土する人骨に多く見られることや現在では“surfer's ear”としてサーフィンや水泳の競技者に多いことから、冷水の外耳道に対する反復刺激が原因と考えられ、縄文時代の場合、北海道・東北地方の貝塚から出土する人骨に高頻度に認められることから海女などの生業と結び付けられることが多かった。しかし、一方で海岸から遠く離れた山間部から出土した人骨にも見られることから、遺伝的要因が関与している可能性も指摘され、いずれも確証されていない。西張平遺跡は海岸線から25kmあまり離れており、慣習的に海女などの潜水による漁労・採集作業は想定しにくい。ただ、能登半島における海女の調査では、年齢とともに大きくなる傾向にあるという報告もあるので(野垣 1939), SI-31人骨の場合、外耳道を

塞ぐほどの大きなものでないことから、ある一定の時期まで海岸部で生活し、婚姻などで当地に来た可能性も指摘できるかと思われる。遺伝的要因に関しては、西張平遺跡で外耳道骨腫が確認できるのはこの一例だけなので検討できない。いずれにしても、縄文時代の内陸部の遺跡から出土した人骨に外耳道骨腫が見られるということは貴重な例である。細片化が著しく正確な歯種の同定が困難であるが、上顎の右歯列において切歯部から大臼歯部にかけて欠損がなく歯冠が観察されることから、少なくとも上顎の右側には抜歯された痕跡は認められない。確認された腓骨の骨幹部には縄文時代人に高頻度で見られる外側縁に鉛直方向に走る、樋状腓骨を呈する。骨幹の最大径は22mmにもおよび小金井(1928)の指摘する縄文時代人に見られることがある巨大腓骨に相当すると思われる。

SK-38人骨

出土状態

人骨の遺存状況は極めて悪く、上下の歯列と一部(写真2-2)の長官骨の輪郭がわかる程度なので、正確な埋葬方法は不明である。上下の歯列の方向から顔を上に向いた頭位方向が北の仰臥で、膝の関節が強く折り曲がった状態から屈葬だと思われる。

遺存状態

人骨は極めて脆く、糊状を呈していたので、人骨と思われる範囲を土ごと取り上げ、研究室で乾燥させたのち、土を除去したが、碎片化が著しく、部位の同定できたものはない。

年齢

上下の歯列の状況から見て乳歯から永久歯への生え変わりの時期ではなく、永久歯だけになった年齢段階、12歳には達していたと思われる。それ以上の詳細は不明である。

性別

性別を判断できる部位が遺存していないため、不明である。

まとめ

西張平遺跡から出土した2体の人骨は、いずれも遺存状態が悪く、多少の肉眼的観察が可能な程度であった。しかしながらSI-31人骨には縄文時代人に見られることの多い特徴である外耳道骨腫と腓骨の樋状腓骨が観察された。

文献

- 池田 次郎 1985 海と山の縄文人－形態的地域差と時代差－ 日本史の黎明 六興出版 29-59
- 小金井良精 1928 扁平尺骨と巨大腓骨 人類学研究 9-11
- 片山 一道 1998 縄文人の外耳道骨腫:その出現率の地域差と要因 横原考古学研究所論集13 591-609
- 百々 幸雄 1972 北海道の古人骨にみられる外耳道骨腫 人類学雑誌 80 11-22
- 野垣徳次郎 1939 海女に見られたる聴器障害について －その2－耳鼻咽喉科臨床 34 574-8-589



写真 1-1 SI-31 人骨右下顎歯列



写真 1-2 SI-31 人骨右側頭骨外耳道骨腫



写真2-1 SK-31人骨右上顎歯列



写真2-2 SK-38人骨出土状況（上下顎歯列）

第3節 西張平遺跡出土の火山灰について

弘前大学・理工学部・地球環境学科 柴 正敏

西張平遺跡より採集された、火山灰サンプル（34試料）について、以下の観察・分析を行った。これら試料について、超音波洗浄器を用いて水洗し、粘土鉱物など数マイクロメーター以下の粒子を除去した後、偏光顕微鏡を用いて、火山ガラスの有無、火山ガラスが存在する場合にはその形態、構成鉱物の種類を観察・記載した。その結果を表1に示した。火山ガラスは、その形態、屈折率、化学組成、共存鉱物などにより給源火山を推定することができる（町田・新井、2003）。火山ガラスの化学組成を決定する方法として、近年、電子プローブマイクロアナライザー（以下EPMA）がもちいられるようになってきた。本報告では、3試料（試料14, 23及び34）についてEPMA分析を行った。使用したEPMAは弘前大学・機器分析センター所属の日本電子製JXA-8800RL。使用条件は加速電圧15 kV、試料電流 3×10^{-9} アンペアである。補正計算はZAF法に従った。

鉱物粒子の変質度や円磨度、さらにこれら試料に多種のテフラガラスが含まれることから、表1にしめした試料No.46及び26を除く31試料は、テフラの再堆積物と考えられる。

褐色ガラス及び石英の存在により（表1）、試料No.14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25及び27の13試料には、十和田aテフラ起源のガラスが含まれる。試料No.14及び23に含まれるガラスのEPMA分析値を表2に示した。

軽石の発泡度、粒径及び層序より、試料No.6及び7は十和田bテフラ起源と推定される。29試料に、十和田中振、十和田南部及び十和田二の倉の各テフラ起源のガラスが含まれている（表1参照）。試料No.34を構成する十和田中振及び十和田南部テフラ起源ガラスのEPMA分析値を表2に示した。

表2には、試料No.14に認められる十和田二の倉テフラ起源のガラス組成を示した。Hayakawa (1985)によれば、十和田二の倉テフラは、K, J, I及びHの4ユニットに分けられ、最も初期に噴出したKユニットが最大の噴出量をもつ。表2に示した高木（2005）のデータは、このKユニットのガラスデータである。

試料No.3, 31, 32, 33及び34にはホルンブレンドが認められることより、基盤に存在する十和田八戸テフラの混入が示唆される。

（参考文献）

- Hayakawa, Y. (1985), Pyroclastic geology of Towada volcano. Bulletin of Earthquake Research Institute, vol. 60, 507-592.
- 町田 洋・新井房夫(2003)、新編火山灰アトラス－日本列島とその周辺－、東京大学出版会、pp.336。
- 柴 正敏・重松直樹・佐々木 実(2000)、青森県内に分布する広域テフラに含まれる火山ガラスの化学組成(1)、弘前大学理工学部研究報告、第1巻、第1号、11-19。
- 柴 正敏・中道哲郎・佐々木 実(2001)、十和田火山、降下絆石の化学組成変化－宇樽部の一露頭を例として－、弘前大学理工学部研究報告、第4巻、第1号、11-17。
- 柴 正敏・佐々木 実(2006)、十和田火山噴出物のガラス組成変化、月刊地球、第28巻、第5号、322-325。
- 高木幸典、(2005)、十和田カルデラ起源テフラの岩石学的研究－カルデラ形成期以後の火山ガラス化学組成を中心にして－、弘前大学修士論文、pp.104。

長 1 西張平遺跡火山灰試料

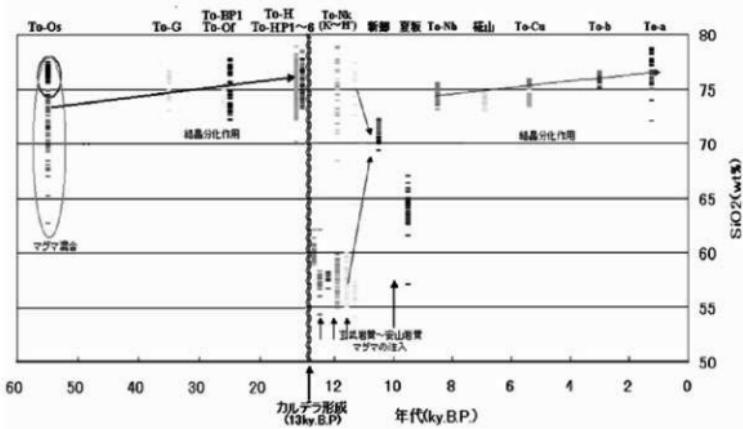
（b）軽石型、bw：ブルのホール型、T：

表2 西張平遺跡、火山ガラスのEPMAデータ

		SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO	MgO	CsO	Na ₂ O	K ₂ O	n	Total	EPMA
十和田テフラ													
試料番号14	最小	75.99	0.24	12.04	1.30	0.00	0.16	1.30	4.13	1.35			
MU-90	最大	78.54	0.38	13.80	2.02	0.18	0.54	2.04	4.92	1.66			
火山灰確認面	平均	77.26	0.29	12.71	1.61	0.10	0.37	1.71	4.46	1.49	5	100.58	WDS
	標準偏差	1.15	0.07	0.66	0.27	0.09	0.15	0.34	0.31	0.14			
試料番号23	最小	76.19	0.23	12.41	1.73	0.00	0.32	1.75	3.92	1.24			
品1	最大	77.13	0.52	13.33	2.14	0.21	0.70	2.12	4.78	1.55			
覆土	平均	76.61	0.38	12.92	1.90	0.08	0.42	1.99	4.29	1.42	18	99.79	WDS
	標準偏差	0.27	0.06	0.25	0.13	0.06	0.08	0.11	0.21	0.08			
青木・新井(2000)		77.75	0.36	12.73	1.62	0.09	0.38	1.81	3.90	1.37	19	98.41	WDS
十和田中撮テフラ													
試料番号34	最小	75.11	0.27	12.83	1.75	0.00	0.35	2.00	4.13	1.12			
第15号	最大	76.09	0.58	13.92	2.91	0.17	0.72	2.47	4.85	1.36			
堅穴住居跡	平均	75.49	0.44	13.26	2.29	0.09	0.52	2.27	4.40	1.26	5	99.62	WDS
覆土	標準偏差	0.43	0.12	0.45	0.41	0.07	0.16	0.20	0.28	0.10			
青木・新井(2000)		75.36	0.43	13.65	2.35	0.11	0.52	2.35	4.01	1.22	11	98.38	WDS
十和田南部テフラ													
試料番号34	最小	73.89	0.41	12.92	2.35	0.01	0.51	2.41	4.09	1.14			
第18号	最大	74.82	0.62	15.12	3.73	0.22	0.84	3.91	4.66	1.49			
堅穴住居跡	平均	74.24	0.46	13.71	2.50	0.11	0.58	2.71	4.39	1.30	14	99.83	WDS
覆土	標準偏差	0.37	0.06	0.37	0.13	0.06	0.07	0.15	0.20	0.10			
青木・新井(2000)		74.98	0.47	13.41	2.75	0.06	0.66	2.70	3.81	1.23	5	101.98	WDS
十和田二の食テフラ													
試料番号14	最小	55.36	0.89	15.32	6.97	0.00	1.84	6.51	2.47	0.29			
MU-90	最大	61.52	1.23	20.53	11.21	0.19	4.05	9.76	3.92	0.72			
火山灰確認面	平均	58.42	1.15	17.10	8.62	0.12	2.91	7.84	3.31	0.54	5	102.29	WDS
	標準偏差	2.41	0.15	2.04	1.68	0.08	0.92	1.23	0.53	0.17			
高木(2005) To-Nb(P-K)		59.98	0.93	16.69	7.28	0.14	2.50	8.39	3.53	0.57	20	89.4	WDS

測定値は無水で100%になるように再計算したFeO*は全鉄をFeOとして計算したことを表す。

nは分析点の数、WDSは波長分散型のEPMAを意味する。



十和田奥瀬テフラから十和田aテフラに至る、ガラス組成の時系列（柴、佐々木、2006）

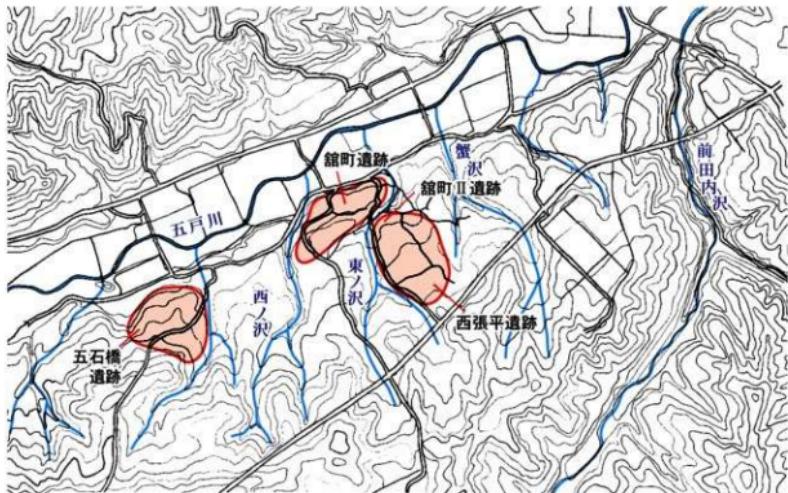
第5章　まとめ

第1節　遺跡周辺の地形

地形図からみた西張平遺跡は、五戸川と浅水川に挟まれた東西に延びる新郷丘陵に位置し、さらに五戸川に流れる東ノ沢と蟹沢に両側を挟まれ、北側に緩やかな傾斜がみられる場所に立地している。

調査区周辺には、大規模な長芋畑やニンニク畑が広がり、縄文時代前期の土器片を中心に数多くの遺物を表面採集できる。それから、本遺跡の範囲は、遺跡台帳に登録されている範囲より南西側に幾分拡がると思われる。北側では縄文時代前期のほかに後期の土器片も数点ではあるが表面採集することができ、現に配石を伴った縄文時代後期の土器棺墓も発掘調査が行なわれている。(館町II遺跡は、平成15年に刊行された『青森県遺跡詳細分布調査報告書』XVにより遺跡の範囲変更が行なわれ、西張平遺跡内に組み込まれている。) 遺跡の東側と西側は、沢地の斜面を削平して埋め立て畑としているため詳細は不明である。

北西側の東ノ沢を隔てて館町遺跡（又重城跡）に隣接し、さらに南西よりの細沢を2本隔てた西側に縄文晩期の五石橋遺跡と続いている。これらの遺跡は河岸段丘上の標高120～150mの緩斜面上に位置し、地形からみた限り、西張平遺跡周辺に未登録の遺跡が存在する可能性は否定できない。



西張平遺跡周辺の地形 (S=1/25,000)

第2節 遺構の配置

発掘調査において、農道部分の下部は十和田b降下火山灰のプライマリーな堆積がみられ、極めて遺構や遺物の遺存状態が良く、縄文時代前期から中期の捨て場区域や盛り土区域が検出されている。

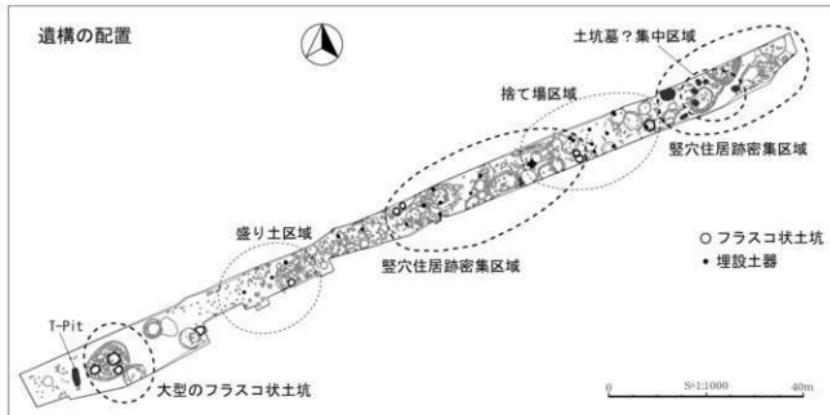
だが、調査区周辺の畑地は長芋やにんにくを中心とする大規模な耕作が行われているため、トレッチャ（耕作機械による溝跡）によって地表からおよそ1.5mの深さまで縦横に搅乱されており、掘り込みの浅い遺構はほとんど残存していない可能性が高い。

検出した遺構の配置は、縄文時代前期中葉から中期前葉にかけて、竪穴住居跡の密集する区域、大型のフラスコ状土坑がみられる区域、土坑墓？がつくられる区域、埋設土器や溝状土坑（落し穴）がつくられる区域というように、調査区内の配置にまとまりがみられる。さらに、竪穴住居跡にも軸方向の同一性などが認められ、集落内での施設配置に規則性があったことが考えられる。

しかし、発掘調査した面積は、西張平遺跡の遺跡範囲（およそ16万m²）に比べあまりにも規模的に小さく、今回の線的な調査のみで遺跡の全容は捉えることはできない。だが、調査面積に対する検出遺構数と出土遺物量からみれば、青森市三内丸山遺跡や八戸市（旧南郷村）畑内遺跡に匹敵するような縄文時代前期中葉から中期前葉にかけての大集落の可能性が高い。

また、縄文時代前期末葉に多くの埋設土器がつくられるが、土坑墓との関連について不明である。

集石遺構はその構造上から縄文時代前期中葉から後葉にかけての石蒸し焼き施設と考えられるが、類例が少なく今後の資料の増加が望まれる。



第3節　竪穴住居跡

調査で検出された39軒の竪穴住居跡の時期は、いずれも縄文時代前期中葉から中期前葉にかけて構築あるいは廃棄されたものである。

竪穴住居跡の多くが、拡張や建替えなどの重複を確認でき、特に調査区の東側は切り合いが激しく、本来見られるはずの中振浮石層(中央部から西側では中振浮石が1mほど堆積している)と南部浮石層が欠落している区域が認められるほど重複している。また、建替えの中には、一回り縮小されて構築されているものもあり、構築する際に中振浮石層のみられない部分を掘り込むことで流れ込む浮石を取除く手間を省いた可能性が考えられる。その際、掘り込んだ堆積土の中から出土した土器などが捨て場や盛り土として形成されたと推定される。

その竪穴住居跡の配置については、第2節で触れているが、前期中葉ころから小型の竪穴住居跡が点在して構築され、末葉にかけて東側を中心に拡がり、その後中期前葉にやや大型の住居跡が同一の軸方向をもってつくられていく傾向が読み取れる。

また、調査した竪穴住居跡は、調査区の幅が狭いため半数以上の住居跡が調査区域外に拡がり、その規模が推定できるものは全体の4割にも満たない。規模の計測できた竪穴住居跡の長径は2~8.5m、短径が2~6.4m、床面積は2.7~14.2m²で、建物の軸方向は北東をとる傾向が窺われる。

竪穴住居跡の形態であるが、小型のものは比較的円形が多くて、大型化するにつれて隅丸長方形や梢円形が見られ、規模的には、床面積が6~8m²の住居跡が多くみられる。

検出した炉には、地床炉、土器埋設炉、石囲炉などがあり、時期的に変化している。

柱穴は、主となる柱が2~6本の他、壁柱穴のものもみられ、柱穴が不明な住居も認められる。炉も柱穴もみられないものは、住居としての機能が低いものと考えられる。

各時期の竪穴住居跡の特徴を簡単に記載する。

・前期中葉(円筒下層a~b式期)

規範的に小型で円形のものが多く、この形態は前期後葉までみられる。

周溝や壁柱穴があるものとないものがある。

主柱穴は2~4本あるいはみられない。炉は地床炉あるいはつくられない。

軸方向は北東をとるものが多い。

・前期後葉(円筒c式期)

規範的にやや大型で、梢円形や長方形のものが構築され、第30号竪穴住居跡のように出入り口をもつ竪穴住居跡もみられる。

周溝や壁柱穴があるものとないものがある。

主柱穴は2~4本あるいはみられない。炉は地床炉あるいはつくられない。

軸方向は北東と北西に二分する。

・前期末葉(円筒下層d式期)

規範的にやや大型で円形を基本とし、梢円形の竪穴住居跡もつくられる。

壁柱穴がしっかりと作られ、主柱穴は4~6本あるいはみられない。

炉は地床炉あるいは土器埋設炉がつくられる。

軸方向は北東である。

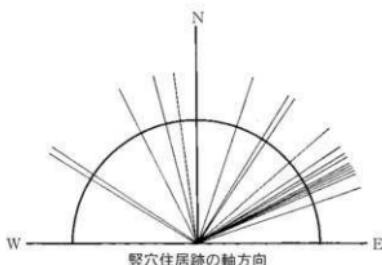
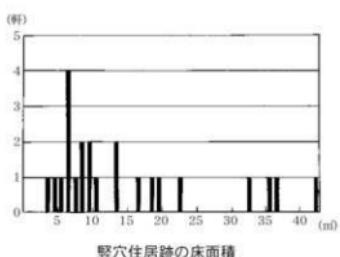
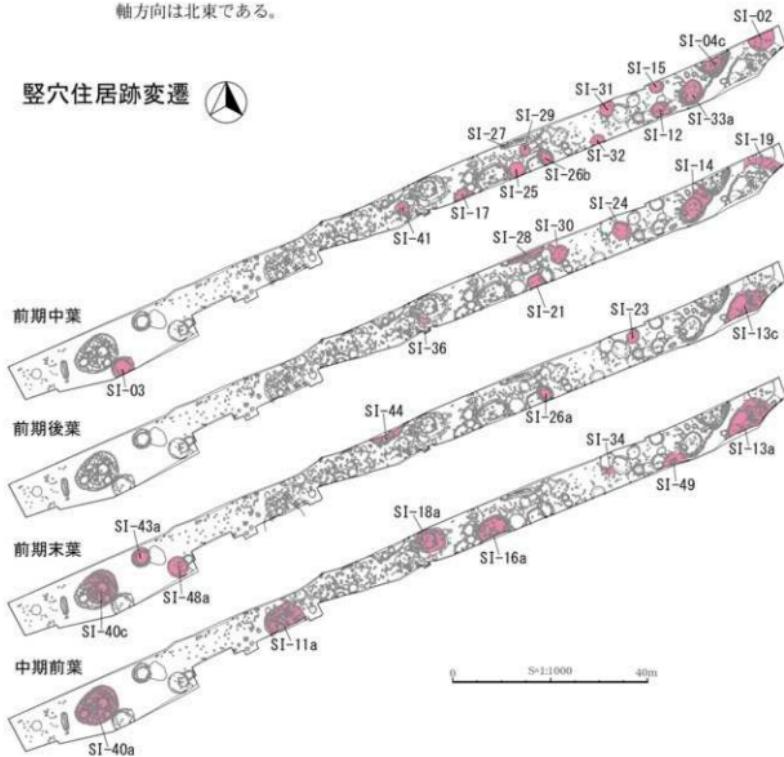
・中期前葉（円筒上層a期）

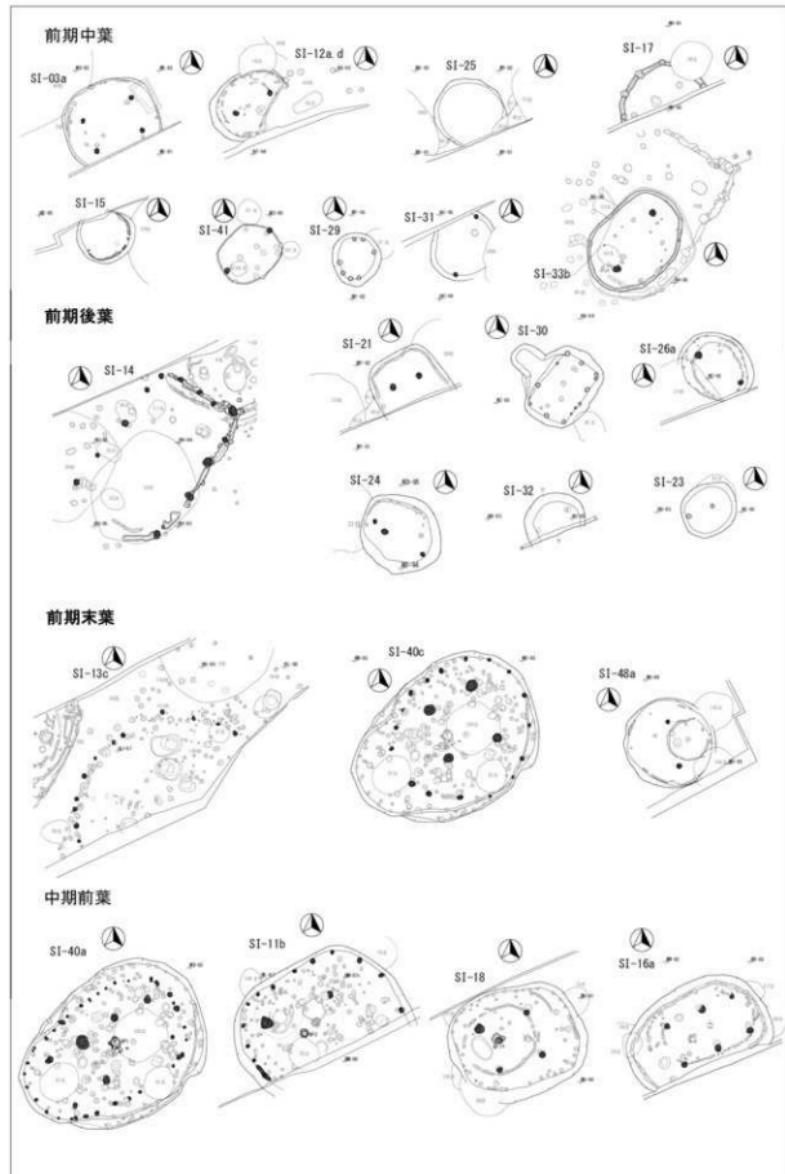
規模的にやや大型で楕円形あるいは円形の竪穴住居跡もつくられる。

壁柱穴と周溝がつくられ、主柱穴は4～6本である。

炉は地床炉あるいは土器埋設炉や石囲い炉がつくられる。

軸方向は北東である。





第4節 繩文時代の土坑墓

調査において3体の人骨が竪穴住居跡と土坑(第416集『西張平遺跡』(遺構編)を参照)から出土している。遺構の形態や埋葬方法などがそれぞれ異なるため、時期別に記載する。

・縄文時代前期中葉(円筒下層a～b式期)

第31号竪穴住居跡から出土した人骨は、竪穴住居跡か竪穴遺構の掘り込みを利用または再利用したと思われ、堆積土状況から重複している可能性は低い。その出土状況は、頭蓋骨と寛骨にまたがって糊状の範囲が確認でき、寛骨、脛骨と検出されている。床面には、灰白色の粘土の範囲と部分的に遺骸を埋むように円筒下層a式の土器片が敷かれている。埋葬方法は、体を伸ばした伸展葬と推定でき、頭位方位はほぼ東方向である。

第38号土坑からの人骨は、円形または楕円形の土坑の底面から頭蓋骨と頸骨、寛骨、大腿骨、脛骨が検出されている。埋葬方法は、膝を折り曲げられている屈葬で、大腿部には、円筒下層b式期と思われる深鉢土器の大きな破片を被せていたと推定される。頭位方位は北方向である。

・縄文時代中期中葉(円筒上層d式期)

第55号土坑から出土した人骨は、隅が丸い長方形の土坑底面から頭蓋骨、南壁よりに脊柱と思われる灰白色の糊状範囲が確認されている。頭蓋骨の直下に枕とも考えられる打ち欠いた礫が置かれあり、さらに、その下に小ピットが掘られ、ほぼ完形の円筒上層d式期の土器が埋設されている。埋葬方法は、土坑の規模から屈葬と推定され、埋葬頭位は北東方向である。また、土坑の側面には奥行きが3～8cmほどのピットが13カ所にみられる。また、上部に配石を伴っていた可能性がある。埋葬遺構の形態や人骨の埋葬方法の相違は、時期的な違いと考えられ、それぞれ1基のみ検出されていることから断言はできないが、遺跡内に同様の土坑墓が存在する可能性は高いと考えられる。



第31号竪穴住居跡出土人骨

第5節　出土遺物

本遺跡で出土した遺物は、段ボール箱で約750個分である。ほとんどが縄文時代前期から中期にかけての土器や石器である。この中には前期末葉～中期初頭と思われる土偶も数点出土しているほか、円盤状土製品などの土製品や軽石製の石製品などもみられる。竪穴住居跡や土坑から出土した獸骨や魚骨などを含めて、簡単にまとめてみる。

土器 出土した土器の重量は約5,300kgで、遺構内が約1,600kg、遺構外が約3,700kgあり、遺構外のうち約70%が捨て場区域から出土した土器で占められている。

土器形式は、円筒下層a式から円筒上層a式までの前期中葉から中期前葉の土器が主体を占め、円筒上層b～e式、大木系の土器など僅かにみられる程度である。その割合は円筒下層a式が10%、円筒下層b式が17%、円筒下層c式が36%、円筒下層d1が10%、円筒下層d2が式5%、円筒上層a式が20%、その他が2%である。

土器外面の施文される縄文原体の特徴として、縄文前期中葉における結節回転文はRのものが多く、その流れは単軸絡条体第1類にも引き継がれていく傾向がみられる。

無文土器が数点出土しているが、いずれも纖維も含んでおり、頸部に隆帯があるなどの特徴から、円筒下層b式からc式と考えられる。

およそ800点に及ぶ完形土器の中で、土器内部に仕切りをもつ土器が2個体出土した。その器形や施文から円筒下層bからc式と考えられるが、円筒土器文化圏の中でも、出土例等は少なく、用途などについては不明である。

土器の底部文様は、網代痕以外は、側面と共通する施文がみられるものもあり、網代の多くは、カヤなどの細い棒状などを撲った紐で編み込んでいる。

円筒下層a式・b式の多くは八戸市南郷区(旧南郷村)畑内遺跡では口唇部に施文しているものが50%以上みられる。大日向II遺跡では約24%、本遺跡では、掲載した円筒下層a式・b式土器のおよそ30%が口唇部に施文がみられる。これらは、地域差によるものなのかは不明である。

石器 出土した石器の重量は約1,172kgで、遺構内の剥片石器が約27kg、礫石器が約720kg、遺構外の剥片石器が約65kg、礫石器が約360kgである。

剥片石器の器種は、石鏃、石槍、石匙、石籠、石錐、楔形石器、異形石器、不定形石器（微少剥離のある剥片を含む）があり、その割合は遺構内で、不定形石器が78%、石鏃11%、石匙4%である。遺構外では、不定形石器がおよそ8割を占めている。礫石器には磨製石斧、敲磨器類、石皿・台石類、砥石があり、その割合は遺構内で、敲磨器類78%、石皿・台石類16%、磨製石斧6%、遺構外で敲磨器類84%、磨製石斧8%、石皿・台石類7%と、敲磨器類が約8割を占める。

剥片石器の石材は、大部分が珪質頁岩で、黒曜石、めのう、泥岩、玉髓質頁岩、チャートなどがみられるが少数である。礫石器では安山岩が44%で、以下流紋岩、石英安山岩、凝灰岩と続いており、他にもさまざまな石材を使用している。

出土した石鏃は、尖基や円基鏃から有茎凸基鏃に時期とともに変化することが読み取れる。

石匙については、時期とともに縦型から横型への変化は明確にみられない。

敲磨器類の大きさは、平均すると長さ約10cm、幅約7cm、厚さ約4cm、重さ約400gであり、手に持つて使用するのに適当な大きさであることから、選別して搬入している可能性が高い。

石器の中で植物加工工具とされる敲磨器類＋石皿が占める割合は30%程度であり、植物資源の利用が大きいとは言い難い。

土製品 繩文時代前期末葉の円筒下層d式期と思われる土偶が4点と中期前葉の円筒上層a式の土偶が3点出土している。

石製品 軽石や凝灰岩を含んだ製品は他の遺跡と比較してかなり多く出土している。軽石の中で、分銅状のものや穿孔されているものは、軽石の特性から浮きとして使われた可能性が高い。凝灰岩の中には面取りがみられ、岩版状のものもある。

右の写真は以前調査区周辺の畑で耕作により出土した石棒を、地主が奉ったもので、頭部にくびれを作り、石質は安山岩である。この石棒と同一個体と思われるものが、第40号竪穴住居跡の床面から出土（図206-14）している。

獸骨 第26号竪穴住居跡の覆土中から鹿あるいは猪の骨が、第22号土坑の覆土中から雉やイタチなどの骨が出土している。ほかの竪穴住居跡からも種類が特定できない獸骨が出土している。

魚骨 第18号竪穴住居跡の石開い炉内の土壤サンプルをフローテーションした結果、サケ科と思われる椎骨片が数点出土している。同じような魚骨は第24号竪穴住居跡や第22号土坑、第112号土坑からも出土している。その椎骨の形状から同じサケ科である大型のイワナやヤマメとも考えられるが、産卵のため、海岸線から25kmほどの内陸に遡上してくるサケを捕まえて食料としていた可能性も捨てきれない。

炭化種子・堅果類 竪穴住居跡の床面や埋土中から、クルミやクリなどの炭化した堅果類が出土している。

漆製品 第40号竪穴住居跡の床面から製品としての器種は不明であるが、漆製品と思われる破片が出土している。図示できなかったため写真(写真-40)のみを掲載している。

琥珀 第18号竪穴住居跡の床面から、原形が分からぬほど碎けたコハク片が出土している。被熱や加工されたと思われる痕跡は確認できなかったが、ほとんどの径が5mm以下の破片で、総重量は0.7gである。図示できないため、写真(写真-40)のみ掲載している。



調査区周辺に奉られている石棒

最後に発掘調査並びに報告書作成にご協力していただきました方々に心から感謝申し上げます。

(調査担当者)

《引用・参考文献》

- 青森県 2002『青森県史 別編 三内丸山遺跡』青森県史編纂考古部会
- 青森県教育委員会 1978『熊沢遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第38集
- 青森県教育委員会 1993『富ノ沢(2)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第147集
- 青森県教育委員会 1996『泉山遺跡III』青森県埋蔵文化財調査報告書第190集
- 青森県教育委員会 1997『八戸久保(2)遺跡他』青森県埋蔵文化財調査報告書第212集
- 青森県教育委員会 1998『三内丸山遺跡IX』青森県埋蔵文化財調査報告書第249集
- 青森県教育委員会 2002『畠内遺跡VII』青森県埋蔵文化財調査報告書第326集
- 青森県教育委員会 2003『獅子神遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第339集
- 青森県教育委員会 2004『笛ノ沢(3)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第372集
- 青森県教育委員会 2005『特別史跡三内丸山遺跡年報8』
- 青森県教育委員会 2005『近野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第394集
- 青森県教育委員会 2006『西張平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第416集
- 青森県立郷土館 1995『木造町田小屋野貝塚』青森県立郷土館調査報告書第35集
- 大沼 克彦 2002『文化としての石器づくり』学生社
- 加藤晋平・鶴丸 俊明 1991『図録・石器入門事典〈先土器〉』柏書房
- 倉石村 1983『倉石村史』上巻・下巻 倉石村史編纂委員会
- 倉石村教育委員会 1997『薬師前遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第1集
- 倉石村教育委員会 1998『五石橋・館町遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第3集
- 倉石村教育委員会 1998『館町II遺跡』青森県三戸郡倉石村埋蔵文化財調査報告書第4集
- 五戸町教育委員会 2005『中市館跡V・馬場遺跡・八戸久保(2)遺跡・門前平遺跡』
五戸町埋蔵文化財調査報告書第6集
- 五戸町教育委員会 2006『駒袋(1)遺跡・駒袋(2)遺跡・幸神遺跡』
五戸町埋蔵文化財調査報告書第7集
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1998『大日向II遺跡発掘調査報告書』
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第273集
- 鈴木 道之助 1991『図録・石器入門辞典〈縄文〉』柏書房
- 石器技術会 編 2004『石器づくりの実験考古学』学生社
- 戸沢 充側 編 1994『縄文時代研究事典』東京堂出版
- 町田 勝則 1996「石器の研究法－報告文作成に伴う観察・記録法①－」
『長野県の考古学』(財)長野県埋蔵文化財調査センター
- 宮本 長二郎 1996『日本原始古代の住居建築』中央公論美術出版
- 村越 潔 1993『円筒土器文化』雄山閣出版
- 山内先生没後25年記念論集刊行会 1996『画龍点睛』山内清男先生没後25年記念論集

正誤表 第416集『西張平遺跡』(遺構編)

P4 : 図1 調査対象区域範囲

平成16年度・17年度調査範囲を3mm下に移動

P40 : 第13号a堅穴住居跡

【壁・床面】軸方向はN-28°・Eである→軸方向はN-28°・Eであると推定できる

P50 : 第16号a堅穴住居跡

【位置】NV～NX-90～91グリッド→MV～MX-90～91グリッド

P57 : 第18号b堅穴住居跡

【検出状況】重複するいずれの遺構よりも新しいが、一本住居跡は、第13号土坑より古く、第36号堅穴住居跡と第102号土坑より新しい。

P65 : 第21号堅穴住居跡

【壁・床面】軸方向はN-21°・Eである→軸方向はN-26°・Eである

P68 : 第24号堅穴住居跡

【壁・床面】軸方向はN-64°・Wである→軸方向はN-56°・Wである

P71 : 第26号a堅穴住居跡

【壁・床面】軸方向はN-61°・Wである→軸方向はN-58°・Wである

P82 : 第31号堅穴住居跡

【小結】縄文時代前期前葉に庵窓→縄文時代前期中葉に庵窓

P101 : 第40号a堅穴住居跡

【位置】NB～ND-81・82グリッド→MB～MD-81・82グリッド

【壁・床面】軸方向はN-55°・Eである→軸方向はN-58°・Eである

P103 : 第40号b堅穴住居跡

【位置】NB～ND-81・82グリッド→MB～MD-81・82グリッド

P103 : 第40号c堅穴住居跡

【位置】NB～ND-81・82グリッド→MB～MD-81・82グリッド

P104 : 第40号d堅穴住居跡

【位置】NC-82グリッド→MC-82グリッド

P116 : 第43号b堅穴住居跡

【位置】NE-83グリッド→ME-83グリッド

P122 : 第46号堅穴住居跡

【検出状況】一本住居跡が第101号土坑よりも古く第47号住居跡と一本住居跡が第47号住居跡と第101号土坑よりも古く、第113号土坑・第115号土坑よりも土坑・第115号土坑よりも新しい。

P124 : 第48号a堅穴住居跡

【検出状況】一本住居跡がいずれの土坑よりも古い。一本住居跡は第109号土坑よりは古く、第105号土坑より新しい。

P128 : 第48号b堅穴住居跡

【位置】一本住居跡よりも古い。→削除

P130 : 土坑配置図

配置図上段の左下の36土→37土

P131 : 第9号土坑

【検出状況】第Ⅲ層上面で→第Ⅱ層上面で

P131 : 第10号土坑

【検出状況】第Ⅲ層上面で→第Ⅱ層上面で

P143 : 第27号土坑

(図83) → (図86)

P143 : 第28号土坑

(図83) → (図87)

P154 : 第38号土坑

【小結】縄文時代前期前葉に構築→縄文時代前期中葉に構築

P157 : 第45号土坑

(図95) → (図94)

P193 : 第115号土坑

【出土遺物】覆土から土器の破片(P1～5)が出土している。→本土坑に伴うと思われる遺物は出土していない

P226 : 図139.土器埋設遺構 土器観察表

I-4の分類欄 II-4 → II-2

P227 : 図140.土器埋設遺構 土器観察表

2-1の分類欄 II-4 → II-3

P234 : 図147.土器埋設遺構 土器観察表

9-2の分類欄 II-2 → II

P264 : 引用参考文献

倉石村 1983『倉石村』→倉石村『倉石村史』

P338 : 報告書抄録

にしばりたい → にしばりたい

土器觀察表

測量編號	出土地點・部位	口徑測		口徑測		剖面		上平		長軸		編號
		口徑測	口徑測	口徑測	口徑測	剖面	剖面	上平	上平	長軸(A軸)	長軸(A軸)	
10	S40 墓上	L.R.文	R.圓							L.(2本)A軸	L.(2本)A軸	下斜11
11	S40 4號	L.R.文	R.圓	L.R.圓	L.R.圓					L.(2本)A軸	L.(2本)A軸	下斜11
12	S40 墓上	S40 墓上								L.R.圓	L.R.圓	F-42
13	S4021	S40 墓上								L.R.圓	L.R.圓	上斜11
3	S40 墓上	S40 墓上								P-52	P-52	下斜11
4	S40 墓									P-6	P-6	下斜11
5	S40 墓									P-7	P-7	下斜11
14	0505	S41 墓								P-8	P-8	下斜11
6	0505	S41 墓								P-9	P-9	下斜11
7	0505	S41 墓								P-10	P-10	下斜11
8	0505	S41 墓								P-11	P-11	下斜11
9	0505	S41 墓								P-12	P-12	下斜11
10	0505	S41 墓								P-13	P-13	下斜11
11	0505	S42 墓上								P-14	P-14	下斜11
12	0505	S42 墓上								P-15	P-15	下斜11
13	0505	S42 墓上								P-16	P-16	下斜11
14	0505	S42 墓上								P-17	P-17	下斜11
15	0505	S42 墓上								P-18	P-18	下斜11
16	0505	S42 墓上								P-19	P-19	下斜11
17	0505	S42 墓上								P-20	P-20	下斜11
18	0505	S42 墓上								P-21	P-21	下斜11
19	0505	S42 墓上								P-22	P-22	下斜11
20	0505	S42 墓上								P-23	P-23	下斜11
21	0505	S42 墓上								P-24	P-24	下斜11
22	0505	S42 墓上								P-25	P-25	下斜11
23	0505	S42 墓上								P-26	P-26	下斜11
24	0505	S42 墓上								P-27	P-27	下斜11
25	0505	S42 墓上								P-28	P-28	下斜11
26	0505	S42 墓上								P-29	P-29	下斜11
27	0505	S42 墓上								P-30	P-30	下斜11
28	0505	S42 墓上								P-31	P-31	下斜11
29	0505	S42 墓上								P-32	P-32	下斜11
30	0505	S42 墓上								P-33	P-33	下斜11
31	0505	S42 墓上								P-34	P-34	下斜11
32	0505	S42 墓上								P-35	P-35	下斜11
33	0505	S42 墓上								P-36	P-36	下斜11
34	0505	S42 墓上								P-37	P-37	下斜11
35	0505	S42 墓上								P-38	P-38	下斜11
36	0505	S42 墓上								P-39	P-39	下斜11
37	0505	S42 墓上								P-40	P-40	下斜11
38	0505	S42 墓上								P-41	P-41	下斜11
39	0505	S42 墓上								P-42	P-42	下斜11
40	0505	S42 墓上								P-43	P-43	下斜11
41	0505	S42 墓上								P-44	P-44	下斜11
42	0505	S42 墓上								P-45	P-45	下斜11
43	0505	S42 墓上								P-46	P-46	下斜11
44	0505	S42 墓上								P-47	P-47	下斜11
45	0505	S42 墓上								P-48	P-48	下斜11
46	0505	S42 墓上								P-49	P-49	下斜11
47	0505	S42 墓上								P-50	P-50	下斜11
48	0505	S42 墓上								P-51	P-51	下斜11
49	0505	S42 墓上								P-52	P-52	下斜11
50	0505	S42 墓上								P-53	P-53	下斜11
51	0505	S42 墓上								P-54	P-54	下斜11
52	0505	S42 墓上								P-55	P-55	下斜11
53	0505	S42 墓上								P-56	P-56	下斜11
54	0505	S42 墓上								P-57	P-57	下斜11
55	0505	S42 墓上								P-58	P-58	下斜11
56	0505	S42 墓上								P-59	P-59	下斜11
57	0505	S42 墓上								P-60	P-60	下斜11
58	0505	S42 墓上								P-61	P-61	下斜11
59	0505	S42 墓上								P-62	P-62	下斜11
60	0505	S42 墓上								P-63	P-63	下斜11
61	0505	S42 墓上								P-64	P-64	下斜11
62	0505	S42 墓上								P-65	P-65	下斜11
63	0505	S42 墓上								P-66	P-66	下斜11
64	0505	S42 墓上								P-67	P-67	下斜11
65	0505	S42 墓上								P-68	P-68	下斜11
66	0505	S42 墓上								P-69	P-69	下斜11
67	0505	S42 墓上								P-70	P-70	下斜11
68	0505	S42 墓上								P-71	P-71	下斜11
69	0505	S42 墓上								P-72	P-72	下斜11
70	0505	S42 墓上								P-73	P-73	下斜11
71	0505	S42 墓上								P-74	P-74	下斜11
72	0505	S42 墓上								P-75	P-75	下斜11
73	0505	S42 墓上								P-76	P-76	下斜11
74	0505	S42 墓上								P-77	P-77	下斜11
75	0505	S42 墓上								P-78	P-78	下斜11
76	0505	S42 墓上								P-79	P-79	下斜11
77	0505	S42 墓上								P-80	P-80	下斜11
78	0505	S42 墓上								P-81	P-81	下斜11
79	0505	S42 墓上								P-82	P-82	下斜11
80	0505	S42 墓上								P-83	P-83	下斜11
81	0505	S42 墓上								P-84	P-84	下斜11
82	0505	S42 墓上								P-85	P-85	下斜11
83	0505	S42 墓上								P-86	P-86	下斜11
84	0505	S42 墓上								P-87	P-87	下斜11
85	0505	S42 墓上								P-88	P-88	下斜11
86	0505	S42 墓上								P-89	P-89	下斜11
87	0505	S42 墓上								P-90	P-90	下斜11
88	0505	S42 墓上								P-91	P-91	下斜11
89	0505	S42 墓上								P-92	P-92	下斜11
90	0505	S42 墓上								P-93	P-93	下斜11
91	0505	S42 墓上								P-94	P-94	下斜11
92	0505	S42 墓上								P-95	P-95	下斜11
93	0505	S42 墓上								P-96	P-96	下斜11
94	0505	S42 墓上								P-97	P-97	下斜11
95	0505	S42 墓上								P-98	P-98	下斜11
96	0505	S42 墓上								P-99	P-99	下斜11
97	0505	S42 墓上								P-100	P-100	下斜11
98	0505	S42 墓上								P-101	P-101	下斜11
99	0505	S42 墓上								P-102	P-102	下斜11
100	0505	S42 墓上								P-103	P-103	下斜11
101	0505	S42 墓上								P-104	P-104	下斜11
102	0505	S42 墓上								P-105	P-105	下斜11
103	0505	S42 墓上								P-106	P-106	下斜11
104	0505	S42 墓上								P-107	P-107	下斜11
105	0505	S42 墓上								P-108	P-108	下斜11
106	0505	S42 墓上								P-109	P-109	下斜11
107	0505	S42 墓上								P-110	P-110	下斜11
108	0505	S42 墓上								P-111	P-111	下斜11
109	0505	S42 墓上								P-112	P-112	下斜11
110	0505	S42 墓上								P-113	P-113	下斜11
111	0505	S42 墓上								P-114	P-114	下斜11
112	0505	S42 墓上								P-115	P-115	下斜11
113	0505	S42 墓上								P-116	P-116	下斜11
114	0505	S42 墓上								P-117	P-117	下斜11
115	0505	S42 墓上								P-118	P-118	下斜11
116	0505	S42 墓上								P-119	P-119	下斜11
117	0505	S42 墓上								P-120	P-120	下斜11
118	0505	S42 墓上								P-121	P-121	下斜11
119	0505	S42 墓上								P-122	P-122	下斜11
120	0505	S42 墓上								P-123	P-123	下斜11
121	0505	S42 墓上								P-124	P-124	下斜11
122	0505	S42 墓上								P-125	P-125	下斜11
123	0505	S42 墓上								P-126	P-126	下斜11
124	0505	S42 墓上								P-127	P-127	下斜11
125	0505	S42 墓上								P-128	P-128	下斜11
126	0505	S42 墓上								P-129	P-129	下斜11
127	0505	S42 墓上								P-130	P-130	下斜11
128	0505	S42 墓上								P-131	P-131	下斜11
129	0505	S42 墓上								P-132	P-132	下斜11
130	0505	S42 墓上								P-133	P-133	下斜11
131	0505	S42 墓上								P-134	P-134	下斜11
132	0505	S42 墓上								P-135	P-135	下斜11
133	0505	S42 墓上								P-136	P-136	下斜11
134	0505	S42 墓上								P-137	P-137	下斜11
135	0505	S42										

土坑 器物觀察表

区间里程	出站位数+端位	口音带	口音带 侧面带	外音带		侧面 上平	侧面 下平	分韵	偏旁
				侧面	侧面—阴阳平仄				
16	S8.15. 端								
图18.1	S8.15. 端								
1	S8.15. 端								
2	S8.15. 端								
3	S8.15. 端								
4	S8.15. 端								
图19.	S8.15. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 1	
1	S8.17. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 2	
2	S8.17. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 3	
3	S8.17. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 4	
4	S8.17. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 5	
5	S8.18. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 6	
6	S8.18. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 7	
7	S8.19. 端								
8	S8.20. 端								
9	S8.20. 端								
10	S8.21. 端								
11	S8.21. 端								
12	S8.21. 端								
图20.1	S8.22. 端								
1	S8.22. 端								
2	S8.22. 端								
3	S8.22. 端								
4	S8.22. 端								
图21.1	S8.23. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 8	
1	S8.23. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 9	
2	S8.23. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 10	
图22.1	S8.23. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 11	
1	S8.22. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 12	
2	S8.22. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 13	
3	S8.22. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 14	
4	S8.22. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 15	
图23.1	S8.22. 端								
1	S8.22. 端								
2	S8.22. 端								
3	S8.22. 端								
4	S8.23. 端								
图24.1	S8.24. 端								
1	S8.22. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	扁平—L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 16	
2	S8.24. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 17	
3	S8.24. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 18	
4	S8.24. 端	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	L.R. 韵	R. 韵文	R. 韵文	P. 19	
图25.1	S8.25. 端								
1	S8.25. 端								
2	S8.25. 端								
3	S8.25. 端								
4	S8.25. 端								
图26.1	S8.26. 端								
1	S8.26. 端								
2	S8.26. 端								
3	S8.26. 端								
4	S8.26. 端								
图27.1	S8.27. 端								
1	S8.27. 端								
2	S8.27. 端								
3	S8.27. 端								
4	S8.27. 端								
图28.1	S8.28. 端								
1	S8.28. 端								
2	S8.28. 端								
3	S8.28. 端								
4	S8.28. 端								
图29.1	S8.29. 端								
1	S8.29. 端								
2	S8.29. 端								
3	S8.29. 端								
4	S8.29. 端								

观察者号	出土位置+部位	口部型	口部带	外齿牙模		隔壁 隔壁带 隔壁带1带 隔壁带2带	上带 上带带 上带带1带 上带带2带	下带 下带带 下带带1带 下带带2带	隔壁 隔壁带 隔壁带1带 隔壁带2带	隔壁带 隔壁带1带 隔壁带2带
				隔壁带 隔壁带1带 隔壁带2带	隔壁带 隔壁带1带 隔壁带2带					
5	SS-30 带			1.5+R1.5带1带						
6	SS-30 带	圆柱形突	SS-31 带1	SS-31 带1	SS-31 带1					
01-26.1				Y带	Y带					
2	SS-31 带1			Y带	Y带					
3	SS-31 带1	刺突	SS-31 带1	Y带	Y带					
4	SS-31 带1			Y带	Y带					
01-27.1		竹管形E		Y带	Y带					
5	SS-32 带			Y带	Y带					
2	SS-33 带			Y带	Y带					
3	SS-34 带			Y带	Y带					
4	SS-35 带	L.R.椭圆	L.R.椭圆	1.5带1带, 1.5带1带, R.带1带, R.带1带	1.5带1带, 1.5带1带, R.带1带, R.带1带					
5	SS-35 带			Y带	Y带					
6	SS-35 带			Y带	Y带					
7	SS-35 带			Y带	Y带					
8	SS-35 带			Y带	Y带					
01-29.1		SS-36 带		Y带	Y带					
2	SS-36 带			Y带	Y带					
3	SS-36 带			Y带	Y带					
4	SS-36 带			Y带	Y带					
5	SS-36 带			Y带	Y带					
6	SS-36 带			Y带	Y带					
7	SS-36 带			Y带	Y带					
8	SS-36 带			Y带	Y带					
01-39.1		SS-39 带		Y带	Y带					
6	SS-39 带			Y带	Y带					
7	SS-39 带			Y带	Y带					
8	SS-39 带			Y带	Y带					
9	SS-39 带			Y带	Y带					
10	SS-39 带			Y带	Y带					
11	SS-39 带			Y带	Y带					
02-20.5		SS-40 带		Y带	Y带					
6	SS-40 带			Y带	Y带					
7	SS-40 带			Y带	Y带					
8	SS-40 带			Y带	Y带					
9	SS-40 带			Y带	Y带					
01-31.1		SS-41 带		Y带	Y带					
3	SS-41 带			Y带	Y带					
4	SS-43 带			手+口	手+口					
5	SS-43 带			Y带	Y带					
6	SS-43 带			Y带	Y带					
8	SS-45 带			Y带	Y带					
01-32.1		SS-45 带		Y带	Y带					
2	SS-45 带			Y带	Y带					
3	SS-51 带			Y带	Y带					
4	SS-51 带			Y带	Y带					
5	SS-52 带			Y带	Y带					
7	SS-60 带			Y带	Y带					
8	SS-60 带			Y带	Y带					
9	SS-60 带			Y带	Y带					
01-13.1		SS-60 带		Y带	Y带					
2	SS-60 带			Y带	Y带					

图版番号	出土地点·部位	口沿型	口沿形	外底文様		器底	下部	分档	编号
				上部	下部				
3	SS.67 瓶.	口沿型	口沿形				下部	P.2	
4	SS.67 瓶.	S.瓶.	S.瓶.				Y.瓶.	P.3	
5	SS.68 瓶.	S.瓶.	S.瓶.				上部	P.4	
6	SS.69 瓶.	S.瓶.	S.瓶.				Y.瓶?	P.15	
7	SS.69 瓶.	L.R.瓶.	L.R.瓶.				上部?	P.15	
8	SS.70 瓶.	L.R.瓶.	L.R.瓶.				Y.瓶?	P.1	
9	SS.71 瓶.	L.R.瓶.	L.R.瓶.				Y.瓶?	P.15	
10	SS.71 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.3	
11	SS.72 瓶.	X.L.瓶.	X.L.瓶.				Y.瓶?	P.3	
12	SS.72 瓶.	S.S.73 瓶.	S.S.73 瓶.				Y.瓶?	P.4	
13	SS.74 瓶.	S.瓶.	S.瓶.				Y.瓶?	P.3	
4	SS.75 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.5	
5	SS.75 瓶.	K.瓶.	K.瓶.				Y.瓶?	P.1	
6	SS.77 瓶.	K.瓶.	K.瓶.				Y.瓶.	P.1	
7	SS.77 瓶.	K.瓶.	K.瓶.				Y.瓶.	P.3	
8	SS.79 瓶.	K.瓶.	K.瓶.				Y.瓶.	P.3	
14.25.1	SS.81 瓶.	K.瓶.	K.瓶.				Y.瓶?	P.1	
2	SS.81 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.1	
3	SS.83 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.25	
4	SS.83 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.11	
5	SS.83 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.35	
6	SS.85 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.1	
7	SS.85 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.24	
8	SS.84 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶.	P.4	
9	SS.84 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶.	P.4	
10	SS.85 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.6-P.8上同	个体?
11	SS.85 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.6-P.8上同	
12	SS.85 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.6-P.8上同	
13	SS.87 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.4	
14	SS.87 瓶.	R.瓶.	R.瓶.				Y.瓶?	P.27	
15	SS.87 瓶.	R.瓶.	R.瓶.				Y.瓶?	P.2	
16.26.1	SS.88 瓶.	R.瓶.	R.瓶.				Y.瓶?	P.3	
2	SS.89 瓶.	R.瓶.	R.瓶.				Y.瓶?	P.6	
3	SS.91 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
4	SS.91 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
5	SS.91 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
6	SS.91 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
7	SS.92 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
8	SS.92 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
9	SS.92 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
10	SS.92 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
11	SS.93 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
12	SS.94 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
3	SS.95 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
4	SS.95 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.9	
5	SS.97 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.4	
7	SS.98 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.11	
8	SS.98 瓶.	(R.)R.瓶.	(R.)R.瓶.				Y.瓶?	P.11	
9	SS.99 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.27	
10.26.1	SS.100 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.1	
2	SS.100 瓶.	Y.瓶.	Y.瓶.				Y.瓶?	P.5	

土壤观察器群1、砾石群1

土器觀察表

图版番号	出土位置·部位	外文文献		简述		分期	
		口播述	颈圈	上平	下平	中等偏晚	晚期
3	NC-83 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-241
4	NC-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-254
5	NC-94 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-262
6	SD-83 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-190
图15.1	NC-94 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-174
2	SD-84 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-264
3	SD-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-195
4	NY-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-212
5	SD-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-244
6	SD-91 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-224
7	MZ-85 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-201
8	SD-93 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-213
图15.2	NC-93 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-253
2	NC-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-255
3	NC-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-256
4	SD-94 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-274
5	SD-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-286
6	SD-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-242
7	MZ-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-222
8	SD-94 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-258
图15.3	SD-94 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-266
2	SD-94 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-290
3	MZ-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-268
4	SD-95 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-285
5	SD-94 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-282
6	MZ-93 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-306
7	SD-95 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-296(2)
8	SD-95 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-298(1)
图15.4	NC-93 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-307
2	SD-95 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-269
3	MZ-92 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-322
4	MZ-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-306
5	SD-95 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-324
6	SD-95 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-314
7	MZ-92 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-345
8	MZ-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-325
图15.5	NC-93 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-349
2	MZ-93 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-390
3	MZ-92 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-357
4	MZ-93 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-328
5	MZ-91 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-344
6	MZ-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-361
7	MZ-92 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-358
8	MZ-91 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-347
图15.6	MZ-91 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-391
2	MZ-91 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-356
3	MZ-92 里庄台地	L.R. 颈圈		L.R. 颈圈		Y.M.	P-375
4	MZ-92 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-340
5	MZ-94 里庄台地	L.R. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-376
6	MZ-94 里庄台地	R.L. 颈圈		R.L. 颈圈		Y.M.	P-377

测点编号	出土地点·测位	口音带	口音带	外音文类		领属	分组	编 号
				领属带	领属带			
1458.1	ND-94 III 中位	L.R带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-343
2	MO-92 III 中位	L.R带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-345
3	MX-92 III 中位	L.R带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-348
4	MX-91 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-349
5	MY-92 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-357
6	MX-91 III 带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-350
7	MY-92 III 带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-351
1459.1	MY-92 III 带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-356
2	MZ-92 III L带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-368
3	MZ-92 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-370
4	MZ-93 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-383
5	MZ-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-387
6	MZ-92 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-386
7	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-420
1460.1	MZ-92 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-387
2	MZ-92 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-390
3	MZ-92 III L带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-391
4	MZ-92 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-390
5	MZ-92 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-392
6	MZ-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-393
7	MZ-93 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-394
1461.1	MY-92 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-395
2	MO-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-410
3	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-412
4	NA-93 III L带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-413
5	NA-93 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-415
6	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-417
7	NA-93 III H带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-418
8	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-419
1462.1	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-420
2	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-445
3	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-446
4	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-447
5	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-448
6	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-449
7	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-450
1463.1	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-451
2	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-452
3	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-453
4	NA-93 III F带E	领带E	L.R带E	RL+L.R带E	RL+L.R带E	Y带 RL带E文	F带E	P-454

出土地點・調査番号	出土位置・部位	目録番	内文類		部類	分類	備考
			上平	下平			
2 NA 83 Ⅲ・上位	口継蓋	L.R.繩文	1.5.1.R.繩文1種 L.R.繩文	L.R.繩文	LR.繩文	P-573	
3 ND 95 Ⅲ・中位	R.L.繩文	K.繩文	K.繩文	K.1-L.R.繩文	LR.繩文	P-574	繩形丸
4 ND 94 Ⅱ・上	R.L.繩文	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-575	
5 ND 92 Ⅱ・上	N.S.92 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-576	
6 ND 93 繩	R.L.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-577	
7 ND 94 Ⅰ・上	R.L.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-578	
3 ND 91 Ⅰ・上	N.M.91 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-579	
4 ND 91 1-2 繩	4.5(1.1-2)R.91 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-580	
5 ND 92 Ⅱ・上	M.CZ 92 Ⅱ・上位	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-581	
6 MCZ 92 Ⅱ・上位	ND 92 17.2 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-582	
3 ND 94 Ⅱ・上位	N.S.94 1 繩	R.L.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-583	
4 ND 94 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-584	
5 ND 92 Ⅱ・上	M.Y.92 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-585	
3 ND 94 Ⅱ・上	S.ND 94 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-586	
3 ND 92 Ⅱ・上	M.Y.92 2 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-587	
3 ND 94 Ⅱ・上	M.Y.92 2 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-588	
3 ND 94 Ⅱ・上	M.Y.92 2 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-589	
3 ND 94 Ⅱ・上	M.Y.92 2 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-590	
4 ND 91 Ⅱ・上	N.S.91 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-591	
5 ND 94 Ⅱ・上	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-592	
6 ND 92 Ⅱ・上	M.Y.92 1 繩	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	1.5.1.R.繩文	LR.繩文	P-593	
7 ND 94 1 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-594	
8 ND 94 1 繩	R.繩文	R.繩文	R.繩文	R.繩文	LR.繩文	P-595	

出土位置/部位	外文释义		制匣	分册
	日目感	竹管刷毛		
图18.1 M1.85.1 箍	竹管刷毛	竹管刷毛, L.上刷文 L.R.刷毛, 帽目	刷毛, R.刷毛	上平 P.0065 P.0066
M1.85.2 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0134
M1.85.3 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0135
M1.85.4 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0136
M1.85.5 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0137
M1.85.6 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0138
M1.85.7 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0139
M1.85.8 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0140
M1.85.9 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0141
M1.85.10 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0142
M1.85.11 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0143
M1.85.12 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0144
M1.85.13 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0145
M1.85.14 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0146
M1.85.15 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0147
M1.85.16 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0148
M1.85.17 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0149
M1.85.18 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0150
M1.85.19 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0151
M1.85.20 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0152
M1.85.21 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0153
M1.85.22 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0154
M1.85.23 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0155
M1.85.24 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0156
M1.85.25 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0157
M1.85.26 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0158
M1.85.27 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0159
M1.85.28 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0160
M1.85.29 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0161
M1.85.30 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0162
M1.85.31 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0163
M1.85.32 箍	L.R.刷毛	L.R.刷毛, L.刷毛, 八卦刷毛	1.只刷毛, 1.刷毛	P.0164

表観察器区域土り盛り

遺構外 土器觀察表

測量番号	出土位置・部位	口沿部	口縁部	外周文様		内面	分類	備考
				底面	側面			
3	C(6.1-2.3)H1.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
4	NX.93.1Ⅲ	L.R.側面	L.R.側面	無文	無文	下側面	下側面	下側面
5	MV.92.Ⅲ	直下位	直下位	無文	無文	下側面	下側面	下側面
6	MZ.90.Ⅲ	直下位	直下位	無文	無文	下側面	下側面	下側面
10/96.1	NX.92.Ⅲ	直下位	直下位	無文	無文	下側面	下側面	下側面
2	NX.92.Ⅲ	直下位	直下位	無文	無文	下側面	下側面	下側面
3	C(6.1-2.3)H1.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
4	MV.91.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	下側面	下側面	下側面
5	MV.85.直上位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
6	A(6.1-2.3)H1.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
7	MV.85.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
8	MV.92.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
9	MZ.93.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
10	NX.94.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
11	MZ.92.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
12	NX.93.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
13	MV.90.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
14	MV.92.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
15	NX.94.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
16	C(6.1-2.3)H1.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
17	NX.92.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
18	NX.90.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
10/96.1	SZ.93.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
2	SZ.94.1Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
3	MV.90.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
4	MV.92.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
5	MV.86.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
6	NX.86.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
7	NX.84.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
8	NX.90.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
9	NX.91.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
10	NX.92.直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
11	MV.88.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
12	MV.88.Ⅲ	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
13	SZ.92.1直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐
14	MV.92.1直下位	直腹 X. 扇形	直腹 X. 扇形	無文	無文	上平	上側面	單耳罐

小型土器・仕切土器
觀察表

深層番号	出土位置・部位	口部形		口部形		外周立柱		斷面		分類	備考
		上	下	左	右	上	下	左	右		
16197.1	SII.1.2層 出土位置:標位	SII.1.2層						L.S.立柱 L.R.立柱 R.L.立柱 R.R.立柱			Y.前?
2	SII.1.3層 出土位置:標位	SII.1.3層									P.83 P.305 Y.前?
3	SII.1.2層 出土位置:標位	SII.1.2層	直口								上.前?
4	SII.1.2層 出土位置:標位	SII.1.2層									上.前?
5	SII.1.2層 出土位置:標位	SII.1.2層									上.前?
6	SII.1.0層 Y.	SII.1.0層 Y.									Y.前?
7	SII.2.0層 Y.	SII.2.0層 Y.									Y.前?
8	SII.2.0層 Y.	SII.2.0層 Y.									Y.前?
9	SII.3.0層 Y.	SII.3.0層 Y.									Y.前?
10	SII.4.0層 Y.	SII.4.0層 Y.									Y.前?
11	MZ.9.1層 Y.	MZ.9.1層 Y.									Y.前?
12	NB.6.2.Ⅲ.5層 Y.	NB.6.2.Ⅲ.5層 Y.									Y.前?
13	NB.6.3.Ⅲ.5層 Y.	NB.6.3.Ⅲ.5層 Y.									Y.前?
14	NC.9.7層 Y.	NC.9.7層 Y.									Y.前?
15	MD.8.0.Ⅲ.5層 Y.	MD.8.0.Ⅲ.5層 Y.									Y.前?
16	NC.9.8層 Y.	NC.9.8層 Y.									Y.前?
17	NB.6.5層 Y.	NB.6.5層 Y.									Y.前?
18	NB.6.5層 Y.	NB.6.5層 Y.									Y.前?
19	NB.6.0層 Y.	NB.6.0層 Y.									Y.前?
20	MZ.6.0層 Y.	MZ.6.0層 Y.									Y.前?
16198.4	MZ.2.2.Ⅲ.5層 Y.	MZ.2.2.Ⅲ.5層 Y.	圓形斜突					L.R.立柱 R.L.立柱 R.R.立柱 L.S.立柱			Y.前?
16198.5	NB.2.5.Ⅲ.5層 Y.	NB.2.5.Ⅲ.5層 Y.									Y.前?

竪穴住居跡 石器観察表

団体番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
国-7	SI02	床面	5.1	2.9	1.1	8.1	I-3A	珪質頁岩	S-23
8	SI02	層上	3.5	3.3	0.8	11.6	I-8	珪質頁岩	
9	SI02	層上	9.65	6.35	1.3	111.5	II-12D	安山岩	
10	SI02	層上	8.2	5.4	2.7	185.7	II-11	緑色細粒凝灰岩	S-11
11	SI02	層上	9.6	8.8	2.6	310.0	II-12D	安山岩	S-14
国2-1	SI02	層上	13.3	8.5	4.8	509.8	II-12C	浅紋岩	S-8
2	SI02	層上	5.5	6.4	2.4	97.4	II-12B	デイサイト	
3	SI02	床面	9.9	9.45	5.3	555.9	II-12C	浅紋岩	S-26 被熱による黒変あり
4	SI02P3	層上	24.5	16.25	5.9	4611.4	II-13	安山岩	S-1
5	SI02	床面	20.5	14.8	1.7	513.6	II-13	安山岩	S-22
DE3-5	SI03	層上	10.0	8.3	2.3	261.9	II-12D	安山岩	S-1
6	SI03	層上	11.0	7.1	3.4	309.2	II-12D	珊瑚灰岩	S-2
7	SI03	層上	12.5	7.3	4.3	462.5	II-12D	安山岩	S-3
8	SI03	層上	14.3	8.0	4.1	561.7	II-12D	デイサイト	S-4
DE4-8	SI04	層上	4.3	1.15	0.45	1.7	I-1C	珪質頁岩	S-8
9	SI04	床面	5.95	2.7	0.8	9.9	I-3A	珪質頁岩	S-6
10	SI04	層上	5.25	3.6	0.6	6.0	I-5A	珪質頁岩	
11	SI04	床面	8.7	7.8	4.1	315.4	II-12B	安山岩	表面剥離
12	SI04	床面	13.8	8.4	4.9	768.3	II-12B	安山岩	S-5
国22-6	SI11	2層	2.7	1.6	0.5	1.5	I-1A(1)	珪質頁岩	S-27 アスファルト付着
7	SI11	3層	1.6	1.4	0.3	0.6	I-1A(1)	珪質頁岩	
8	SI11	1層	3.1	1.3	0.4	1.5	I-1A(1)	珪質頁岩	S-20
9	SI11	2層	3.6	1.9	0.55	3.1	I-1A(1)	珪質頁岩	S-108
10	SI11	4層	2.1	1.6	0.3	0.6	I-1A(2)	珪質頁岩	S-129
11	SI11	1層	2.2	1.6	0.3	0.8	I-1A(2)	珪質頁岩	
12	SI11	1層	3.6	1.5	0.7	2.9	I-1B(2)	珪質頁岩	S-56
13	SI11	3層	3.45	1.7	1.7	5.2	I-1B(2)	珪質頁岩	S-11
14	SI11	2層	4.0	1.4	0.9	4.0	I-1B(2)	珪質頁岩	S-29
15	SI11	床面	3.35	1.3	0.9	2.4	I-1B(2)	玉髓質頁岩	S-35
16	SI11	1層	3.2	1.3	0.7	1.6	I-1B(2)	頁岩	S-4
17	SI11	2層	3.75	1.3	0.75	2.6	I-1B(2)	珪質頁岩	S-25
18	SI11	2層	2.7	1.3	0.65	1.5	I-1B(2)	珪質頁岩	S-5
19	SI11	1層	3.5	1.7	0.65	2.3	I-1B(2)	珪質頁岩	S-19
20	SI11	床面	4.4	1.8	0.6	3.3	I-1B(2)	珪質頁岩	S-37
21	SI11	2層	4.0	1.1	0.5	3.2	I-1B(2)	珪質頁岩	S-16
22	SI11	1層	2.8	1.4	0.6	1.4	I-1B(2)	珪質頁岩	
23	SI11	1層	3.4	1.5	0.5	1.6	I-1B(2)	珪質頁岩	S-72
24	SI11	床面	4.3	1.9	0.9	5.1	I-1B(2)	頁岩	S-38 他のはじけあり
25	SI11	1層	4.6	1.5	0.8	2.8	I-1B(2)	珪質頁岩	S-68
26	SI11	1層	3.3	1.8	0.7	2.6	I-1B(1)	珪質頁岩	S-28 アスファルト付着
27	SI11	2層	2.65	1.5	0.6	1.4	I-1B(2)	玉髓質頁岩	S-15
28	SI11	3層	2.55	1.7	0.75	1.7	I-1B(2)	珪質頁岩	S-96
29	SI11	11層	4.95	2.2	0.9	8.3	I-1B(2)	珪質頁岩	S-135
30	SI11	1層	4.9	2.3	1.1	13.6	I-2A	珪質頁岩	S-99
31	SI11	3層	8.3	2.5	1.3	18.0	I-3A	珪質頁岩	S-75
32	SI11	8層	6.55	2.6	1.35	10.7	I-3A	珪質頁岩	S-138
33	SI11	2層	4.85	3.7	1.4	16.3	I-3A	珪質頁岩	S-111
国23-1	SI11	2層	5.7	2.6	1.4	19.0	I-4A	珪質頁岩	S-119
2	SI11	1層	7.0	2.05	1.35	17.5	I-4C	珪質頁岩	S-60
3	SI11	層上	5.4	4.1	1.8	35.2	I-4B	珪質頁岩	
4	SI11	1層	7.1	3.4	1.9	36.7	I-4C	珪質頁岩	S-2
5	SI11	5層	5.0	2.85	1.5	19.5	I-4C	珪質頁岩	S-92
6	SI11	1層	3.8	1.8	0.8	4.4	I-4B	珪質頁岩	
7	SI11	2層	4.6	1.9	1.4	10.9	I-5B	珪質頁岩	
8	SI11	1層	4.3	1.3	1.0	3.8	I-5B	珪質頁岩	
9	SI11	1層	3.7	1.3	0.95	4.3	I-5B	珪質頁岩	
10	SI11	3層	4.0	1.3	0.8	4.1	I-5B	珪質頁岩	
11	SI11	3層	3.2	1.0	0.5	1.7	I-5B	珪質頁岩	S-101
12	SI11	2層	4.7	2.0	0.6	4.5	I-5A	珪質頁岩	S-26
13	SI11	4層	4.6	1.7	0.75	18.2	I-5A	珪質頁岩	
14	SI11	2層	5.5	3.45	1.3	18.6	I-5A	珪質頁岩	
15	SI11	層上	2.5	3.5	1.2	13.0	I-6	珪質頁岩	
16	SI11	3層	3.8	4.7	1.2	27.0	I-6	珪質頁岩	
17	SI11	2層	3.6	4.6	2.2	38.4	I-6	珪質頁岩	S-8
18	SI11	11層	3.9	1.8	0.9	23.8	I-6	頁岩	S-136
19	SI11	2層	3.9	7.3	1.3	26.5	I-6	頁岩	S-121
国24-1	SI11	層上	4.65	2.7	1.85	31.9	I-6	珪質頁岩	
2	SI11	1層	6.1	4.55	2.6	79.8	I-6	チート	S-69
3	SI11	3層	3.8	2.1	0.6	26.7	I-6	珪質頁岩	S-128
4	SI11	2層	4.65	2.7	1.2	11.7	I-6	珪質頁岩	S-32
5	SI11	層上	4.25	2.5	1.15	9.3	I-6	頁岩	
6	SI11	2層	4.4	2.3	1.2	9.6	I-6	珪質頁岩	
7	SI11	1層	3.5	2.8	0.9	3.9	I-6	珪質頁岩	S-3
8	SI11	2層	2.95	2.5	0.7	4.7	I-6	珪質頁岩	
9	SI11	1層	3.7	2.9	0.9	6.0	I-6	珪質頁岩	
10	SI11	層上	2.8	2.6	1.3	10.3	I-6	珪質頁岩	
11	SI11	3層	3.3	3.2	0.7	6.2	I-6	頁岩	
12	SI11	1層	10.2	5.8	2.9	152.5	I-6	頁岩	S-65
13	SI11	1層	7.6	4.8	2.3	61.7	I-6	頁岩	S-46
14	SI11	3層	6.6	2.3	1.1	9.6	I-6	珪質頁岩	

図版番号	出上位置	層位	計測値(cm)			重職(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
15	SII 11	1層	6.0	2.65	1.1	13.2	I・8	真岩	S-74
16	SII 11	2層	4.2	2.9	1.1	6.9	I・8	珪質頁岩	S-1
国25-1	SII 11Pn12	8層	4.2	1.8	0.8	2.0	I・8	真岩	S-1
2	SII 11	2層	4.0	1.5	0.7	2.4	I・8	珪質頁岩	S-65
3	SII 11	1層	3.3	1.0	0.5	1.0	I・8	珪質頁岩	S-45
4	SII 11	覆土	6.2	4.2	1.4	31.9	I・8	珪質頁岩	S-114
5	SII 11	3層	8.8	5.2	2.7	196.5	II・11	真岩	S-45
6	SII 11	2層	6.75	3.75	1.25	56.1	II・11	珪質頁岩	S-5
7	SII 11	1層	9.6	6.65	3.15	266.8	II・12-B	チャート	S-61 両面鏡き
8	SII 11	3層	7.25	5.9	6.4	454.5	II・12-A	チャート	S-1
9	SII 11Pn15	覆土	7.6	8.6	4.0	336.4	II・12-B	チャート	S-1
10	SII 11	1層	7.85	6.9	4.8	325.8	II・12-B	チャート	S-1
11	SII 11	1層	9.2	8.8	3.8	358.7	II・12-B	安山岩	S-48
12	SII 11	3層	17.0	5.4	3.6	446.5	II・12-C	珪質頁岩	S-39 両面鏡き,側面削り
13	SII 11	3層	10.25	8.1	6.4	785.8	II・12-A	チャート	S-4 両面削り
14	SII 11	2層	12.65	4.7	4.9	447.6	II・12-A	安山岩	S-31
15	SII 11	2層	6.9	3.25	1.7	49.1	II・12-A	デイサイト	S-23
16	SII 11	1層	5.6	7.5	2.1	121.4	II・12-C	デイサイト	S-52
国26-1	SII 11	5層	11.7	6.5	3.0	308.3	II・12-A	珪質頁岩	S-85 両面鏡き
2	SII 11	5層	8.5	4.9	3.7	241.7	II・12-A	安山岩	S-93
3	SII 11	1層	4.2	3.15	3.2	65.8	II・12-A	チャート	S-57
4	SII 11	1層	10.2	5.55	3.8	372.4	II・12-C	安山岩	S-102
5	SII 11Pn12	2層	9.8	5.7	4.6	355.2	II・12-B	珪質頁岩	S-139 両面,側面削り
6	SII 11	3層	6.8	6.75	4.3	297.1	II・12-C	デイサイト	S-97
7	SII 11	11層	13.5	8.05	4.5	668.7	II・12-C	安山岩	S-137
8	SII 11	1層	9.3	9.0	2.4	315.2	II・12-B	安山岩	S-84 両面鏡き
9	SII 11	2層	10.7	6.9	4.6	473.6	II・12-B	珪質頁岩	S-9
10	SII 11	1層	8.4	5.4	4.6	290.8	II・12-A	チャート	S-127
11	SII 11	1層	10.2	9.05	5.9	619.9	II・12-B	珪質頁岩	S-50
12	SII 11	5層	8.6	8.0	4.0	384.8	II・12-D	珪質頁岩	S-94
13	SII 11	2層	4.1	4.3	3.0	62.4	II・12-D	安山岩	S-107
14	SII 11	2層	6.7	6.45	3.3	225.1	II・12-D	デイサイト	S-76
国27-1	SII 11	5層	7.1	7.85	3.8	365.2	II・12-D	安山岩	S-130
2	SII 11	11層	9.45	6.05	2.5	196.5	II・12-D	珪質頁岩	S-78
3	SII 11	1層	9.15	7.55	1.8	209.6	II・12-D	珪質頁岩	S-12
4	SII 11	6層	10.4	8.5	3.8	444.5	II・12-D	安山岩	S-127
5	SII 11	1層	10.95	8.8	3.7	110.0	II・12-D	安山岩	S-13
6	SII 11	10層	7.04	6.6	2.5	106.3	II・12-D	デイサイト	S-104
7	SII 11	2層	18.45	23.2	4.7	302.2	B-13	デイサイト	S-12
8	SII 11Pn12	7層	17.8	6.5	7.0	3406.2	B-13	安山岩	S-2
9	SII 11	1層	15.3	15.2	9.8	2346.2	B-13	安山岩	S-3
国28-8	SII 12	覆土	3.0	1.8	0.3	1.2	I・1-A(2)	珪質頁岩	S-22
9	SII 12	覆土	1.8	1.55	0.35	0.7	I・1-A(2)	珪質頁岩	S-17
10	SII 12	床面	2.9	2.4	0.5	3.3	I・1-A(2)	珪質頁岩	S-17
11	SII 12	覆土	3.0	1.6	1.75	2.8	I・1-C	珪質頁岩	S-23
12	SII 12	覆土	2.6	1.5	0.7	2.0	I・1-C	珪質頁岩	S-12
13	SII 12	床面	3.7	6.1	1.3	16.8	I・3-B	珪質頁岩	S-24
14	SII 12	覆土	5.2	3.7	1.7	36.3	I・8	珪質頁岩	S-18
15	SII 12	床面	20.9	24.0	6.9	5490.6	B-13	安山岩	S-18
16	SII 12	覆土	3.05	2.3	1.5	13.3	I・6	珪質頁岩	S-16
17	SII 12	覆土	2.8	2.9	1.6	11.2	I・6	珪質頁岩	S-16
18	SII 12	覆土	13.1	6.1	3.3	334.1	II・12-C	珪質頁岩	S-19
国25-4	SII 13	1層	3.3	1.3	0.3	1.1	I・1-D	珪質頁岩	S-19
5	SII 13	1層	3.9	1.6	0.65	3.8	I・1-B(2)	珪質頁岩	S-23
6	SII 13	1層	4.0	2.4	0.9	5.3	I・4-C	真岩	S-54
7	SII 13	1層	3.4	5.7	1.0	13.9	I・3-B	珪質頁岩	S-1
8	SII 13	1層	4.4	2.6	0.9	8.2	I・4-C	真岩	S-20
9	SII 13	1層	7.4	2.6	1.5	26.1	I・4-C	珪質頁岩	S-47
10	SII 13	1層	7.3	2.9	1.7	25.5	I・4-C	珪質頁岩	S-17
11	SII 13	1層	5.9	3.6	1.0	18.4	I・4-C	珪質頁岩	S-19
12	SII 13	1層	3.9	1.7	0.6	3.4	I・5-A	珪質頁岩	S-30
13	SII 13	1層	3.1	1.3	0.65	2.2	I・5-B	珪質頁岩	S-54
国26-1	SII 13	1層	5.1	3.5	2.1	29.0	I・8	珪質頁岩	S-54
2	SII 13	1層	4.0	2.4	0.9	5.1	I・8	珪質頁岩	S-29
3	SII 13	1層	5.7	3.8	1.6	31.8	I・8	珪質頁岩	S-36
4	SII 13	1層	4.3	3.0	2.0	24.3	I・8	珪質頁岩	S-36
5	SII 13	1層	4.0	2.4	1.7	8.6	I・8	珪質頁岩	S-47
6	SII 13	1層	4.3	4.9	2.6	33.7	I・8	珪質頁岩	S-47
7	SII 13	1層	2.8	1.5	0.7	2.7	I・8	珪質頁岩	S-66
8	SII 13	1層	5.6	5.1	1.6	41.4	I・8	珪質頁岩	S-4
9	SII 13	床面	5.5	5.6	3.0	88.7	I・8	珪質頁岩	S-95
10	SII 13	1層	4.4	3.3	1.5	21.1	I・8	珪質頁岩	S-96
11	SII 13	1層	13.0	5.1	2.55	285.2	B-11	砂岩	S-66
12	SII 13	1層	7.95	5.25	3.5	179.8	II・12-B	チャート	S-4
13	SII 13	覆土	8.05	6.65	4.5	304.7	II・12-B	安山岩	S-95
14	SII 13	1層	5.3	3.0	1.6	1.8	I・8	珪質頁岩	S-38
15	SII 13	1層	11.9	6.55	3.8	325.7	II・12-A	安山岩	S-59
16	SII 13	1層	8.1	8.65	3.7	316.6	II・12-B	安山岩	S-10
17	SII 13	覆土	10.6	7.5	4.9	527.0	II・12-B	安山岩	S-94 両面鏡き
国27-1	SII 13	1層	9.8	6.0	5.0	502.1	II・12-B	安山岩	S-38
2	SII 13	1層	9.2	6.2	4.6	392.5	II・12-A	チャート	S-66
3	SII 13	1層	8.4	5.8	3.4	232.5	II・12-B	安山岩	S-17 両面鏡き

回収番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重職(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
4	SI13	1層	10.5	7.4	4.4	335.9	II-12-B	凝灰質砂岩	S-63 両面削き
5	SI13	1層	6.8	6.05	6.5	204.1	II-12-B	安山岩	S-64 両面削き
6	SI13	1層	10.1	7.0	6.5	536.8	II-12-A	安山岩	S-59
7	SI13	1層	13.65	11.9	6.3	1470.8	II-12-B	安山岩	S-88
8	SI13	床面	13.4	10.6	7.3	1371.9	II-12-B	安山岩	S-46
9	SI13	1層	23.1	15.8	15.2	2909.0	II-13	安山岩	S-69
10	SI13	1層	22.7	22.0	15.6	11000.0	II-13	安山岩	S-73
11	SI13	1層	8.9	7.45	6.5	565.9	II-12-B	安山岩	S-58
回38-1	SI13	1層	6.5	6.5	5.2	281.2	II-12-C	安山岩	S-13 両面削り
2	SI13	床面	9.4	7.4	4.0	383.7	II-12-D	安山岩	S-77
3	SI13	1層	7.5	11.5	1.5	216.3	II-12-D	安山岩	S-34
回39-1	SI14	1層	3.1	2.1	0.5	21.	I-1A(2)	珪質頁岩	S-15
2	SI14	1層(底面)	10.7	7.7	4.6	646.3	II-12-B	安山岩	S-11 両面削き
3	SI14	1層(底面)	10.6	7.8	3.3	369.0	II-12-B	安山岩	S-10 両面削き
4	SI14	覆土	5.9	7.5	2.1	121.5	II-12-D	安山岩	S-23
5	SI14	薄荷面	6.85	5.5	3.3	172.1	II-12-C	薄紋岩	S-1
6	SI14	床面	11.4	8.5	3.3	371.2	II-12-D	安山岩	S-30
7	SI14	1層	27.5	23.9	13.3	1990.9	II-13	デイサイト	S-12
8	SI14	1層	11.5	5.5	2.0	188.4	II-12-D	安山岩	S-14
9	SI14	床面	11.3	6.9	2.7	258.9	II-12-D	安山岩	S-26
回43-12	SI16	床面	3.9	1.7	0.8	3.4	I-1B(1)	珪質頁岩	S-40
13	SI16	1層	3.5	5.4	0.9	13.3	I-3-B	珪質頁岩	S-3
14	SI16	覆土	3.1	3.45	1.0	6.5	I-3-A	珪質頁岩	
15	SI16	1層	4.25	3.8	0.8	8.3	I-3-A	珪質頁岩	S-24
16	SI16	床面	3.4	1.3	0.55	2.0	I-8	珪質頁岩	
回44-1	SI16	覆土	2.8	3.1	0.95	9.4	I-6	珪質頁岩	
2	SI16	1層	4.3	2.15	1.1	4.5	I-8	珪質頁岩	
3	SI16	覆土	13.5	4.7	3.0	293.6	II-11	閃綠岩	S-1
4	SI16	1層	12.15	5.0	3.7	323.1	II-12-C	安山岩	S-26
5	SI16	2層	9.7	7.85	7.1	724.3	II-12-B	安山岩	S-49
6	SI16	1層	5.7	5.2	4.1	165.8	II-12-B	安山岩	
7	SI16	2層	7.2	7.0	5.6	385.4	II-12-A	チャート	S-38
8	SI16	2層	10.5	6.1	3.9	380.5	II-12-B	安山岩	S-36 両面削き
9	SI16	1層	7.9	5.7	4.3	272.8	II-12-B	薄紋岩	S-11 両面削き
10	SI16	1層	11.0	8.4	4.8	794.6	II-12-B	薄紋岩	S-18
11	SI16	床面	9.3	4.3	6.7	386.5	II-12-B	安山岩	S-32
12	SI16	1層	6.9	2.0	2.2	102.1	II-12-B	凝灰岩	
13	SI16	床面	9.05	6.9	4.6	380.6	II-12-E	安山岩	S-47
回45-1	SI16	覆土	8.3	9.8	4.2	428.0	II-12-B	安山岩	S-4 両面削き
2	SI16	2層	6.3	3.35	2.4	59.0	II-12-B	凝灰岩	
3	SI16	1層	9.9	3.8	1.7	80.2	II-12-D	薄紋岩	S-15
4	SI16	1層	12.6	7.8	4.9	544.0	II-12-D	安山岩	S-22
5	SI16	1層	8.3	5.6	2.8	180.6	II-12-D	安山岩	S-7
6	SI16	1層	8.9	8.3	3.1	379.1	II-12-D	粗粒玄武岩	S-51
7	SI16	2層	14.6	6.1	1.5	179.1	II-12-D	薄紋岩	S-39
8	SI16	覆土	6.5	7.0	3.4	190.6	II-12-D	安山岩	
9	SI16	1層	16.6	6.4	4.2	671.0	II-12-A	薄紋岩	
10	SI16	1層	14.3	14.9	5.9	805.9	II-13	薄紋岩	S-34
回46-4	SI17	1層	5.7	5.5	2.1	42.5	I-8	珪質頁岩	
5	SI17	1層	2.15	1.0	0.4	0.6	I-8	珪質頁岩	
回49-1	SI18	覆土	1.8	1.55	0.3	0.9	I-1A(2)	珪質頁岩	
2	SI18	覆土	2.8	1.6	0.6	2.2	I-1-C	珪質頁岩	剥げ
3	SI18	床面	3.15	2.1	0.7	3.3	I-1B(2)	珪質頁岩	S-65
4	SI18	覆土	3.8	2.0	0.6	3.1	I-1B(1)	珪質頁岩	S-40
5	SI18	覆土	3.0	1.8	0.6	2.0	I-1B(2)	珪質頁岩	S-63
6	SI18	覆土	3.0	1.5	0.55	1.8	I-1B(2)	珪質頁岩	剥げ
7	SI18	覆土	3.0	1.3	0.4	1.5	I-1B(2)	珪質頁岩	小型
8	SI18	覆土	3.1	1.9	0.6	2.9	I-3-A	珪質頁岩	
9	SI18	覆土	7.5	2.8	0.9	9.2	I-3-A	珪質頁岩	S-45
10	SI18	床面	4.25	2.4	1.2	19.3	I-4-A	珪質頁岩	S-64
11	SI18	覆土	4.3	1.9	1.0	7.2	I-8	珪質頁岩	S-36
12	SI18	覆土	4.0	1.85	0.9	4.4	I-5-A	珪質頁岩	剥げ
13	SI18	覆土	4.5	2.7	0.7	9.0	I-8	珪質頁岩	剥げ
14	SI18P45	覆土	3.35	4.15	1.5	17.8	I-6	珪質頁岩	
15	SI18	覆土	5.65	1.05	0.7	8.0	I-11	緑色細粒凝灰岩	S-55
16	SI18	覆土	7.75	5.4	3.9	197.6	II-12-A	石英	
17	SI18	覆土	11.9	5.6	3.2	366.5	I-11	緑色細粒凝灰岩	S-54
18	SI18P29	覆土	9.7	8.1	4.2	422.2	II-12-C	安山岩	
19	SI18	覆土	0.3	3.5	3.0	99.1	II-12-A	チャート	S-11
20	SI18	床面	6.5	5.45	1.4	91.7	I-11	緑色細粒凝灰岩	S-67
21	SI18	覆土	10.4	6.5	2.1	201.2	II-12-D	薄紋岩	S-12
22	SI18	覆土	14.4	9.0	5.5	1067.5	II-12-D	薄紋岩	S-3
23	SI18	床面	10.6	6.6	2.8	198.1	II-12-C	凝灰岩	S-66
回52-7	SI21	礫混面	1.9	1.3	0.3	1.0	I-1A(2)	珪質頁岩	
8	SI21	礫混面	2.95	2.1	0.5	2.7	I-1-C	珪質頁岩	
9	SI21	覆土	3.7	1.7	0.6	2.5	I-1B(2)	珪質頁岩	
10	SI21	礫混面	2.5	1.0	1.2	23.6	I-1-B	珪質頁岩	S-9
11	SI21	覆土	5.9	3.9	1.1	15.6	I-3-A	珪質頁岩	S-19
12	SI21	覆土	4.4	4.6	1.3	14.5	I-8	珪質頁岩	
13	SI21	礫混面	3.0	2.6	0.9	6.8	I-8	下懸垂頁岩	
14	SI21	礫混面	3.1	2.55	0.8	4.5	I-8	珪質頁岩	
回53-1	SI21	覆土	4.7	3.5	1.1	15.8	I-8	珪質頁岩	S-23

回収番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重識(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
2	S2 21	確認面	4.6	3.5	1.9	12.3	1・8	珪質頁岩	
3	S2 21	確認面	4.1	3.3	1.4	16.1	1・8	珪質頁岩	
4	S2 21	確認面	3.6	3.45	1.6	16.1	1・8	珪質頁岩	
5	S2 21	確認面	3.2	2.2	0.9	5.8	1・8	珪質頁岩	
6	S2 21	確認面	2.6	2.5	0.9	5.6	1・8	珪質頁岩	
7	S2 21	確認面	8.0	5.3	3.6	207.7	II・12・D	海紋岩	S-5
8	S2 21	覆土	9.9	6.9	2.7	260.1	II・12・D	海紋岩	S-16
9	S2 21	覆土	8.1	7.7	6.0	444.6	II・12・B	安山岩	S-27
10	S2 23	覆土	3.7	1.6	0.4	21	I・1・A・2)	珪質頁岩	S-3
14	S2 23	1側	8.9	6.2	5.9	472.6	II・12・B	安山岩	S-2
国71-5	S2 24	覆土	3.0	1.6	0.55	2.0	I・1・C	珪質頁岩	S-11
6	S2 24	覆土	3.95	1.7	0.5	2.7	I・1・D	珪質頁岩	S-54
7	S2 24	覆土	2.9	1.25	0.4	1.3	I・1・C	珪質頁岩	
8	S2 24	覆土	2.6	1.2	0.4	1.2	I・1・B・2)	珪質頁岩	
9	S2 24	確認面	3.15	1.5	0.6	21	I・3・A	珪質頁岩	S-7 小型
10	S2 24	確認面	5.9	3.4	1.2	16.2	I・3・A	珪質頁岩	S-6
11	S2 24	覆土	4.5	2.65	0.6	5.4	I・3・A	珪質頁岩	S-35
国72-1	S2 24	覆土	7.0	3.9	1.2	23.5	I・3・B	珪質頁岩	S-60
2	S2 24	覆土	4.25	2.6	0.9	5.5	I・3・B	珪質頁岩	S-23
3	S2 24	覆土	2.7	4.1	1.0	10	I・3・B	珪質頁岩	
4	S2 24	覆土	3.4	3.5	1.6	17.7	I・6	珪質頁岩	
5	S2 24	覆土	2.0	2.0	0.8	3.0	I・6	珪質頁岩	S-8
6	S2 24	確認面	2.6	5.7	0.6	5.3	I・3・B	珪質頁岩	
7	S2 24	覆土	4.5	3.2	1.3	16.0	I・8	珪質頁岩	
8	S2 24	覆土	3.6	1.3	0.5	2.0	I・8	珪質頁岩	S-63
9	S2 24	覆土	3.9	0.8	0.5	1.7	I・5・B	珪質頁岩	
10	S2 24	覆土	7.5	1.9	1.8	10.8	I・8	珪質頁岩	S-36
11	S2 24	覆土	6.8	4.1	1.9	46.1	I・8	珪質頁岩	S-13
12	S2 24	覆土	6.0	3.85	1.4	28.7	I・8	珪質頁岩	S-15
13	S2 24	覆土	5.0	2.0	1.4	23.0	II・11	緑色細粒複岩	S-37
14	S2 24	覆土	4.3	5.8	2.1	86.1	II・12・D	閃綠岩	S-16
15	S2 24	覆土	8.9	9.0	3.4	294.9	II・12・B	安山岩	S-40
16	S2 24	覆土	9.05	4.45	6.8	373.8	II・12・B	安山岩	S-28
17	S2 24	覆土	11.35	2.9	5.75	270.9	II・12・B	安山岩	S-31
18	S2 24	覆土	10.4	8.3	1.3	178.5	II・12・D	閃綠岩	S-10
19	S2 24	覆土	8.9	3.5	3.2	394.0	II・12・B	安山岩	S-49
国73-1	S2 24	覆土	11.4	8.65	2.3	285.0	II・12・C	安山岩	S-39
2	S2 24	覆土・床直	13.3	6.7	3.9	478.5	II・12・B	閃綠岩	S-56・58
3	S2 24	確認面	11.15	10.4	2.7	500.6	II・12・B	闊灰岩	S-2
4	S2 24	覆土	13.05	8.5	2.6	459.2	II・12・B	闊山岩	S-22
5	S2 24	覆土	9.3	6.6	2.6	213.5	II・12・B	闊山岩	S-41 両面鏡
国73-11	S2 25	覆土	7.8	5.3	3.3	202.2	II・12・B	闊灰岩	
12	S2 25NPB	覆土	5.4	2.7	1.0	13.7	I・3・A	珪質頁岩	測定1
国82-4	S2 26	確認面	3.0	1.1	0.4	1.2	I・1・C	珪質頁岩	S-2
5	S2 26	確認面	4.0	1.2	0.5	2.1	I・1・C	珪質頁岩	S-7
6	S2 26	確認面	2.6	1.1	0.5	1.1	I・1・C	珪質頁岩	S-15
7	S2 26	確認面	3.2	1.6	0.7	3.1	I・1・D	珪質頁岩	S-14
8	S2 26	確認面	6.2	1.6	0.7	5.3	I・1・C	珪質頁岩	S-11
9	S2 26	覆土	2.9	1.5	0.4	1.4	I・1・B・2)	珪質頁岩	S-17
10	S2 26	覆土	5.4	3.3	1.2	12.9	I・3・A	珪質頁岩	S-11
11	S2 26	覆土	5.4	3.5	1.6	15.2	I・3・A	珪質頁岩	S-25
12	S2 26	確認面	4.9	1.3	0.7	2.0	I・3・A	珪質頁岩	S-13 小型
13	S2 26	覆土	6.1	2.3	0.8	9.3	I・3・A	珪質頁岩	S-17
14	S2 26	覆土	2.9	2.0	0.9	4.0	I・8	珪質頁岩	
15	S2 26	確認面	4.8	6.2	1.2	29.3	I・3・B	珪質頁岩	S-2
16	S2 26	覆土	2.1	0.95	0.5	0.6	I・5・B	珪質頁岩	
国83-1	S2 26	覆土	4.5	5.1	1.2	22.4	I・8	珪質頁岩	
2	S2 26	確認面	10.65	6.75	3.2	313.8	II・12・C	安山岩	S-8
3	S2 26	確認面	10.3	7.2	2.6	261.4	II・12・D	ディサイト	S-12
4	S2 26	覆土	12.65	6.8	2.3	297.3	II・12・A	闊灰岩	
5	S2 26	覆土	9.5	7.0	4.3	342.1	II・12・B	安山岩	
6	S2 26	覆土	7.2	2.75	5.1	111.3	II・12・B	安山岩	
7	S2 26	覆土	11.3	7.3	1.5	229.6	II・12・D	闊灰岩	S-10
8	S2 26	確認面	11.5	7.3	2.3	259.5	II・12・D	ディサイト	S-6
国85-3	S2 28	覆土	4.1	1.15	0.4	1.5	I・1・C	珪質頁岩	S-16
4	S2 28	覆土	3.7	1.65	0.55	2.3	I・1・B・2)	珪質頁岩	S-14
5	S2 28	覆土	3.6	1.9	0.9	4.1	I・1・B・2)	珪質頁岩	S-13
6	S2 28	4側	4.1	2.2	0.9	5.3	I・4・C	珪質頁岩	S-19
7	S2 28	覆土	6.3	5.1	1.7	34.8	I・8	珪質頁岩	
8	S2 28	覆土	4.9	1.85	0.45	3.9	I・3・A	珪質頁岩	S-9
9	S2 28	覆土	10.0	7.1	6.2	533.2	II・12・B	闊山岩	S-3
10	S2 28	覆土	43.8	31.8	18.2	31100	II・5	ディサイト	S-6
11	S2 28	覆土	13.55	7.35	4.6	636.4	II・12・C	安山岩	S-12
国86-1	S2 28	覆土	8.2	7.8	1.8	122.2	II・12・D	闊山岩	S-24
2	S2 28	覆土	11.7	7.3	3.6	366.4	II・12・D	安山岩	S-1
国86-9	S2 29	覆土	3.9	2.3	0.6	3.7	I・8	珪質頁岩	測定1
10	S2 29	覆土	4.45	3.0	1.7	11.6	I・8	珪質頁岩	
国91-6	S2 30	覆土	2.5	2.1	0.55	2.3	I・1・A・1)	珪質頁岩	
国91-7	S2 30	覆土	2.9	1.5	0.4	1.2	I・1・A・1)	珪質頁岩	
8	S2 30	覆土	3.35	2.0	0.5	2.1	I・1・A・2)	珪質頁岩	S-11
9	S2 30	覆土	2.8	2.1	0.4	1.5	I・8	珪質頁岩	
10	S2 30	覆土	2.7	0.8	0.4	0.7	I・5・A	珪質頁岩	S-8

調査番号	出上位置	層位	計測値(cm)	重識(g)	分類	石質	備考
11	S130	覆土	3.9	1.4	0.6	2.3	I-3-A
12	S130	覆土	3.1	2.15	0.7	5.1	I-8
13	S130	覆土	5.3	2.3	0.7	7.0	I-8
14	S130	覆土	10.0	5.6	1.1	69.9	II-12-D
15	S130	覆土	6.0	5.95	2.5	110.3	II-12-D
国92-1	S130	DV層上部	18.9	9.2	1.4	621.4	II-12-D
2	S130	覆土	11.4	6.9	2.6	229.4	II-12-D
3	S130	覆土	4.45	2.15	3.1	35.6	II-12-A
国94-4	S132	覆土	8.2	4.85	1.6	45.9	I-8
5	S132	覆土	6.85	5.6	3.1	139.8	II-12-B
6	S132	覆土	9.5	8.1	4.3	438.0	II-12-C
7	S132	覆土	16.45	9.95	10.5	2088.6	B-13
8	S132	覆土	26.35	15.7	9.6	8.0	B-13
国96-1	S133	床下	3.2	1.65	0.4	1.4	I-1-A(2)
2	S133	覆土	3.6	2.4	0.7	6.3	I-8
3	S133	覆土	11.9	8.2	2.9	413.3	II-12-D
4	S133	覆土	11.0	7.0	2.2	242.1	II-12-D
5	S133	床下	8.5	7.1	2.4	504.0	II-12-D
6	S133	覆土	11.5	6.8	1.7	214.9	II-12-D
7	S133	床下	10.0	7.1	2.0	200.0	II-12-D
8	S133	床下	13.7	7.5	3.7	502.9	II-12-D
9	S133	覆土	18.7	14.7	5.7	2044.9	II-13
10	S133	覆土	18.3	12.25	7.20	2739.8	II-13
11	S133	覆土	7.0	5.95	2.7	105.1	II-12-D
国98-4	S136	覆土	4.6	1.75	1.7	7.7	I-1-B(2)
5	S136	覆土	2.6	1.9	0.4	1.8	I-8
国99-5	S137	覆土	2.8	1.0	0.45	1.1	I-1-D
6	S137	覆土	4.5	1.7	0.8	3.6	I-1-B(2)
7	S137	覆土	7.85	1.1	1.2	6.9	I-8
8	S137	覆土	3.0	2.5	0.4	2.9	I-8
9	S137	覆土	8.5	6.3	2.2	144.0	II-12-D
10	S137	覆土	9.6	6.85	4.3	384.9	II-12-B
11	S137	覆土	5.3	2.25	1.55	16.7	I-8
国162-7	S140	覆土	3.0	1.6	0.5	1.8	I-1-A(2)
8	S140	覆土	3.0	1.4	0.55	1.7	I-1-A(2)
9	S140	3耕	2.8	1.5	0.7	2.1	I-1-D
10	S140	床面	3.5	1.4	0.5	2.1	I-1-D
11	S140	覆土	3.4	1.7	0.45	2.1	I-1-D
12	S140	1耕	3.9	1.3	0.5	1.8	I-1-B(2)
13	S140	床面	5.4	3.0	1.9	25.3	I-4-C
14	S140	6耕	6.0	2.85	1.6	24.2	I-4-C
15	S140	3耕	5.3	2.3	1.25	10.7	I-5-A
16	S140	3耕	4.8	1.9	1.3	9.7	I-5-A
17	S140	覆土	5.0	1.5	1.15	5.9	I-5-B
18	S140	床面	6.2	4.5	1.6	35.8	I-8
国103-1	S140	5耕	3.0	3.3	1.7	17.2	I-6
2	S140	覆土	6.6	8.8	2.1	81.2	I-8
3	S140	3耕	4.9	2.6	0.9	7.6	I-8
4	S140	覆土	5.5	5.4	2.3	65.9	I-8
5	S140	3耕	4.3	3.6	1.0	13.0	I-8
6	S140	覆土	4.5	2.5	0.8	7.2	I-8
7	S140	床面	8.6	8.3	4.2	555.8	II-12-B
8	S140	貼床下	7.35	7.4	4.3	3014.4	II-12-A
9	S140	覆土	8.6	7.3	3.0	259.0	II-12-A
10	S140	覆土	10.2	7.95	3.4	302.8	II-12-A
2	S140	確認面	10.9	6.9	5.7	728.2	II-12-B
3	S140	確認面	9.7	7.4	2.5	260.6	II-12-B
4	S140	床面	11.45	6.95	3.9	489.6	II-12-B
5	S140	3耕	7.0	6.6	3.4	292.5	II-12-C
6	S140	貼床下	10.9	8.05	3.6	414.7	II-12-B
7	S140P109	覆土	9.85	6.6	4.9	397.3	II-12-B
8	S140	6耕	8.2	6.2	3.5	254.0	II-12-A
9	S140	床面	9.6	9.15	2.6	431.8	II-12-B
10	S140	5耕	8.0	4.7	4.3	171.2	II-12-A
11	S140	貼床下	11.7	7.75	2.7	357.1	II-12-D
12	S140	床面	13.2	5.7	2.5	214.9	II-12-D
国105-1	S140	覆土	8.35	6.6	3.15	197.5	II-12-D
2	S140	床面	8.8	6.5	2.7	253.6	II-12-D
3	S140	床面	7.5	5.65	2.3	107.1	II-12-D
4	S140	1耕	8.65	7.0	3.6	297.7	II-12-D
5	S140	2耕	7.7	9.45	2.0	177.6	II-12-D
国105-11	S141P109	覆土	7.5	1.5	0.6	2.5	I-1-B(2)
国106-9	S142	確認面	2.8	1.9	0.5	1.7	I-1-A(2)
10	S142	確認面	1.225	9.55	3.0	518.1	II-12-B
国106-6	S143	覆土	2.0	1.3	0.5	1.1	I-1-B(2)
8	S143	床面	1.43	0.83	0.5	300.1	II-12-B
9	S143	1耕	3.2	4.2	1.7	22.5	I-8
国109-10	S144	覆土	2.25	1.5	0.4	0.8	I-1-A(1)
11	S144	床面	2.85	1.2	0.5	1.4	I-1-B(2)
12	S144	1耕	3.45	1.2	0.7	2.5	I-1-B(2)

回収番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
13	SI-44	覆土上	6.35	2.4	1.1	9.7	I-5-A	珪質頁岩	S-4
14	SI-44	複底面	3.85	1.9	0.9	5.3	I-5-A	珪質頁岩	
15	SI-44	覆土	2.8	1.4	0.6	1.6	I-8	頁岩	
16	SI-44	覆土	2.8	4.0	0.9	5.9	I-8	珪質頁岩	
回111-7	SI-47	覆土	1.9	1.55	0.35	0.8	I-1-A,2	珪質頁岩	S-3
8	SI-47	覆土	4.1	6.2	1.5	25.3	I-3-B	珪質頁岩	S-1
9	SI-46	覆土	10.3	10.2	2.8	342.9	II-12-D	安山岩	S-1
回113-8	SI-48	覆土	3.2	1.6	0.4	1.6	I-1-A,2	珪質頁岩	S-14
9	SI-48	1脚	3.6	1.4	0.7	1.9	I-1-B,2	珪質頁岩	S-6
10	SI-48	覆土	4.9	2.1	1.0	6.5	I-3-A	珪質頁岩	S-10
11	SI-48	覆土	5.4	3.1	1.1	15.9	I-8	頁岩	S-11
回114-1	SI-48	1脚	2.75	2.9	0.9	4.6	I-8	珪質頁岩	
2	SI-48	覆土	7.5	2.4	1.45	45.5	II-11	緑色板灰岩	S-13
3	SI-48	1脚	4.5	2.0	1.2	15.4	II-11	緑色板灰岩	S-3
4	SI-48	覆土	10.05	8.95	3.4	374.0	II-12-B	安山岩	S-15 両面磨き
5	SI-48	2脚	8.9	4.9	2.4	174.4	II-11	緑色板灰岩	S-7
6	SI-48	覆土	10.4	7.05	1.7	188.5	II-12-D	流紋岩	S-17
7	SI-48	床面	12.05	7.4	3.2	394.9	II-12-D	流紋岩	S-21
8	SI-48	1脚	9.5	7.25	3.0	242.0	II-12-D	鶴見玄武岩	S-2
9	SI-48	2脚	10.4	9.5	2.9	378.5	II-12-D	安山岩	S-6
10	SI-48	覆土	15.45	7.75	2.6	536.3	II-12-D	安山岩	S-19
回115-5	SI-49	2脚	3.1	1.7	0.5	1.8	I-1-B,2	珪質頁岩	S-26 アスファルト付着
6	SI-49	床面	4.4	1.7	1.0	4.8	I-1-B,2	珪質頁岩	S-16
7	SI-49	1脚	5.0	3.8	1.1	20.6	I-8	珪質頁岩	S-7
8	SI-49	覆土	9.6	6.35	3.0	252.2	II-12-B	安山岩	S-15 滅海、両側面磨き
9	SI-49	床面	9.2	7.4	6.0	540.3	II-12-B	安山岩	S-25 滅海磨き
10	SI-49	覆土	7.5	5.15	2.65	101.3	II-12-B	安山岩	S-14
11	SI-49	1脚(確認用)	7.6	3.3	3.3	121.5	II-12-B	安山岩	S-8
12	SI-49	床面	16.4	9.2	4.8	730.9	II-12-D	デイサイト	S-12
13	SI-49	1脚(確認用)	8.25	7.65	2.15	199.1	II-12-D	流紋岩	S-2

土坑 石器観察表

回収番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
回118-5	SK-15	1脚	3.6	1.3	0.85	2.6	I-1-B,2	珪質頁岩	
6	SK-15	1脚	2.55	1.5	0.4	1.6	I-1-B,2	珪質頁岩	
7	SK-15	覆土	3.8	1.8	1.5	9.4	I-8	頁岩	S-8
8	SK-15	1脚	3.9	3.4	1.3	19.8	I-6	珪質頁岩	S-2
9	SK-15	1脚	6.6	5.2	3.1	152.4	B-11	緑色細粒板灰岩	S-15
10	SK-15	底面	4.9	1.55	0.9	12.4	B-11	凝灰岩	S-2
11	SK-15	1脚	6.0	6.6	4.8	197.4	II-12-B	安山岩	S-14
12	SK-15	1脚	11.7	10.4	4.3	639.5	II-12-B	安山岩	S-23
13	SK-15	覆土	10.95	8.8	3.7	543.2	II-12-D	安山岩	S-5
14	SK-15	1脚	14.8	6.95	4.65	812.5	II-12-D	安山岩	S-19
15	SK-15	1脚	8.95	8.15	1.8	240.4	II-12-D	デイサイト	S-16
回119-13	SK-21	底面	14.2	6.3	4.7	638.7	II-12-A	地獄砂岩	S-1
回123-5	SK-22	覆土	2.9	1.9	1.1	3.6	I-1-B,2	珪質頁岩	S-1
6	SK-22	7脚	6.0	3.0	1.1	14.1	I-3-A	珪質頁岩	S-8
7	SK-22	6脚	5.35	2.9	1.7	17.2	I-8	珪質頁岩	
8	SK-22	1脚	9.7	4.0	1.4	98.4	II-11	ホルンフェルス	S-6
9	SK-22	覆土	7.9	5.85	4.9	319.4	II-12-B	安山岩	
10	SK-22	1脚	7.4	7.55	5.1	279.5	II-12-B	安山岩	S-5
11	SK-22	6脚	11.8	8.1	7.3	903.9	II-12-C	安山岩	S-7
12	SK-22	覆土	11.5	9.5	2.4	336.6	II-12-D	安山岩	S-2
回124-3	SK-25	覆土	2.2	1.3	0.45	0.8	I-1-A,1	珪質頁岩	S-1
0225-4	SK-29	1脚	8.0	8.1	1.1	95.7	II-12-D	デイサイト	S-1
0227-9	SK-35	覆土	9.25	6.5	5.1	518.1	II-12-C	流紋岩	S-1
10	SK-35	覆土	4.5	1.8	0.8	4.9	I-1-B,2	珪質頁岩	S-2
回129-12	SK-36	覆土	2.1	1.5	0.4	0.7	I-1-B,2	珪質頁岩	S-13
13	SK-36	覆土	2.75	2.4	0.7	4.2	I-8	珪質頁岩	
14	SK-36	覆土	6.35	5.4	1.75	49.1	I-8	珪質頁岩	S-5
15	SK-36	覆土	3.4	2.8	1.3	12.6	I-8	珪質頁岩	
回130-1	SK-36	複底面	14.1	7.1	7.6	109.3	II-12-B	凝灰岩	S-11
2	SK-36	覆土	9.2	7.9	2.1	208.4	II-12-D	安山岩	S-10
3	SK-36	覆土	10.2	6.6	2.3	193.9	II-12-D	凝灰岩	S-1
4	SK-36	覆土	12.5	8.1	2.5	252.0	II-12-D	流紋岩	S-2
回130-7	SK-37	覆土	10.0	6.9	5.2	337.5	II-12-B	デイサイト	S-3
8	SK-37	覆土	15.7	6.3	4.3	597.2	II-12-C	流紋岩	S-4
回131-7	SK-43	覆土	7.1	3.0	1.4	21.3	I-8	珪質頁岩	S-1
回131-9	SK-45	底面	4.0	1.4	0.7	2.5	I-1-B,2	珪質頁岩	S-2
回131-10	SK-45	底面	13.9	8.7	6.1	1100.0	II-12-B	デイサイト	S-3 両面磨き
回132-6	SK-52	覆土	7.75	6.85	6.1	201.9	II-12-B	安山岩	S-2
回134-9	SK-79	覆土	13.4	9.9	3.2	490.0	II-12-B	安山岩	S-1
回135-3	SK-81	1脚	9.2	11.9	3.9	285.7	I-14	頁岩	S-6
回135-12	SK-85	覆土	2.8	1.5	0.75	2.4	I-1-B,2	珪質頁岩	S-1
0135-7	SK-97	底面	4.15	4.5	2.7	97.3	II-12-A	鶴見玄武岩	S-2
0138-10	SK-103	覆土	5.1	4.4	1.2	43.2	II-12-D	デイサイト	S-1
0139-6	SK-109	覆土	7.4	6.5	3.1	229.4	II-12-D	流紋岩	S-1
0140-5	SK-111	覆土	6.65	2.8	1.9	14.1	I-3-A	珪質頁岩	網片2
6	SK-111	覆土	2.9	1.5	0.5	1.8	I-5-A	珪質頁岩	網片12
7	SK-111	覆土	5.4	3.3	1.3	26.6	I-4-C	珪質頁岩	網片1

回版番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
8	SK-111	覆土	3.1	3.1	0.65	4.9	I-8	珪質頁岩	
9	SK-111	覆土	8.3	5.7	3.3	284.3	II-11	褐色變質岩	S-8
10	SK-111	覆土	8.95	6.55	3.4	291.9	II-12 C	安山岩	S-3

Pit群・集石1・砾群1 石器観察表

回版番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
國142-6	Pit群C	覆土	7.3	2.65	1.1	12.4	II-12 A	珪質頁岩	
7	Pit群C	1層	12.9	6.7	5.3	647.4	II-12 B	安山岩	画面彫刻
8	Pit群C	覆土	12.1	7.9	6.3	675.3	II-12 B	デイサイト	S-1
9	Pit群C	覆土	3.8	5.4	3.1	68.9	II-12 D	安山岩	S-1
國143-21	Pit群D	覆土	6.1	1.4	0.7		I-5 B	珪質頁岩	
國144-5	集石1	礫詰面	8.7	9.3	9.2	110.4	II-12 A	安山岩	S-94
6	集石1	礫詰面	13.8	9.3	4.5	865.8	II-12 C	安山岩	S-16
7	集石1	礫詰面	14.85	6.2	7.7	951.4	II-12 A	安山岩	S-58
8	集石1	礫詰面	12.8	16.0	7.1	1298.9	II-13	デイサイト	S-97
國145-1	集石1	礫詰面	12.5	9.7	10.0	1659.9	II-12 B	安山岩	S-100
2	集石1	礫詰面	17.1	12.5	10.1	2876.6	II-12 B	安山岩	S-95
3	集石1	礫詰面	15.7	12.1	5.6	1319.3	II-12 B	安山岩	S-129
4	集石1	礫詰面	8.3	12.0	5.7	612.9		安山岩	S-46
5	集石1	礫詰面	19.7	15.9	11.7	4794.6	II-13	安山岩	S-43
6	集石1	礫詰面	18.3	16.35	12.3	4750.0	II-13	安山岩	S-116
7	集石1	礫詰面	19.1	10.1	15.1	3279.6	II-13	安山岩	S-74
國146-9	礫群1	重側	10.1	7.25	5.2	552.6	II-12 B	安山岩	S-7
10	礫群1	重側	5.9	4.95	3.6	140.3	II-12 A	安山岩	S-23
11	礫群1	重側	10.0	7.75	1.85	188.1	II-12 D	閃綠岩	S-19
12	礫群1	重側	9.55	10.3	5.1	654.1	II-12 B	安山岩	S-3
13	礫群1	重側	14.4	9.15	5.1	913.0	II-12 B	海灰岩	S-12
14	礫群1	重側	13.8	6.6	3.9	359.9	II-12 D	安山岩	S-36
15	礫群1	重側	5.4	8.2	3.3	186.9	II-12 D	閃綠岩	S-64

捨て場区域 土器観察表

回版番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
國177-1	MY 92	重側	2.5	1.15	0.4	0.8	I-1 A(1)	珪質頁岩	S-12
2	MZ 92	重側	2.4	1.9	0.5	1.7	I-1 A(1)	珪質頁岩	S-37
3	MY 92	重側	3.1	1.9	0.5	3.0	I-1 A(1)	珪質頁岩	S-22
4	NC 94	DIV側上面	4.5	1.9	0.5	3.2	I-1 A(2)	珪質頁岩	S-27
5	NA-93	DIV側上面	3.2	2.5	0.4	2.4	I-1 A(2)	珪質頁岩	S-10
6	NA-94	DIV側上面	3.1	1.5	0.3	1.6	I-1 D	珪質頁岩	S-9
7	MY 92	重側	3.5	1.6	0.5	2.3	I-1 C	珪質頁岩	S-4
8	MZ 93	重側	3.4	1.2	0.4	1.9	I-1 C	珪質頁岩	S-7
9	NB-94	重側	4.55	1.5	0.35	1.8	I-1 D	珪質頁岩	S-19
10	MY 92	重側	6.7	2.5	1.4	29.2	不明	珪質頁岩	S-15
11	NC-94	DIV側上面	7.1	2.4	1.1	15.2	I-3 A	珪質頁岩	S-26
12	MN-92	重側	7.1	1.9	1.0	10.9	I-3 A	珪質頁岩	S-4
13	NA-93	重側	8.1	2.15	1.0	14.6	I-3 A	珪質頁岩	S-5
14	MN-91	重側	9.1	2.0	1.1	11.7	I-3 A	珪質頁岩	S-14
15	MZ-93	重側	5.5	2.1	0.7	6.3	I-3 A	珪質頁岩	S-11
16	NB-93	重側下位	5.2	1.15	0.8	4.1	I-3 A	珪質頁岩	S-16
17	MY 92	重側	6.15	2.6	0.7	9.4	I-3 A	珪質頁岩	S-16
18	NC-94	重側	2.8	2.1	0.7	3.3	I-3 A	珪質頁岩	S-24
19	NB-94	重側	2.5	2.25	0.5	0.7	I-3 B	珪質頁岩	S-5
20	NC-94	重側	5.8	3.0	0.7	11.3	I-3 B	珪質頁岩	S-22
21	NA-93	DIV側上面	3.1	3.05	0.6	2.7	I-3 B	珪質頁岩	S-16
22	MY-92	重側	4.9	2.7	0.75	7.0	I-3 B	珪質頁岩	
23	MZ-93	重側	3.0	5.2	1.0	8.8	I-3 B	珪質頁岩	
24	MN-92	重側下位	3.1	5.0	0.8	8.5	I-3 B	珪質頁岩	S-9
25	MY-92	重側	4.8	2.6	1.0	6.9	I-3 A	珪質頁岩	S-18
26	MY-91	重側	8.5	3.5	2.05	586	I-4 A	珪質頁岩	S-18
國178-1	MZ 92	重側	4.5	2.5	1.0	7.4	I-4 C	珪質頁岩	
2	MZ 93	DIV側上面	6.5	2.9	1.4	22.8	I-4 A	頁岩	S-16
3	MZ 93	重側	8.8	3.2	1.55	39.5	I-4 C	珪質頁岩	S-8
4	MW-91	1層	2.9	1.65	0.4	3.8	I-5 A	頁岩	S-12
5	ND-94	重側	3.5	1.8	0.75	3.4	I-5 A	珪質頁岩	
6	MN-92	重側	3.55	1.2	0.7	2.3	I-5 B	珪質頁岩	S-5
7	MY-92	重側	3.9	0.9	0.5	1.8	I-5 B	珪質頁岩	
8	NA-93	重側	3.3	1.2	0.35	0.8	I-5 A	珪質頁岩	S-7
9	MZ-92	1層	3.5	1.3	0.65	2.3	I-5 A	珪質頁岩	
10	NA-92	重側	3.3	1.6	0.6	2.5	I-5 A	珪質頁岩	S-55
11	MZ-92	重側	5.1	1.4	0.8	4.9	I-5 B	珪質頁岩	S-50
12	MZ-92	重側	4.9	3.3	1.0	13.6	I-5 B	珪質頁岩	S-18
13	MZ-93	重側	5.5	6.5	4.2	155.9	I-10	頁岩	
14	MY-92	重側	4.8	1.4	0.65	2.9	I-7	珪質頁岩	S-9
15	NA-93	重側下位	2.7	0.6	0.4	0.7	I-8	珪質頁岩	
16	NA-92	重側下位	3.8	4.3	1.9	30.9	I-6	頁岩	
17	NB-93	重側下位	5.9	4.1	0.8	15.2	I-8	頁岩	S-8
18	NB-93	重側	3.5	2.5	1.0	6.5	I-8	珪質頁岩	S-12
19	MZ-92	重側	4.8	2.0	0.6	3.6	I-8	頁岩	
國179-1	NA-92	重側上位	11.5	4.7	4.2	271.8	II-12 A	安山岩	S-15

団体番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
2	MZ 93	Ⅳ層上・面	13.7	7.0	3.9	513.9	Ⅱ-12-A	安山岩	S-18
3	NF 93	Ⅲ層	10.95	7.5	2.6	268.9	Ⅱ-12-B	安山岩	S-1
4	NF 93	Ⅲ層	16.8	12.9	8.7	1678.6	Ⅱ-14	輝灰岩	
5	NC 93	Ⅲ層	18.8	7.3	3.3	580.0	Ⅱ-12-D	安山岩	S-12
6	NB 93	Ⅳ層上・面	16.7	8.0	2.6	473.1	Ⅱ-12-D	海綿岩	S-1
7	MZ 92	Ⅲ層	16.0	7.5	2.9	510.0	Ⅱ-12-D	和田岩	S-54
国189-1	ND-93	Ⅲ層	14.9	5.6	2.7	220.8	Ⅱ-12-D	砂岩	S-7
2	NA-94	Ⅲ層	13.4	8.3	3.5	490.7	Ⅱ-12-D	粗粒玄武岩	S-4
3	MZ-92	Ⅲ層	19.1	9.9	3.9	981.0	Ⅱ-12-D	安山岩	S-52
4	MY-92	Ⅲ層	13.3	8.9	2.3	329.0	Ⅱ-12-D	デイサイト	
5	MZ-93	Ⅲ層	9.9	7.1	2.3	208.5	Ⅱ-12-D	粗粒玄武岩	S-6
6	NA-94	Ⅲ層	14.7	8.2	2.6	203.8	Ⅱ-12-D	安山岩	S-8
7	NA-94	Ⅲ層	11.1	5.0	1.85	135.1	Ⅱ-12-D	飛石	S-7
8	MZ-92	Ⅲ層	9.5	6.1	2.3	160.0	Ⅱ-12-D	安山岩	S-48

盛り土区域 石器観察表

団体番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
国189-1	MS-85	Ⅲ層(盛土)	2.5	1.4	0.4	1.4	I-1-C	珪質頁岩	S-18
2	MG-84	Ⅲ層(盛土)	2.6	1.4	0.5	1.6	I-1-C	珪質頁岩	S-6
3	MG-84	Ⅲ層(盛土)	2.9	2.1	0.7	4.8	I-1-C	珪質頁岩	S-2
4	MG-84	Ⅲ層(盛土)	2.55	1.2	0.4	0.7	I-1-C	珪質頁岩	S-5
5	MI-85	Ⅲ層(盛土)	3.5	1.6	0.7	3.5	I-1-D	珪質頁岩	S-4
6	MI-85	Ⅲ層(盛土)	4.3	1.5	0.5	2.8	I-1-D	珪質頁岩	
7	MI-85	Ⅲ層	3.7	1.7	0.6	2.1	I-1-B-2	珪質頁岩	S-3
8	MI-85	Ⅲ層	8.3	1.7	1.0	13.2	I-2-B	珪質頁岩	S-13
9	MI-85	Ⅲ層(盛土)	8.0	3.1	1.0	20.6	I-3-A	珪質頁岩	S-15
10	MI-85	Ⅲ層	3.0	1.95	0.9	2.2	I-5-A	珪質頁岩	
11	MI-85	Ⅲ層(盛土)	1.5	2.2	0.5	0.6	I-7	黒曜石	S-16
12	MI-85	Ⅲ層(盛土)	3.6	4.7	1.0	8.6	I-3-B	珪質頁岩	S-9
13	MG-84	Ⅲ層	11.4	10.4	5.5	805.0	Ⅱ-12-C	安山岩	S-14
14	MI-85	Ⅲ層	13.1	8.7	3.8	439.7	Ⅱ-12-B	安山岩	S-1
15	MI-85	Ⅲ層(盛土)	11.2	6.9	2.7	276.9	Ⅱ-12-D	粗粒玄武岩	S-7
16	NI-85	Ⅲ層(盛土)	10.25	6.0	2.4	205.1	Ⅱ-12-D	輝灰岩	S-9

遺構外 石器観察表

団体番号	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
			長さ	幅	厚さ				
国200-1	MR-90	Ⅲ層	2.25	1.7	0.4	1.1	I-1-A-1	珪質頁岩	S-2
2	NG-95	I層	3.05	1.75	0.65	2.2	I-1-A-1	珪質頁岩	
3	NC-93	Ⅲ層	5.4	2.2	0.6	5.7	I-1-A-1	珪質頁岩	SK-02から変更
4	MW-91	Ⅲ層	1.8	1.4	0.2	0.6	I-1-A-2	珪質頁岩	S-2
5	MN-88	Ⅲ層	2.55	1.3	0.6	1.3	I-1-B-2	珪質頁岩	S-3
6	EIKトレンチ	I層	3.3	1.5	0.4	1.6	I-1-B-2	珪質頁岩	
7	MO-88	Ⅲ層	3	1.45	0.5	1.2	I-1-D	珪質頁岩	
8	MZ-92	I層	2.2	1.85	0.5	1.9	I-1-B-2	珪質頁岩	
9	MY-92	I層	3.9	1.75	0.7	2.9	I-1-B-1	珪質頁岩	
10	EIKトレンチ04	Ⅲ層	6.9	1.5	0.8	6.0	I-2-B	珪質頁岩	
11	MV-91	I層	2.8	5.7	1.0	8.6	I-3-B	珪質頁岩	
12	EIKトレンチ02	I層	3.1	5.45	1.05	11.1	I-3-B	珪質頁岩	
13	EIKトレンチ05	I層	4.5	2.5	1.25	13.1	I-4-B	珪質頁岩	
14	NJ-96	Va層	5.3	2.8	1.3	20.8	I-4-B	飛石	
15	SKトレンチ01	I層	7.6	2.9	1.3	28.9	I-4-A	珪質頁岩	
16	SKトレンチ02	I層	5.9	1.9	1.2	9.8	I-5-A	珪質頁岩	
17	MG-83	Ⅲ層	4.1	1.7	0.75	4.6	I-5-A	珪質頁岩	
18	MW-91	I層	3.4	1.9	0.6	3.8	I-5-A	飛石	
19	MF-89	Ⅲ層	4.1	1.8	1.2	6.1	I-5-B	珪質頁岩	
20	NC-98	Ⅲ層	6.1	2.7	1.3	15.7	I-5-A	珪質頁岩	
21	NA-93	I層	3.4	3.1	1.1	10.3	I-5-A	黒曜石	
22	NJ-96	Va層	3.2	3.6	1.3	16.8	I-6	珪質頁岩	
23	NH-95	I層	11.5	7.3	2.9	343.7	II-12-C	安山岩	
24	NJ-96	I層	10.8	6.0	3.4	291.9	II-12-C	安山岩	
国201-1	MO-88	Ⅲ層	11.2	6.3	2.4	293.9	II-12-A	粗粒玄武岩	
2	MV-91	I層	13.6	7.0	4.3	554.0	II-12-C	石英安山岩	
3	SK	表段	11.95	8.0	2.7	396.4	II-12-D	石英安山岩	
4	MV-92	Ⅲ層	10.3	5.8	4.0	335.8	II-12-C	安山岩	
5		II	11.8	7.0	8.9	911.1	II-12-E	飛石	
6	SK	表段	8.8	12.2	5.9	911.0	II-12-E	飛石	
7	NE-95	I層	27.7	23.4	13.0	9000.0	B-13	安山岩	
8	NB-92	I層	35.6	22.0	13.0	12000.0	B-14	デイサイト	S-1

土偶觀察表

図版番号	出土地点	部位	計測値(cm)			重量(g)	備考
			長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)		
国202-1	SI-11	1脚	(14.4)	(7.7)	3.2	242.5	
2	MR-90	墨網	(4.8)	(4.0)	2.2	31.7	
3	MV-90	1脚	(2.0)	(2.8)	0.9	3.0	
4	MF-89	墨網	(4.2)	(3.4)	1.2	8.7	
5	SI-16	1脚	(8.5)	(9.6)	1.8	113.4	C-1
6	SI-40	覆土	(3.3)	(3.1)	1.1	9.9	P-6
7	SI-40	5脚	(5.3)	(5.3)	1.2	26.3	C-1
8	SI-16	1脚	(6.9)	(5.6)	2.7	47.4	C-2

円盤状土製品觀察表

図版番号	出土地点	部位	計測値(cm)			重量(g)	備考
			長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)		
国203-1	SI-18	覆土	(2.3)	4.3	1.1	15.4	有孔
2	SI-11	3脚	3.4	3.4	0.9	9.7	有孔、縫隙孔、円盤1
3	SI-11	3脚	4.0	4.3	1.1	23.0	有孔、円盤2
4	SI-28	覆土	6.1	5.9	0.8	26.4	有孔、1脚品1
5	SI-11	3脚	4.1	4.5	1.2	22.8	有孔、C-1
6	SI-43	覆土	7.1	5.9	1.1	49.9	有孔
7	MG-83	墨網	4.3	4.8	0.8	21.4	穿孔途中
8	SI-11	2脚	2.4	2.7	1.2	9.6	穿孔途中
9	MI-84	墨網	3.8	4.0	1.2	22.7	穿孔途中
10	SI-13	底面	2.0	2.1	0.9	2.8	
11	SI-13	1脚	2.2	2.1	1.1	5.8	
12	SI-11	1脚	2.0	2.2	0.9	4.9	
13	ND-95	墨網	2.2	2.5	1.0	4.2	
14	SI-11	1脚	2.2	2.0	1.2	6.0	
15	MI-84	墨網(底上)	2.8	2.8	0.5	5.0	
16	SI-40	駆床下	2.6	2.8	1.1	9.0	底部片利用
17	SI-40	駆床下	3.5	3.3	0.9	10.6	
18	SI-48	覆土	3.5	3.4	0.8	10.7	
19	SI-24	確認面	3.2	3.0	1.1	10.6	P-3
20	NA-92	1脚	3.0	3.2	1.3	11.1	
21	MI-85	墨網(底上)	3.4	3.5	1.2	14.4	
22	ND-94	墨網片	4.8	4.8	0.9	18.3	
23	MT-90	1脚	3.6	3.6	0.9	10.6	
24	SI-29	覆土	3.9	3.7	0.9	14.9	
25	NC-93	IV脚上面	3.6	4.0	1.1	17.5	
26	SI-13	1脚	4.6	4.9	1.0	20.7	
国204-27	SI-30	覆土	3.8	4.3	1.1	20.5	P-30
28	MZ-92	1脚	4.0	4.1	1.2	22.5	
29	MZ-92	墨網	4.3	4.6	1.0	25.4	大木系
30	SI-23	覆土	4.7	4.8	1.0	20.7	
31	NA-92	1脚	6.1	6.2	0.9	26.9	
32	SI-24	覆土	4.4	4.0	1.1	20.9	
33	CKトレンチ03	1脚	4.8	4.7	1.0	27.6	
34	MU-91	墨網	5.2	5.2	1.0	35.4	
35	SI-11	覆土	7.6	7.6	1.0	56.6	口縫部片利用
36	SI-11	3脚	6.6	7.3	1.2	71.4	P-138
37	NB-94	墨網	6.0	7.0	1.2	52.8	底部片利用

その他 土製品觀察表

図版番号	出土地点	部位	計測値(cm)			重量(g)	備考
			長さ	幅	厚さ		
国205-1	SI-42	覆土	(1.0)	(1.0)	(底面)		
2	ND-95	1脚	(2.2)	2.2	1.5	5.5	C-1、内部黒変
3	NE-95	墨網	2.3	2.3	0.7	3.9	
4	MO-88	墨網	(3.7)	(2.5)	0.7	6.6	
5	NB-93	1脚	(2.0)	(1.9)	1.9	6.0	C-1
6	NG-95	1脚	—	1.6	2.2	10.0	
7	ND-94	1脚	4.2	4.1	(2.2)	24.4	
8	MK-86	墨網	(4.5)	(3.4)	(1.6)	21.4	
9	NC-93	IV脚上面	—	3.2	1.5	20.8	
10	ND-93	IV脚上面	2.8	1.1	1.1	3.0	
11	CKトレンチ05	1脚	2.4	1.5	1.0	2.5	裏面に竹管の圧痕?
12	MV-91	1脚	6.9	7.1	2.7	113.2	C-1、上部黒変?
13	SI-24	覆土	4.2	3.2	1.0	8.9	P-40
14	CKトレンチ05	1脚	2.2	1.5	1.5	4.0	

石製品観察表

固版番号	器種	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
				長さ	幅	厚さ				
国206-1	刃物	MX-92	I層	3.0	0.6	0.9	16.9	凝灰岩		
2	刃物	MX-91	I層	2.5	0.6	0.9	1.3	凝灰岩	S-5	
3	石製品	SI-24	覆土	5.2	4.3	1.0	15.4	砂岩	研磨	
4	石製品	SI-48	I層	3.5	4.7	0.6	12.9	流紋岩	研磨, 披塗	
5	石製品	MP-21	側面(覆土)	2.4	3.0	1.0	6.8	珪質長石	S-1 研磨	
6	石製品	NC-93	IV層(上面)	2.9	3.2	0.5	7.3	チャート	研磨	
7	石製品	SI-18	覆土	4.6	2.9	1.2	16.0	チャート	研磨	
8	石製品	MX-92	I層	5.0	2.5	1.7	16.8	凝灰岩	穿孔	
9	石製品	SI-43	床面	7.2	4.7	2.3	112.3	チャート	S-13 研磨	
10	石製品	MM-88	I層	6.8	4.4	1.6	67.3	安山岩	研磨	
11	石製品	SI-18	覆土	2.3	1.9	0.9	5.6	アルゴマ砂岩	両端部打ち欠き	
12	石製品	SI-21	確認面	4.4	1.4	0.3	2.8	板岩	未貫通孔	
13	石製品	MS-99	Ⅲ層	5.2	3.6	0.7	17.8	安山岩	披塗	
14	石棒	SI-40	床面	40.7	5.4	5.2	4301.4	安山岩	S-84 両端部欠損	
15	石棒	SI-18	石側面(覆土)	39.2	13.3	7.4	6120.4	安山岩	S-14 両端部欠損, 側面打ち欠き	
16	石棒	SI-18	上端部設切	11.2	14.1	5.6	165.81	安山岩	S-1 両端部欠損	
国207-1	解石製品	PI6.トレンチ	I層	6.1	4.8	3.0	19.7	A	解石	底面平滑
2	解石製品	ND-94	I層	8.6	5.7	3.4	49.4	A	解石	底面平滑
3	解石製品	SI-40	床面	5.3	5.5	3.6	24.6	A	解石	底面平滑
4	解石製品	SI-11	2層	4.7	4.7	2.5	12.8	A	解石	S-34
5	解石製品	SK-29	覆土	4.5	4.3	2.5	17.9	B	解石	両面未貫通孔
6	解石製品	SI-11	2層	4.8	5.0	2.6	15.8	B	解石	片面未貫通孔
7	解石製品	MZ-92	Ⅲ層	6.3	5.2	3.7	31.4	B	解石	貫通孔, 片面未貫通孔
8	解石製品	SK-22	覆土	2.8	2.8	1.9	10.7	B	解石	貫通孔
9	解石製品	SI-42	確認面	5.4	4.4	2.8	13.4	B	解石	貫通孔
10	解石製品	SI-13	1層	4.9	4.3	3.3	14.7	B	解石	両面未貫通孔
11	解石製品	SI-44	覆土	6.6	5.2	3.5	20.7	B	解石	端部未貫通孔
12	解石製品	SI-16	1層	10.4	10.6	6.8	241.4	B	解石	両面未貫通孔
13	解石製品	MU-91	I層	4.3	2.8	1.2	5.8	B	解石	片面未貫通孔
14	解石製品	SK-73	覆土	3.6	3.8	2.4	4.4	C	解石	
15	解石製品	SK-81	15層	4.8	5.5	3.4	21.0	C	解石	
16	解石製品	SK-15	確認面	4.0	4.5	2.3	8.0	C	解石	SI-206-1から変更
17	解石製品	SI-13	1層	7.6	6.3	1.5	21.5	C	解石	
18	解石製品	SI-11	3層	5.7	5.9	2.9	22.9	C	解石	
19	解石製品	NI-96	V面	5.3	5.4	2.1	13.1	C	解石	
20	解石製品	MJ-85	Ⅲ層	5.2	5.6	1.8	10.7	C	解石	
21	解石製品	SI-24	覆土	3.5	2.3	1.45	3.2	C	解石	
22	解石製品	SI-40	覆土	3.5	2.4	1.4	2.4	C	解石	
23	解石製品	NA-93	Ⅲ層	5.8	3.8	1.8	9.0	C	解石	
24	解石製品	SI-18	覆土	6.9	3.5	2.0	18.7	C	解石	
25	解石製品	SI-40	覆土	6.8	3.9	2.1	6.2	C	解石	
26	解石製品	SI-40	覆土	5.8	3.9	3.9	16.3	C	解石	
27	解石製品	SI-13	1層	5.4	4.0	4.3	22.0	C	解石	
28	解石製品	SK-71	覆土	3.9	3.6	2.1	6.6	C	解石	
29	解石製品	SI-44	6層	5.5	4.3	2.4	8.6	C	解石	
30	解石製品	SI-13	1層	5.8	3.4	3.4	18.7	C	解石	
31	解石製品	ND-94	IV層(上面)	4.1	3.7	1.8	6.2	C	解石	
国208-1	解石製品	ME-82	I層	7.2	5.4	3.4	35.3	C	解石	
2	解石製品	MM-87	Ⅲ層	7.7	4.0	3.8	22.5	C	解石	
3	解石製品	MZ-92	I層	4.5	5.3	3.1	13.4	C	解石	
4	解石製品	SI-37	覆土	7.3	5.1	2.5	16.0	C	解石	
5	解石製品	PI6.トレンチP83	覆土	3.8	2.7	1.4	6.2	C	解石	PI-424から変更
6	解石製品	MZ-92	Ⅲ層	3.8	2.7	1.4	3.5	C	解石	
7	解石製品	MZ-92	Ⅲ層	4.7	3.1	3.0	12.8	D	解石	S-28
8	解石製品	MX-92	I層	6.4	4.9	3.7	27.1	C	解石	
9	解石製品	NI-94	I層	7.2	5.7	3.1	28.6	C	解石	
10	解石製品	PI6.トレンチ	I層	8.9	7.4	4.9	78.8	C	解石	全体削磨
11	解石製品	SI-96	V面	9.4	5.9	4.2	40.1	C	解石	
12	解石製品	ND-94	Ⅲ層	8.0	5.6	5.2	52.2	C	解石	
13	解石製品	SI-13	1層	10.0	5.9	3.5	42.8	C	解石	
14	解石製品	MJ-86	Ⅲ層(覆土)	9.2	6.0	4.2	56.2	C	解石	
15	解石製品	SI-21	確認面	12.3	8.5	0.8	166.0	C	解石	
16	解石製品	MY-92	I層	8.2	8.1	5.8	92.5	C	解石	
17	解石製品	SI-13	1層	8.3	7.7	5.1	74.1	C	解石	
18	解石製品	ME-82	I層	5.5	7.3	4.1	36.5	C	解石	
19	解石製品	SK-81	12層	6.7	6.0	3.3	42.2	C	解石	S-3
20	解石製品	SI-16	1層	5.9	3.1	2.2	33.1	D	解石	全体削磨, 斜面溝状
21	解石製品	SI-18	床面	5.6	4.7	4.2	23.0	D	解石	
22	解石製品	ND-93	I層	12.7	8.0	4.3	94.4	C	解石	
23	解石製品	NA-93	Ⅲ層	12.1	10.6	7.2	140.5	C	解石	
国209-1	解石製品	NC-94	I層	15.5	9.3	7.3	304.1	C	解石	
2	解石製品	ND-95	Ⅲ層	14.7	9.3	6.4	149.2	C	解石	
3	解石製品	MW-90	I層	18.1	12.4	8.9	312.8	D	解石	
4	解石製品	MI-85	Ⅲ層(覆土)	9.3	8.7	4.5	96.2	D	解石	

図版番号	器種	出土位置	層位	計測値(cm)			重量(g)	分類	石質	備考
				長(L)	幅(W)	厚(S)				
5	軽石製品	MI-85	Ⅲ層	8.6	4.6	3.7	21.5	D	軽石	
6	軽石製品	SI-11PH12	8層	8.7	6.7	4.0	96.5	D	軽石	
7	軽石製品	MO-88	Ⅲ層上面	5.0	5.5	3.1	22.0	D	軽石	S-1
8	軽石製品	SI-27	1層	4.0	3.0	3.1	5.0	D	軽石	
9	軽石製品	SK-29	1層	4.7	4.0	2.1	10.8	D	軽石	
10	軽石製品	SK-30	1層	4.3	2.7	2.3	7.0	D	軽石	
11	軽石製品	MJ-86	Ⅲ層(盛上)	5.5	5.7	2.5	13.3	D	軽石	
12	軽石製品	SI-18	覆土	7.4	5.2	3.3	23.5	D	軽石	
13	軽石製品	SI-18	底面	11.5	12.0	7.1	172.5	D	軽石	
14	軽石製品	SI-42	覆土	6.4	5.7	2.7	20.0	D	軽石	
15	軽石製品	SK-29	1層	5.0	5.4	3.8	22.4	D	軽石	
16	軽石製品	SI-11	3層	7.0	5.1	3.8	24.1	D	軽石	
17	軽石製品	MI-85	Ⅲ層(盛上)	7.9	4.9	2.7	18.1	D	軽石	
18	軽石製品	SK-22	覆土	6.4	5.2	2.1	13.5	D	軽石	
19	軽石製品	SI-16	1層	4.8	4.0	2.2	12.0	D	軽石	
國210-1	軽石製品	SI-13	1層	4.1	3.3	2.1	7.9	D	軽石	
2	軽石製品	SI-18	覆土	6.6	4.1	3.2	20.6	D	軽石	
3	軽石製品	SK-113	覆土	4.8	3.7	1.9	7.3	D	軽石	
4	軽石製品	SK-113	覆土	2.5	1.8	1.3	2.0	D	軽石	
5	軽石製品	SI-11	2層	9.5	6.4	5.4	65.9	D	軽石	
6	軽石製品	MS-86	Ⅲ層(盛上)	8.5	5.1	4.1	21.7	D	軽石	
7	軽石製品	SI-13	1層	7.1	6.7	4.2	33.4	D	軽石	
8	軽石製品	SI-24	縫合面	11.2	8.7	4.0	95.1	D	軽石	
9	軽石製品	SI-11	2層	5.7	5.9	2.9	123.9	D	軽石	S-34
10	軽石製品	MV-91	Ⅲ層	11.0	8.3	4.4	84.8	D	軽石	
11	軽石製品	SI-26	覆土	9.1	5.4	3.4	30.5	D	軽石	
12	軽石製品	C区トランシ	1層	6.4	4.6	3.8	35.3	D	軽石	
13	軽石製品	SI-30	覆土	11.1	10.8	5.3	146.4	D	軽石	
14	軽石製品	MV-91	Ⅲ層	5.8	9.0	4.8	44.0	D	軽石	
15	軽石製品	MX-91	Ⅲ層	7.8	5.3	3.7	26.0	D	軽石	
16	軽石製品	NA-93	Ⅲ層	6.7	4.4	2.5	15.5	D	軽石	
17	軽石製品	NA-93	Ⅲ層下位	16.2	11.6	5.2	184.0	D	軽石	
18	軽石製品	SI-13	1層	9.9	6.5	5.6	102.4	D	軽石	
19	軽石製品	SI-13	1層	8.0	7.1	5.0	43.1	D	軽石	
國211-1	軽石製品	SI-26	覆土	29.0	20.6	17.0	235.0	D	軽石	
2	軽石製品	SI-49	覆土	10.2	8.7	7.4	186.3	D	軽石	
3	軽石製品	MN-87	Ⅲ層上面	12.2	10.6	5.3	155.1	D	軽石	S-2
4	軽石製品	MD-85	Ⅲ層(盛上)	6.0	4.1	2.9	12.1	D	軽石	
5	軽石製品	MF-83	Ⅲ層(盛上)	6.5	4.5	3.8	12.8	D	軽石	
6	軽石製品	ND-94	Ⅲ層上面	3.4	3.0	1.7	4.1	D	軽石	
7	軽石製品	NA-93	Ⅲ層	5.1	5.7	2.7	10.4	D	軽石	
8	軽石製品	SI-30	覆土	3.0	4.4	3.7	10.4	D	軽石	
9	軽石製品	SI-11	2層	11.9	8.7	5.9	131.1	D	軽石	S-35
10	軽石製品	SI-11	3層	15.9	6.7	5.4	88.1	D	軽石	S-39
國212-1	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	10.3	9.8	3.0	155.6	凝灰岩	博瓶、円形凹み	
2	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	9.1	8.5	3.0	146.1	凝灰岩	博瓶	
3	凝灰岩質石製品	NB-93	Ⅲ・下	8.0	4.2	2.3	30.7	凝灰岩	博瓶	
4	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	7.0	8.3	2.2	79.9	凝灰岩		
5	凝灰岩質石製品	MF-83	Ⅲ層(盛上)	7.5	6.4	3.9	43.1	凝灰岩	博瓶	
6	凝灰岩質石製品	SI-47	覆土	7.7	6.3	2.3	56.4	凝灰岩	博瓶	
7	凝灰岩質石製品	MZ-91	Ⅲ層	6.1	8.1	3.2	53.8	凝灰岩		
8	凝灰岩質石製品	NB-93	Ⅲ層	5.2	8.1	2.9	59.9	凝灰岩	C-1	
9	凝灰岩質石製品	MZ-91	Ⅲ層	6.1	7.3	2.2	36.4	凝灰岩	博瓶	
10	凝灰岩質石製品	NC-93	Ⅲ層	2.3	2.2	1.7	5.3	泥岩	円形凹み	
11	凝灰岩質石製品	SI-18	覆土	1.8	2.5	1.0	1.9	凝灰岩		
12	凝灰岩質石製品	NP-95	1層	2.5	2.4	0.9	2.7	凝灰岩	片断系貫通孔、軽石118から石製品78へ	
國213-1	凝灰岩質石製品	SI-16	1層	8.1	8.2	2.6	93.8	凝灰岩	S-17	
2	凝灰岩質石製品	NC-94	Ⅲ層下位	4.2	6.2	2.6	52.8	凝灰岩		
3	凝灰岩質石製品	MV-91	1層	2.4	1.4	1.3	3.2	凝灰岩	放射状に沈藻、軽石紀から石製品79へ	
4	凝灰岩質石製品	NC-94	Ⅲ層下位	8.0	6.8	2.6	88.2	凝灰岩	黒変部あり	
5	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	5.9	5.6	3.1	81.3	凝灰岩		
6	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	6.7	5.7	3.5	63.9	凝灰岩		
7	凝灰岩質石製品	SI-36	覆土	4.2	3.3	3.2	31.7	凝灰岩		
8	凝灰岩質石製品	SK-81	覆土	5.5	4.4	2.1	47.9	凝灰岩	S-4	
9	凝灰岩質石製品	NC-94	Ⅲ層	5.0	3.3	1.3	11.7	凝灰岩	S-23	
10	凝灰岩質石製品	AIS	1層	4.5	5.2	2.3	45.4	虎岩		
11	凝灰岩質石製品	SI-18	覆土	3.4	3.0	0.9	10.8	安山岩		
12	凝灰岩質石製品	SI-42	覆土	3.6	2.4	2.2	10.1	虎岩		
13	凝灰岩質石製品	SI-24	覆土	5.9	5.6	3.1	12.0	虎岩	S-5	
14	凝灰岩質石製品	SI-02	覆土	4.8	4.2	1.3	17.0	凝灰岩	放射状に堅相	
15	凝灰岩質石製品	SK-81	覆土	4.0	3.6	1.9	11.8	虎岩	S-5	
16	凝灰岩質石製品	SK-81	覆土	3.9	3.4	1.7	7.9	虎岩	S-5	
17	凝灰岩質石製品	SI-11	Ⅲ層	2.7	3.8	1.5	12.8	細粒砂岩		

写 真 図 版



第11號竪穴住居跡出土土器



第24號竪穴住居跡出土土器



土偶



仕切り付土器

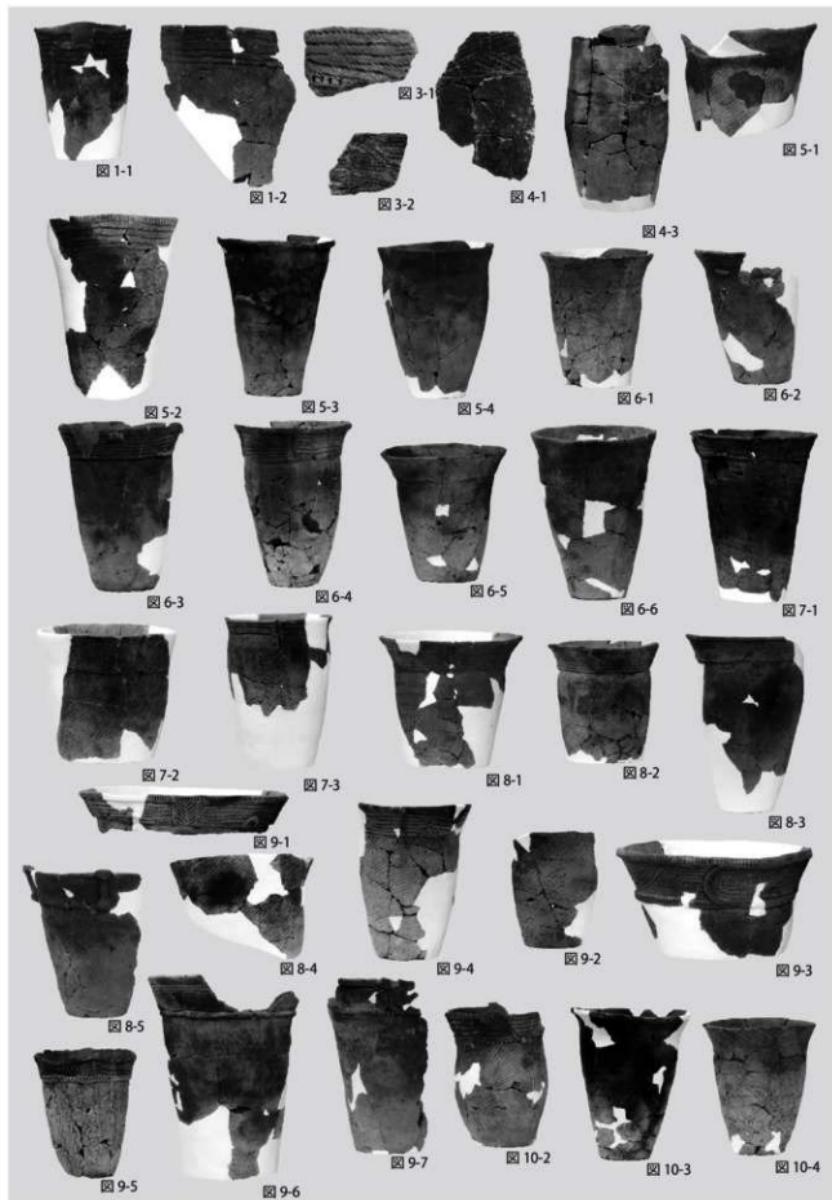


写真1 積穴住居跡 出土土器 1

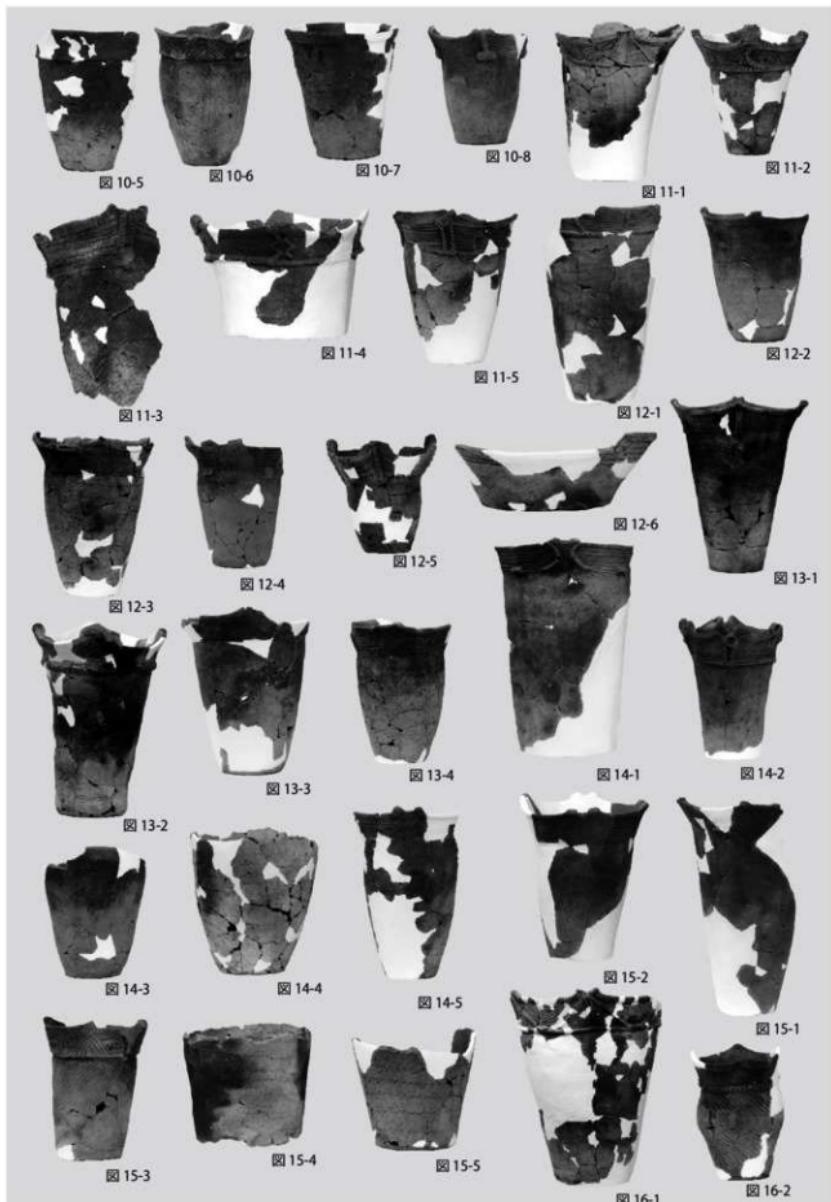


写真2 穹穴住居跡 出土土器2

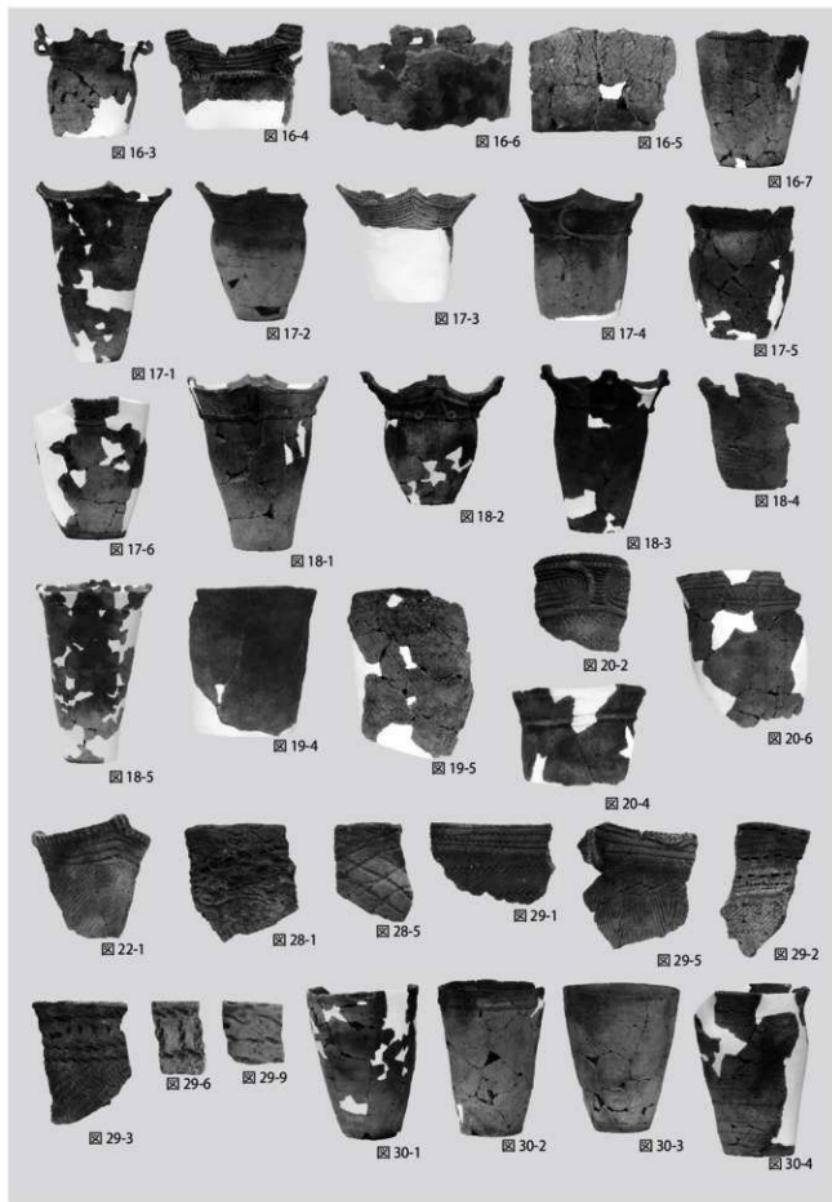


写真3 穹穴住居跡 出土土器3

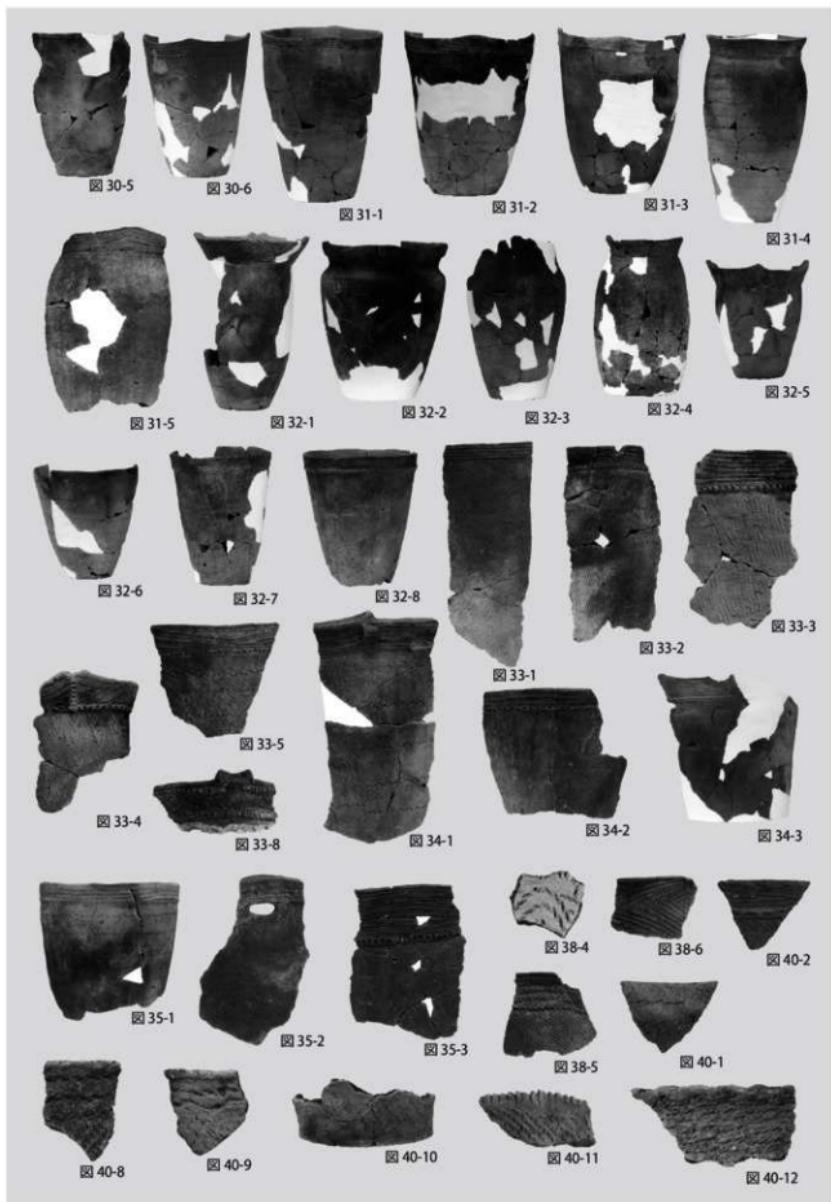


写真4 竪穴住居跡 出土土器 4

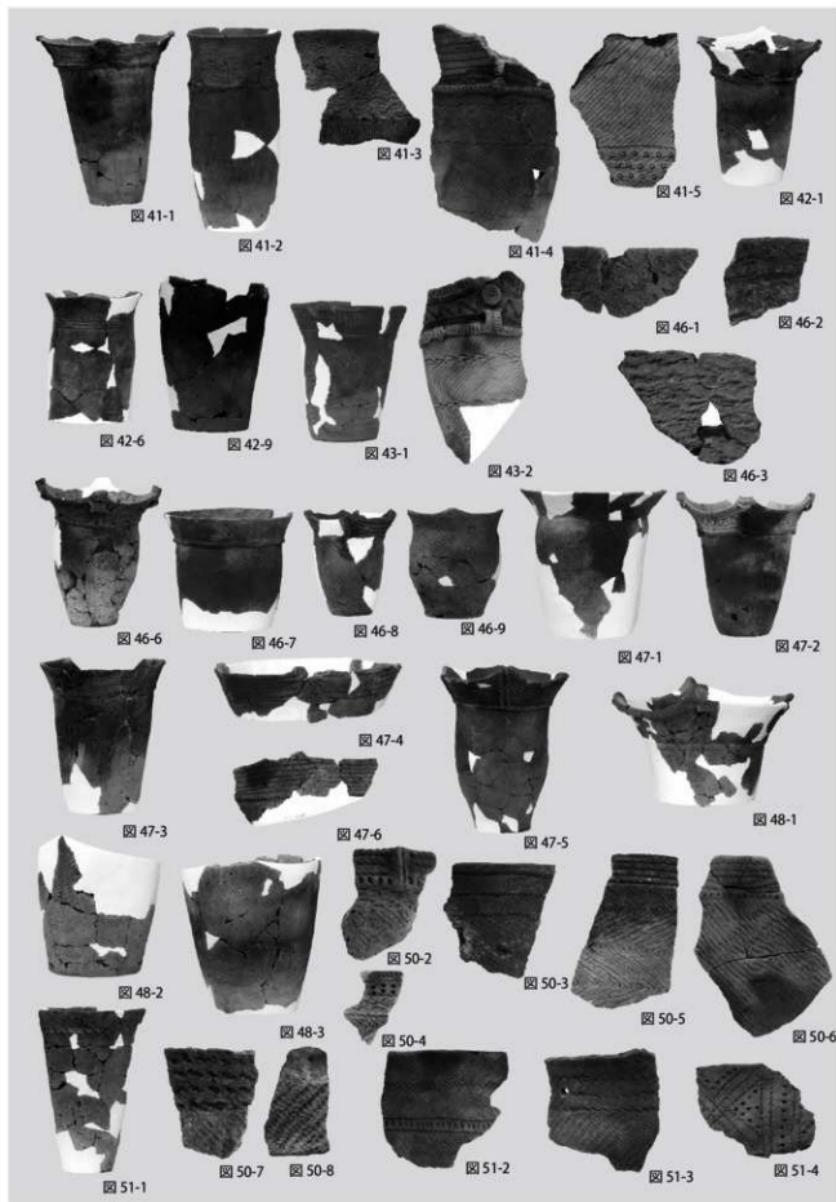


写真5 穹穴住居跡 出土土器 5